

平成25年度

大分県中心市街地等消費者動向調査

報告書

平成26年3月

大分県

目 次

I	調査設計	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の方法.....	1
	（1）調査実施期間.....	1
	（2）調査対象者.....	1
	（3）調査方法・回収状況.....	1
3	調査の内容.....	1
4	前回調査（平成19年度）との主な変更点.....	1
II	調査結果の概要	3
1	大分県の消費動向の特徴.....	3
2	商品購入時に重視する点.....	3
3	中心市街地の商業施設・商店街の利用状況.....	4
4	通販・インターネットショッピング等の利用状況.....	4
5	県外での買い物の状況.....	4
6	JR新大分駅ビルに対する意識.....	4
III	調査結果	5
1	回答者の属性（問1）.....	5
2	商品種別の購入場所（問2）.....	8
	（1）最寄品についての購入場所状況.....	9
	（2）買回品についての購入場所状況.....	15
	（3）専門品についての購入場所状況.....	21
	（4）贈答品についての購入場所状況.....	26
3	商品購入時に重視する点（問3）.....	31
	（1）食料品等.....	31
	（2）衣料品・身辺雑貨.....	33
	（3）文化品.....	35
4	商品購入時の情報源（問4）.....	37
	（1）食料品等.....	37
	（2）衣料品・身辺雑貨.....	39

(3) 文化品.....	41
5 買い物をする時間帯（問5）.....	43
(1) 平日.....	43
(2) 休日.....	44
6 居住地の買い物利便性（問6）.....	45
(1) 利便性評価.....	45
(2) 期待される不便さの解消策.....	47
7 中心市街地の商業施設・商店街の利用状況（問7）.....	49
(1) 中心部の商店街の買い物利用頻度.....	49
(2) 中心部の商店街へ行く目的.....	51
(3) 中心部の商店街へ行かない理由.....	53
(4) 中心部の商店街への要望.....	55
8 通販・インターネットショッピング等の利用状況（問8）.....	57
(1) 利用経験のある無店舗販売の種類.....	57
(2) 無店舗販売での購入商品.....	58
(3) 無店舗販売を利用する理由.....	59
9 県外での買い物の状況（問9）.....	60
(1) 県外への買い物頻度.....	60
(2) 県外への買い物先.....	62
(3) 県外への買い物時の移動手段.....	63
(4) 県外での購入商品.....	64
(5) 県外での買物理由.....	65
10 JR新大分駅ビルに対する意識（問10）.....	66
(1) 賑わい創出の効果.....	66
(2) 周辺商店街への回遊効果.....	68
(3) 周辺商店街への回遊条件.....	70

I 調査設計

1 調査の目的

この調査は、県内消費者の日常生活必需品を購入する行動範囲、中心市街地や市町村の中心部に立地する商業地域の利用状況、通信販売やインターネット等の商品購入方法の利用状況、県外における消費行動、及びJ R新大分駅ビル開業後の大分市中心市街地への期待感等を分析し、中小小売商業施策の基礎資料の収集を目的とする。

集計作業は株式会社九州みらい研究所が行った。

2 調査の方法

(1) 調査実施期間

平成25年11月

(2) 調査対象者

大分県内18市町村に居住する20歳以上の女性3,000人を対象に実施した。

(3) 調査方法・回収状況

調査方法は、各市町村の商工会議所・商工会が、対象者に調査票を配布し、直接回収する方法と、郵送により回収する方法の2通りを併用した。

有効回収数は1,953人であり、有効回収率は65.1%である。

(表I-1参照)

3 調査の内容

アンケート調査の内容は、回答者の属性(問1)のほか、商品種別の購入場所(問2)、商品購入時に重視する点(問3)、商品購入時の情報源(問4)、買い物をする時間帯(問5)、居住地の買い物利便性(問6)、中心市街地の商業施設・商店街の利用状況(問7)、通販・インターネットショッピング等の利用状況(問8)、県外での買い物の状況(問9)、J R新大分駅ビルに対する意識(問10)である。(アンケート調査票参照)

4 前回調査(平成19年度)との主な変更点

前回までは、旧市町村による買物行動を分析していたが、今回から合併後の現市町村での分析とした。

また、平成27年春にJ R新大分駅ビルが開業することによる大分市中心市街地の賑わい創出について、女性客の関心度合いを把握することとした。

(表 I — 1) 市町村別対象者数と有効回収状況表

	配布数	有効回収数	有効回収率
県全体	3,000	1,953	65.1%
大分市	490	358	73.1%
別府市	225	205	91.1%
中津市	190	30	15.8%
日田市	180	162	90.0%
佐伯市	185	109	58.9%
臼杵市	155	63	40.6%
津久見市	135	95	70.4%
竹田市	140	70	50.0%
豊後高田市	140	95	67.9%
杵築市	145	51	35.2%
宇佐市	170	94	55.3%
豊後大野市	155	62	40.0%
由布市	150	101	67.3%
国東市	145	74	51.0%
姫島村	45	35	77.8%
玖珠町	130	65	50.0%
日出町	140	46	32.9%
九重町	80	55	68.8%
無回答	—	183	—

次ページに記載の、商品種別（最寄品、買回品、専門品、贈答品）の解説についてはP8を参照。
商圏とは、地元購入率が50%以上の市町村のこと。

II 調査結果の概要

1 大分県の消費動向の特徴

地元購入率ランキングは下表のとおりである。大分市は、最寄品、買回品、専門品、贈答品の全てで90%以上の地元購入率を維持している。中津市については、最寄品が10位(78.6%)であるが、それ以外の3商品では第2位であり、地元購入率が高い。また、別府市も最寄品が第2位であり、それ以外の3商品では第3位となり、地元購入率が高くなっている。同様に、日田市は4商品とも50%を超える地元購入率である。

(表Ⅱ-1) 地元購入率ランキング

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
最寄品	大分市 (93.2%)	別府市 (93.1%)	佐伯市 (91.2%)	日田市 (88.5%)	杵築市 (82.8%)	宇佐市 (82.5%)	日出町 (81.0%)
買回品	大分市 (90.7%)	中津市 (81.8%)	別府市 (66.0%)	日田市 (57.9%)	由布市 (50.0%)	佐伯市 (47.0%)	豊後大野市 (46.2%)
専門品	大分市 (94.2%)	中津市 (81.3%)	別府市 (72.9%)	日田市 (71.6%)	佐伯市 (62.1%)	宇佐市 (53.6%)	日出町 (49.1%)
贈答品	大分市 (94.4%)	中津市 (80.0%)	別府市 (73.3%)	日田市 (66.5%)	佐伯市 (61.2%)	宇佐市 (59.6%)	豊後大野市 (54.3%)

購買力の出向状況については(図Ⅲ-2-1~8)、最寄品は一部の町村を除いて地元で買い物が行われている。しかし、買回品、専門品、贈答品については、多くの市町村から大分市への出向が目立っている。また、商圏の形成状況について4商品をみていくと、最寄品は九重町と姫島村以外の16市町は商圏を形成している。次に、買回品は、大分市、別府市、中津市、日田市、由布市が商圏を形成している。専門品は、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、宇佐市が商圏を形成している。最後に、贈答品は、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、豊後高田市、宇佐市、豊後大野市、由布市が商圏を形成している。

2 商品購入時に重視する点

食料品等を購入する時に重視する点については、多い順に「商品の種類や量が豊富」が47.2%、「値段が安い」が45.3%、「近くにある」が43.5%、「品質が良い」が43.3%となっている(図Ⅲ-3-1)。また、衣料品・身の雑貨については、「商品の種類や量が豊富」が61.1%、「品質が良い」が43.9%、「値段が安い」が38.4%となっている(図Ⅲ-3-2)。最後に、文化品については、「商品の種類や量が豊富」が61.3%、「値段が安い」が41.6%、「品質が良い」が32.9%となっている(図Ⅲ-3-3)。

居住地での買い物利便性については、「全く不便ではない」が22.4%、「あまり不便ではない」が54.3%であり、合計すると76.7%となっている。一方、「大いに不便を感じる」と「ある程度不便を感じる」を合計すると22.8%となり、約2割が不便を感じている(図Ⅲ-6-1)。最も不便を感じている割合が多いのは九重町であり、40.0%となっている(表Ⅲ-6-1)。また、九重町以外で不便さを感じている割合が30%を超えるところは6市町村ある。では、不便さの解消策として期待されるものは、「移動販売車」が22.3%、「中心部へのコミュニティバス」が18.5%となっている(図Ⅲ-6-2)。

3 中心市街地の商業施設・商店街の利用状況

居住市町村にある中心部の商店街への買い物利用頻度については、「ほとんど利用しない」が26.8%と最も多く、次いで「週に2～3回」が17.5%となっている（表Ⅲ－7－1）。中心部の商店街へ行かない理由は、「郊外の大型店の方が便利である」が64.7%、「駐車場・駐輪場が少ない」が50.7%、「魅力ある店舗が少ない」が44.1%となっている（表Ⅲ－7－3）。中心部の商店街への要望としては、「駐車場や駐輪場の完備をする」が42.5%、「不足している業種を増やし、店舗にバラエティをもたせる」が32.7%、「大型商業施設を誘致する」が23.2%となっている（図Ⅲ－7－4）。以上のように、中心部の商店街の利用頻度を高めるためには、駐車場・駐輪場の整備、不足業種の補充等が求められている。

4 通販・インターネットショッピング等の利用状況

無店舗販売の利用については、「カタログ販売」が59.0%、「インターネットショッピング」が55.9%であり、半数を超えている。特に、「インターネットショッピング」は14年調査に比べて3倍以上の伸びを示している（図Ⅲ－8－1）。無店舗販売を利用する理由は、「価格が安いから」が52.8%、「近くの店では手に入りづらいから」が50.5%となっている。また、「買い物に出かける手間が省けるから」と「商品の種類が多いから」も40%を超えている（図Ⅲ－8－3）。以上のように、無店舗販売は利便性、低価格であること等を理由に利用を増やしている。

5 県外での買い物の状況

県外（九州内）へ買い物に行く人は57.0%であり、そのうち「年に2～3回」が19.8%で最も高くなった（図Ⅲ－9－1）。年齢別で県外への多頻度出向層をみると、20歳代が「月に1回以上」の頻度で買い物のために出かけており、その割合は20.0%である（表Ⅲ－9－1）。また、県外での買い物出向先としては、福岡市が75.7%と非常に高く、次いで久留米市が6.6%、北九州市が5.7%となっている（図Ⅲ－9－2）。県外への買い物出向時の移動手段は、自家用車が46.5%と最多であり、次いで自家用車（高速道路利用）が32.3%となり、この2つの手段を合計すると約8割（78.8%）となる（表Ⅲ－9－3）。最後に、県外に買い物に行く理由としては、「商品の選択肢が多くなるから」が57.5%、「買い物以外に楽しめる場所があるから」が55.3%、「魅力的な店があるから」が52.6%となっている。また、「県内で買えない商品があるから」が48.8%と約半数となっている（図Ⅲ－9－5）。

6 JR新大分駅ビルに対する意識

JR新大分駅ビルに対する意識については、駅ビルの開業により回答者の約7割（「おおいにそう思う（17.4%）」と「少しそう思う（49.4%）」の合計66.8%）が、賑わいが創出されると期待している（表Ⅲ－10－1）。また、駅ビルの開業後に周辺商店街にも回遊するかという質問に対しては、回答者の約5割（「おおいにそう思う（13.0%）」と「少しそう思う（40.1%）」の合計53.1%）が肯定的である（表Ⅲ－10－2）。さらに、周辺商店街に回遊する意向がない人に回遊する条件を尋ねたところ、「駐車場・駐輪場の完備（51.2%）」、「オリジナル商品やデザインの良い商品を取り揃える（26.2%）」、「新製品・流行品を揃える（21.1%）」、「店や街並みをきれいにする（20.4%）」という回答が多かった（表Ⅲ－10－3）。以上のように、周辺商店街への回遊性を高めるためには、駐車・駐輪場の整備、魅力ある商品の品揃え、街並み整備等が求められている。

Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性（問1）

本調査で有効回答を得た1,953人の属性は以下の通りである。

年齢をみると、「20歳代」が8.7%、「30歳代」が19.3%、「40歳代」が23.8%、「50歳代」が20.7%、「60歳以上」が27.1%である。

家族数は、「4人」が24.5%と最も高い。次いで「5人以上」が23.5%、「2人」が22.7%、「3人」が22.2%、「1人」が4.9%の順となっている。

職業をみると、「会社員・公務員等」が38.2%と最も高い。次いで「自営業」が21.6%、「パート・アルバイト」が21.0%、「農林水産業」が0.8%の順となっている。

普段の買い物で利用している移動手段についてみると、「自家用車」が85.8%と群を抜いて高く、ほとんどの人が利用している。

図 I-1-1 年齢

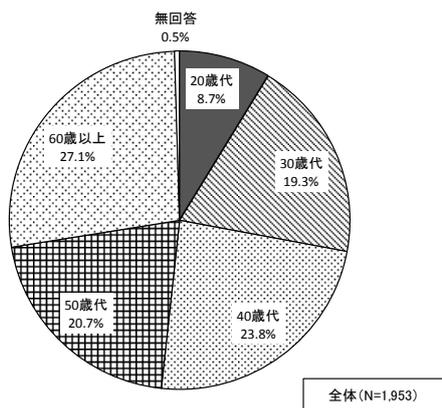


図 I-1-2 家族数

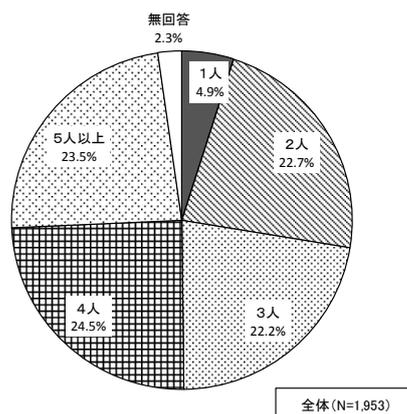


図 I-1-3 職業

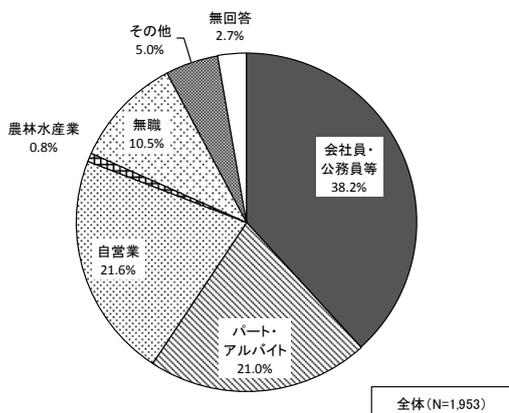
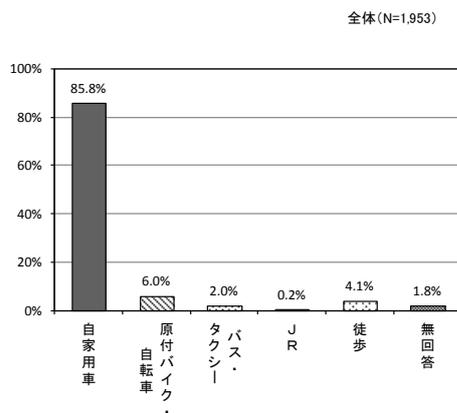


図 I-1-4 移動手段



(表Ⅲ-1-1) 居住市町村別年齢構成

(数値:%)

		標 本 数	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 以 上	無 回 答
全 体		1,953	8.7	19.3	23.8	20.7	27.1	0.5
居 住 市 町 村 別	大分市	358	10.1	20.4	32.4	16.8	20.1	0.3
	別府市	205	14.1	24.9	17.1	22.4	21.0	0.5
	中津市	30	3.3	23.3	33.3	20.0	20.0	0.0
	日田市	162	10.5	19.8	21.6	16.0	31.5	0.6
	佐伯市	109	11.0	20.2	22.9	20.2	24.8	0.9
	臼杵市	63	6.3	20.6	28.6	30.2	14.3	0.0
	津久見市	95	12.6	17.9	44.2	16.8	8.4	0.0
	竹田市	70	8.6	17.1	18.6	37.1	18.6	0.0
	豊後高田市	95	8.4	27.4	29.5	12.6	21.1	1.1
	杵築市	51	2.0	27.5	19.6	25.5	25.5	0.0
	宇佐市	94	3.2	18.1	20.2	19.1	39.4	0.0
	豊後大野市	62	0.0	16.1	9.7	21.0	53.2	0.0
	由布市	101	6.9	13.9	18.8	23.8	36.6	0.0
	国東市	74	0.0	4.1	6.8	31.1	58.1	0.0
	姫島村	35	11.4	11.4	34.3	14.3	28.6	0.0
	玖珠町	65	9.2	23.1	24.6	27.7	13.8	1.5
日出町	46	4.3	13.0	15.2	26.1	41.3	0.0	
九重町	55	7.3	7.3	16.4	27.3	41.8	0.0	

(表Ⅲ-1-2) 居住市町村別家族数構成

(数値:%)

		標 本 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以 上	無 回 答
全 体		1,953	4.9	22.7	22.2	24.5	23.5	2.3
居 住 市 町 村 別	大分市	358	6.4	21.5	20.1	29.9	19.6	2.5
	別府市	205	10.7	19.0	32.2	24.9	12.2	1.0
	中津市	30	13.3	20.0	6.7	33.3	26.7	0.0
	日田市	162	3.1	18.5	24.1	21.0	32.1	1.2
	佐伯市	109	2.8	25.7	25.7	22.0	21.1	2.8
	臼杵市	63	4.8	23.8	12.7	20.6	34.9	3.2
	津久見市	95	2.1	15.8	23.2	29.5	28.4	1.1
	竹田市	70	0.0	22.9	31.4	15.7	28.6	1.4
	豊後高田市	95	5.3	22.1	16.8	26.3	28.4	1.1
	杵築市	51	0.0	29.4	17.6	29.4	21.6	2.0
	宇佐市	94	5.3	25.5	18.1	22.3	25.5	3.2
	豊後大野市	62	4.8	37.1	27.4	11.3	16.1	3.2
	由布市	101	5.9	19.8	21.8	30.7	19.8	2.0
	国東市	74	1.4	28.4	28.4	16.2	21.6	4.1
	姫島村	35	2.9	34.3	31.4	25.7	5.7	0.0
	玖珠町	65	3.1	24.6	13.8	26.2	32.3	0.0
日出町	46	2.2	26.1	23.9	28.3	15.2	4.3	
九重町	55	1.8	12.7	20.0	16.4	47.3	1.8	

(表Ⅲ-1-3) 居住市町村別職業構成

(数値:%)

		標本数	会社社員等	アパート・バイト	自営業	農林水産業	無職	その他	無回答
全 体		1,953	38.2	21.0	21.6	0.8	10.5	5.0	2.7
居 住 市 町 村 別	大分市	358	43.3	21.2	14.8	0.3	13.7	5.9	0.8
	別府市	205	39.0	26.8	13.2	0.0	13.7	5.9	1.5
	中津市	30	40.0	23.3	23.3	0.0	6.7	6.7	0.0
	日田市	162	36.4	20.4	24.1	0.0	11.7	3.7	3.7
	佐伯市	109	49.5	13.8	16.5	1.8	7.3	5.5	5.5
	臼杵市	63	63.5	19.0	9.5	0.0	7.9	0.0	0.0
	津久見市	95	52.6	31.6	1.1	0.0	9.5	3.2	2.1
	竹田市	70	32.9	15.7	30.0	2.9	7.1	7.1	4.3
	豊後高田市	95	27.4	28.4	21.1	1.1	9.5	7.4	5.3
	杵築市	51	35.3	23.5	29.4	0.0	5.9	3.9	2.0
	宇佐市	94	17.0	24.5	35.1	1.1	11.7	5.3	5.3
	豊後大野市	62	27.4	19.4	27.4	3.2	12.9	6.5	3.2
	由布市	101	37.6	22.8	15.8	3.0	13.9	5.0	2.0
	国東市	74	6.8	8.1	74.3	0.0	4.1	5.4	1.4
	姫島村	35	48.6	14.3	14.3	5.7	8.6	0.0	8.6
	玖珠町	65	43.1	26.2	9.2	1.5	10.8	6.2	3.1
日出町	46	26.1	28.3	23.9	0.0	17.4	2.2	2.2	
九重町	55	25.5	12.7	52.7	1.8	3.6	3.6	0.0	

(表Ⅲ-1-4) 居住市町村別移動手段

(数値:%)

		標本数	自家用車	自転車	原付バイク	タクシー	JR	徒歩	無回答
全 体		1,953	85.8	6.0	2.0	0.2	4.1	1.8	
居 住 市 町 村 別	大分市	358	86.9	5.3	3.1	0.0	3.1	1.7	
	別府市	205	76.1	7.8	5.4	0.5	6.3	3.9	
	中津市	30	96.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	日田市	162	79.0	11.7	1.9	0.6	5.6	1.2	
	佐伯市	109	92.7	2.8	1.8	0.0	0.9	1.8	
	臼杵市	63	90.5	6.3	0.0	0.0	3.2	0.0	
	津久見市	95	93.7	3.2	0.0	2.1	1.1	0.0	
	竹田市	70	92.9	1.4	2.9	0.0	2.9	0.0	
	豊後高田市	95	92.6	3.2	0.0	0.0	0.0	4.2	
	杵築市	51	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	宇佐市	94	85.1	8.5	2.1	0.0	2.1	2.1	
	豊後大野市	62	87.1	3.2	0.0	0.0	9.7	0.0	
	由布市	101	91.1	2.0	0.0	0.0	5.0	2.0	
	国東市	74	89.2	4.1	1.4	0.0	5.4	0.0	
	姫島村	35	62.9	22.9	0.0	0.0	8.6	5.7	
	玖珠町	65	87.7	6.2	3.1	0.0	3.1	0.0	
日出町	46	89.1	2.2	2.2	0.0	6.5	0.0		
九重町	55	92.7	5.5	0.0	0.0	1.8	0.0		

2 商品種別の購入場所（問2）

商品別の出向状況を分析するにあたって、主な買物場所について3つまで記入してもらうこととし、調査で設定した7商品を、下記に示す4商品群に集約した。

【集約の方法】

① 最寄品

最寄品は手近に、頻繁に購入され、1回の購入単価が比較的少額で、かつ早く消費される商品であり、身近な店舗（地元の店舗）で購入されることの多い商品である。一般的には食料品や日用雑貨等に代表される。

本調査では、「食料品（生鮮食料品・菓子類・飲料・米・ビン缶詰・調味料等）」と「日用雑貨品（金物荒物・陶器・台所用品・日用品・医薬・化粧品等）」の2商品を合計したものである。

② 買回品

買回品は、スタイル、デザイン等を重視して商品の選択を行うものであり、消費者が気に入ったものが見つかるまで探すことが多い商品である。一般的には婦人服・紳士服等の衣服や装身具等に代表される。

本調査では、「日用衣料品（下着・肌着・靴下・ふだん着等）」、「婦人服・子ども服・紳士服（ふだん着を除く）」、「身回品（靴・かばん・帽子・服飾品等）」の3商品を合計したものである。

③ 専門品

専門品は、長期間使用し、単価も高額であるため、消費者は購入に際しその特性、性能、品質、デザイン等を吟味して購入することが多い商品である。一般的には家庭電気製品等の耐久消費財に代表される。

本調査では、「専門品（家電製品・家具・インテリア・貴金属・時計・スポーツレジャー用品等）」である。

④ 贈答品

本調査では、「贈答用品（中元・年末用品・記念品等）」である。

(1) 最寄品についての購入場所状況

① 最寄品についての購入場所状況をみると、以下のような主な商圈が形成されている。

最寄品については、「九重町」「姫島村」を除いては、地元で商圈が完結している場合が多い。

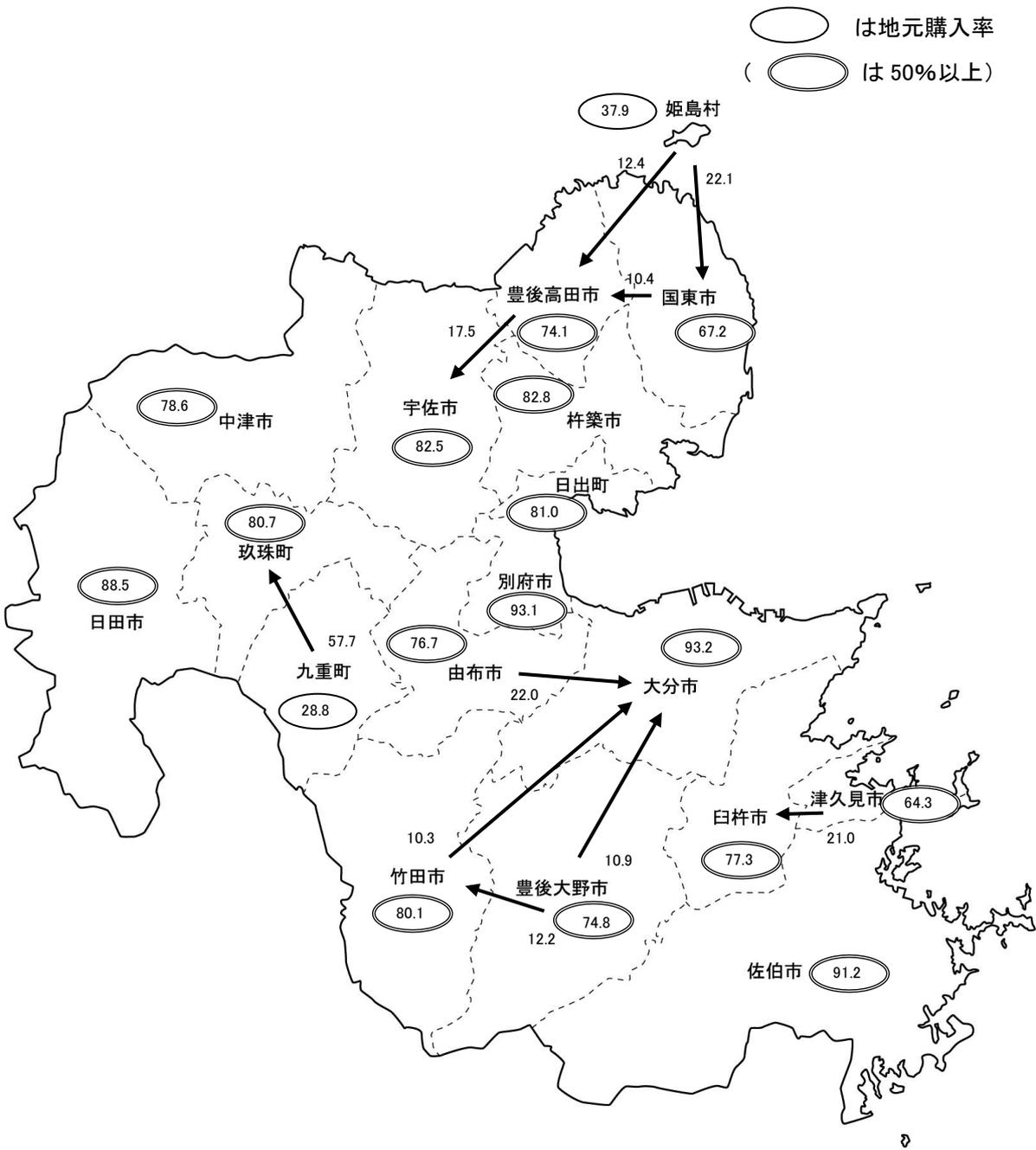
商圈	中心となる市町村	含まれる市町村(中心となる市町村に10%以上出向している市町村)
大分商圈	大分市(93.2%)	由布市(22.0%)、豊後大野市(10.9%)、竹田市(10.3%)
別府商圈	別府市(93.1%)	
中津商圈	中津市(78.6%)	
日田商圈	日田市(88.5%)	
佐伯商圈	佐伯市(91.2%)	
臼杵商圈	臼杵市(77.3%)	津久見市(21.0%)
津久見商圈	津久見市(64.3%)	
竹田商圈	竹田市(80.1%)	豊後大野市(12.2%)
豊後高田商圈	豊後高田市(74.1%)	姫島村(12.4%)、国東市(10.4%)
杵築商圈	杵築市(82.8%)	
宇佐商圈	宇佐市(82.5%)	豊後高田市(17.5%)
豊後大野商圈	豊後大野市(74.8%)	
由布商圈	由布市(76.7%)	
国東商圈	国東市(67.2%)	姫島村(22.1%)
玖珠商圈	玖珠町(80.7%)	九重町(57.7%)
日出商圈	日出町(81.0%)	

※複数の商圈に含まれる市町村もある。

② 前回の地元購入率との比較を見ると、変化が目立つ地域(±10%以上の変化、以下同様)として、姫島村(64.0%→37.9% 26.1%減少)、豊後高田市(88.8%→74.1% 14.6%減少)、日出町(71.0%→81.0% 10.0%増加)があげられる。(図Ⅲ-2-2)

③ 最寄品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回1町であったが、今回は2町村となっている。(図Ⅲ-2-2)

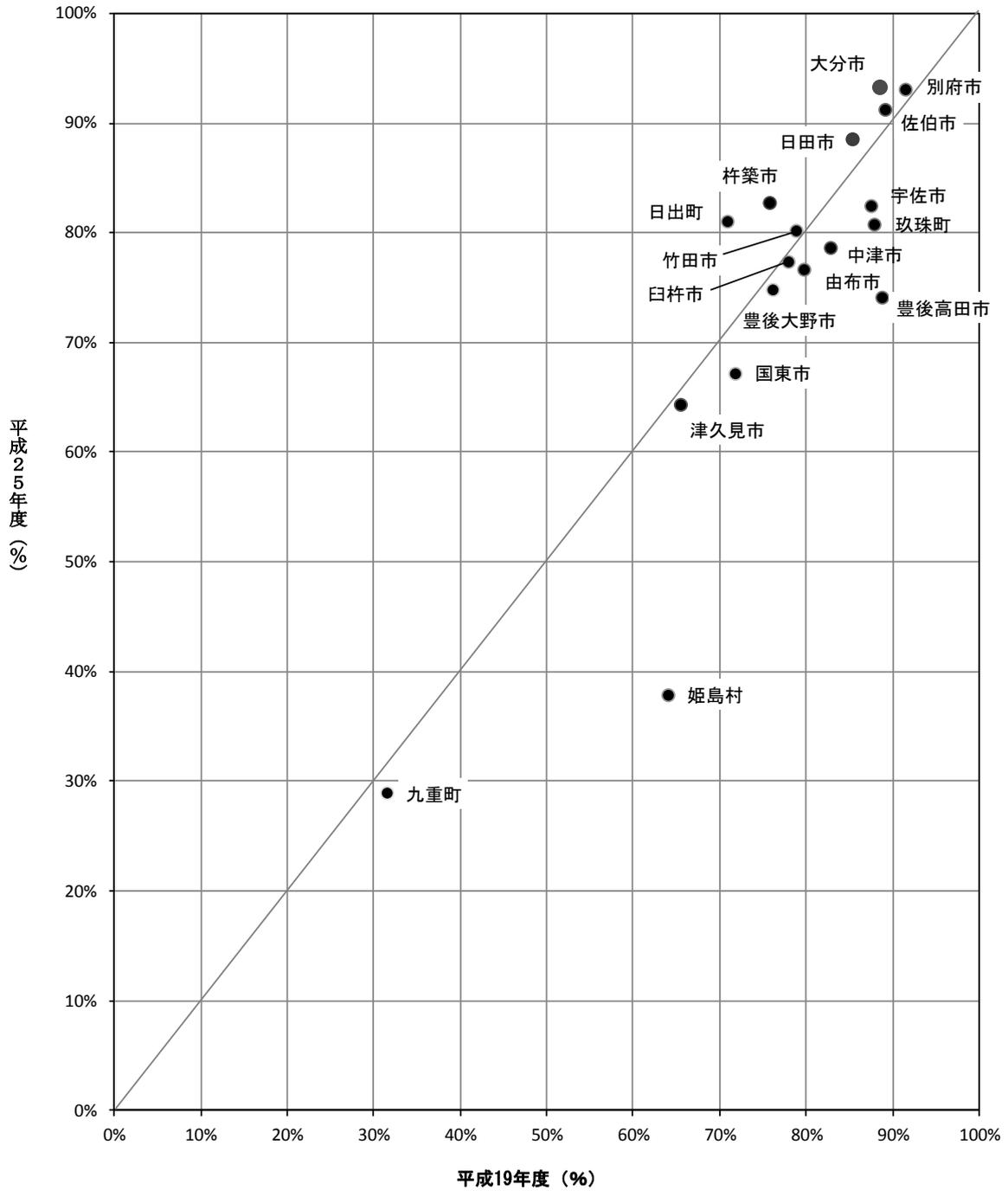
(図Ⅲ-2-1) 最寄品の出向マップ



(表Ⅲ-2-1) 居住市町村別にみた流出入市町(最寄品)

流入市町村-10%以上			地元購入率	流出市町村-10%以上	
由布市 22.0	豊後大野市 10.9	竹田市 10.3	大分市 93.2		
			別府市 93.1		
			中津市 78.6		
			日田市 88.5		
			佐伯市 91.2		
		津久見市 21.0	臼杵市 77.3		
			津久見市 64.3	臼杵市 21.0	
		豊後大野市 12.2	竹田市 80.1	大分市 10.3	
姫島村 12.4	国東市 10.4		豊後高田市 74.1	宇佐市 17.5	
			杵築市 82.8		
		豊後高田市 17.5	宇佐市 82.5		
			豊後大野市 74.8	竹田市 12.2	大分市 10.9
			由布市 76.7	大分市 22.0	
	姫島村 22.1		国東市 67.2	豊後高田市 10.4	
			姫島村 37.9	国東市 22.1	豊後高田市 12.4
	九重町 57.7		玖珠町 80.7		
			日出町 81.0		
			九重町 28.8	玖珠町 57.7	

(図Ⅲ-2-2) 最寄品の地元購入率の推移



(表Ⅲ-2-2) 商品別の地元購入率

(数値:%)

		食料品		日用雑貨品	
		標本数	地元購入率	標本数	地元購入率
全 体		2,229	74.8	2,208	70.3
居 住 市 町 村 別	大分市	371	92.7	360	93.6
	別府市	210	95.2	211	91.0
	中津市	37	75.7	33	81.8
	日田市	175	90.3	173	86.7
	佐伯市	114	93.0	112	89.3
	臼杵市	74	83.8	80	71.3
	津久見市	133	69.9	153	59.5
	竹田市	79	81.0	77	79.2
	豊後高田市	113	77.0	115	71.3
	杵築市	59	83.1	57	82.5
	宇佐市	110	82.7	101	82.2
	豊後大野市	74	79.7	73	69.9
	由布市	118	76.3	109	77.1
	国東市	95	71.6	97	62.9
	姫島村	71	47.9	74	28.4
	玖珠町	69	84.1	71	77.5
日出町	52	84.6	53	77.4	
九重町	88	36.4	68	19.1	

(表Ⅲ-2-3)最寄品の市町別出向状況表

	標本数	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	玖珠町	日出町	九重町	その他	県外
全体	4,437	229	10.6	2.0	7.6	5.2	4.7	4.5	3.4	5.1	2.9	5.3	3.4	4.4	4.0	1.4	5.5	2.4	1.2	2.7	0.7
大分市	731	932	3.1	—	—	—	0.4	—	0.3	—	—	—	—	1.2	—	—	—	—	—	1.6	0.1
別府市	421	5.7	93.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.7	—
中津市	70	1.4	—	78.6	8.6	—	—	—	—	—	—	2.9	—	—	—	—	1.4	—	—	5.7	1.4
日田市	348	0.3	—	—	88.5	—	—	—	0.3	—	—	—	—	—	—	—	2.0	—	—	5.5	3.4
佐伯市	226	3.1	—	—	—	91.2	—	0.9	—	—	—	—	0.9	—	—	—	—	—	—	4.0	—
臼杵市	154	9.7	—	—	—	0.6	77.3	—	—	—	—	—	9.7	—	—	—	—	—	—	2.6	—
津久見市	286	5.9	—	—	—	—	—	64.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—
竹田市	156	10.3	0.6	—	—	—	—	—	80.1	—	—	—	1.9	1.9	—	—	—	—	—	3.8	1.3
豊後高田市	228	2.2	0.4	1.8	—	—	—	—	—	74.1	0.9	17.5	—	—	0.4	—	—	—	—	2.2	0.4
杵築市	116	2.6	5.2	1.7	—	—	—	—	—	—	82.8	—	—	—	1.7	—	—	6.0	—	—	—
宇佐市	211	2.4	0.9	5.2	—	—	—	—	—	5.7	—	82.5	—	—	—	—	—	—	—	1.9	1.4
豊後大野市	147	10.9	0.7	—	—	—	—	—	12.2	—	—	—	74.8	—	—	—	—	—	—	0.7	0.7
由布市	227	2.0	0.4	—	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	76.7	—	—	—	—	—	0.4	—
国東市	192	3.6	4.2	1.0	—	—	—	—	—	10.4	7.3	2.1	—	—	67.2	—	—	1.0	—	3.1	—
姫島村	145	2.1	1.4	3.4	—	—	—	—	—	12.4	6.2	2.8	—	—	22.1	37.9	0.7	1.4	1.4	6.2	2.1
玖珠町	140	2.9	1.4	—	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	—	—	80.7	—	0.7	5.7	2.1
日出町	105	4.8	6.7	—	—	—	—	—	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—	81.0	—	5.7	—
九重町	156	4.5	1.3	—	3.8	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	—	—	57.7	—	28.8	2.6	—

(2) 買回品についての購入場所状況

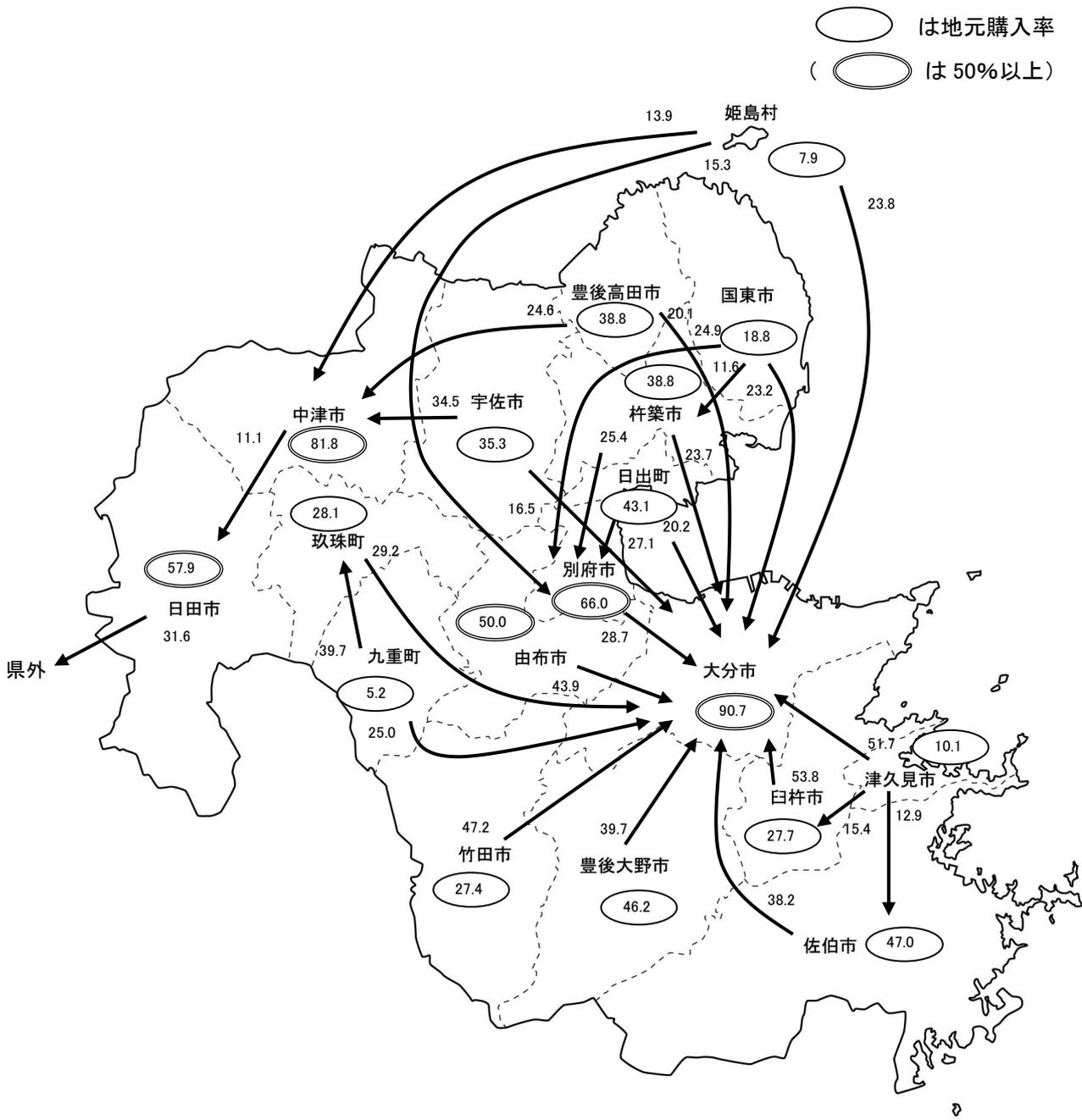
① 買回品についての購入場所状況をみると、以下のような主な商圈が形成されている。

商圈	中心となる市町村	含まれる市町村(中心となる市町村に10%以上出向している市町村)
大分商圈	大分市(90.7%)	臼杵市(53.8%)、津久見市(51.7%)、竹田市(47.2%)、由布市(43.9%)、豊後大野市(39.7%)、佐伯市(38.2%)、玖珠町(29.2%)、別府市(28.7%)、九重町(25.0%)、姫島村(23.8%)、杵築市(23.7%)、国東市(23.2%)、日出町(20.2%)、豊後高田市(20.1%)、宇佐市(16.5%)
別府商圈	別府市(66.0%)	日出町(27.1%)、杵築市(25.4%)、国東市(24.9%)、姫島村(15.3%)
中津商圈	中津市(81.8%)	宇佐市(34.5%)、豊後高田市(24.6%)、姫島村(13.9%)
日田商圈	日田市(57.9%)	中津市(11.1%)
由布商圈	由布市(50.0%)	

※複数の商圈に含まれる市町村もある。

- ② 前回の地元購入率との比較を見ると、変化が目立つ地域として、佐伯市(61.7%→47.0% 14.7%減少)、津久見市(22.3%→10.1% 12.2%減少)、宇佐市(47.5%→35.3% 12.2%減少)、国東市(31.4%→18.8% 12.6%減少)、姫島村(28.3%→7.9% 20.4%減少)、玖珠町(54.7%→28.1% 26.6%減少) 日出町(31.9%→43.1% 11.2%増加)があげられる。(図Ⅲ-2-4)
- ③ 買回品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回11市町村であったが、今回は13市町村となっている。(図Ⅲ-2-4)

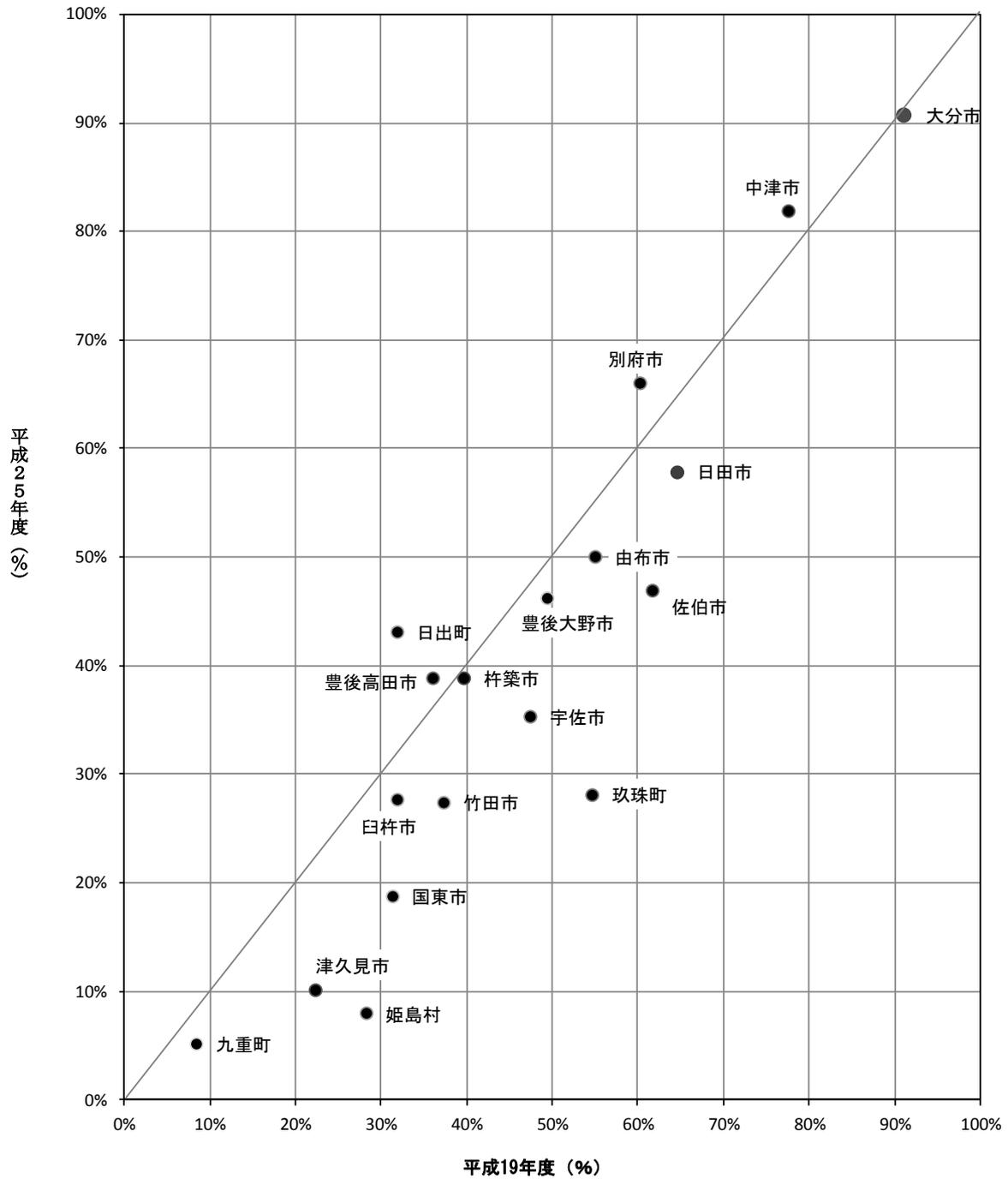
(図Ⅲ-2-3) 買回品の出向マップ



(表Ⅲ-2-4) 居住市町村別にみた流出入市町(買回品)

流入市町-10%以上					地元購入率	流出市町-10%以上				
臼杵市 53.8	津久見市 51.7	竹田市 47.2	由布市 43.9	豊後大野市 39.7	大分市 90.7					
佐伯市 38.2	玖珠町 29.2	別府市 28.7	九重町 25.0	姫島村 23.8						
杵築市 23.7	国東市 23.2	日出町 20.2	豊後高田市 20.1	宇佐市 16.5						
		日出町 27.1	杵築市 25.4	国東市 24.9	姫島村 15.3	別府市 66.0	大分市 28.7			
		宇佐市 34.5		豊後高田市 24.6	姫島村 13.9	中津市 81.8	日田市 11.1			
				中津市 11.1	中津市 11.1	日田市 57.9	県外 31.6			
				津久見市 12.9	津久見市 12.9	佐伯市 47.0	大分市 38.2			
				津久見市 15.4	津久見市 15.4	臼杵市 27.7	大分市 53.8			
						津久見市 10.1	大分市 51.7	臼杵市 15.4	佐伯市 12.9	
						竹田市 27.4	大分市 47.2			
						豊後高田市 38.8	中津市 24.6	大分市 20.1		
				国東市 11.6	杵築市 38.8	別府市 25.4	大分市 23.7			
						宇佐市 35.3	中津市 34.5	大分市 16.5		
						豊後大野市 46.2	大分市 39.7			
						由布市 50.0	大分市 43.9			
						国東市 18.8	別府市 24.9	大分市 23.2	杵築市 11.6	
						姫島村 7.9	大分市 23.8	別府市 15.3	中津市 13.9	
				九重町 39.7	玖珠町 28.1	大分市 29.2	県外 10.7			
						日出町 43.1	別府市 27.1	大分市 20.2		
						九重町 5.2	玖珠町 39.7	大分市 25.0		

(図Ⅲ-2-4) 買回品の地元購入率の推移



(表Ⅲ-2-5) 商品別の地元購入率

(数値:%)

		日用衣料品		婦人服・子ども服・紳士服		身回品	
		標本数	地元購入率	標本数	地元購入率	標本数	地元購入率
全 体		2,520	50.1	2,490	41.2	2,362	38.9
居 住 市 町 村 別	大分市	366	92.1	366	89.1	360	90.8
	別府市	244	70.9	249	64.3	248	62.9
	中津市	34	82.4	34	79.4	31	83.9
	日田市	202	66.3	208	54.8	188	52.1
	佐伯市	141	56.7	144	43.8	126	39.7
	臼杵市	89	40.4	84	23.8	76	17.1
	津久見市	163	17.8	138	5.1	134	6.0
	竹田市	105	38.1	99	22.2	95	21.1
	豊後高田市	141	51.1	147	36.7	135	28.1
	杵築市	77	51.9	78	37.2	69	26.1
	宇佐市	135	45.2	129	31.8	130	28.5
	豊後大野市	81	56.8	76	46.1	77	35.1
	由布市	117	58.1	119	48.7	110	42.7
	国東市	109	27.5	97	13.4	87	13.8
	姫島村	69	10.1	66	7.6	67	6.0
	玖珠町	91	44.0	96	25.0	94	16.0
日出町	64	54.7	63	39.7	61	34.4	
九重町	78	7.7	82	4.9	72	2.8	

(表Ⅲ-2-6)買回品の市町別出向状況表

	標本数	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	玖珠町	日出町	九重町	その他	県外
全体	7,372	39.5	11.8	5.9	5.7	3.6	2.2	0.7	1.4	2.9	2.1	2.7	2.1	3.0	0.9	0.2	2.7	1.5	0.2	5.2	5.6
居住市町別	大分市	90.7	3.3	0.1	-	-	0.3	-	-	0.1	-	-	-	1.9	-	-	-	-	-	1.8	1.8
	別府市	741	28.7	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4	-	-	-	-	-	2.0	2.8
	中津市	99	1.0	-	81.8	11.1	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	3.0
	日田市	598	1.0	-	-	57.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.5	31.6
	佐伯市	411	38.2	0.5	-	-	47.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.7	4.6
	臼杵市	249	53.8	0.4	-	-	4.0	27.7	-	-	-	-	3.2	-	-	-	-	-	-	9.2	1.6
	津久見市	435	51.7	0.2	-	-	12.9	15.4	10.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	2.5
	竹田市	299	47.2	3.0	-	-	-	-	27.4	-	-	-	2.7	-	3.0	-	-	0.3	-	11.4	5.0
	豊後高田市	423	20.1	3.8	24.6	-	-	-	-	38.8	0.2	6.9	-	-	-	-	-	-	-	2.8	2.8
	杵築市	224	23.7	25.4	1.8	-	-	-	-	-	38.8	1.3	-	-	-	-	-	7.1	-	0.4	1.3
	宇佐市	394	16.5	4.1	34.5	-	-	-	-	0.8	-	35.3	-	-	-	-	-	0.3	-	2.3	6.3
	豊後大野市	234	39.7	3.0	-	-	-	-	-	6.0	-	-	46.2	-	0.4	-	-	-	-	3.4	1.3
	由布市	346	43.9	4.3	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	0.9	0.6
	国東市	293	23.2	24.9	5.1	-	-	-	-	6.5	11.6	0.3	-	-	-	18.8	-	2.0	-	7.2	0.3
	姫島村	202	23.8	15.3	13.9	-	-	-	-	9.4	7.4	6.9	-	-	-	4.5	7.9	1.5	0.5	5.9	3.0
	玖珠町	281	29.2	3.9	6.8	9.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	28.1	-	10.3	10.7
	日出町	188	20.2	27.1	1.6	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	-	-	-	0.5	43.1	4.3	-
	九重町	232	25.0	4.3	2.6	8.2	-	-	-	-	-	-	-	0.9	2.6	-	-	39.7	5.2	9.5	2.2

(3) 専門品についての購入場所状況

① 専門品についての購入場所状況をみると、以下のような主な商圈が形成されている。

商圈	中心となる市町村	含まれる市町村(中心となる市町村に10%以上出向している市町村)
大分商圈	大分市(94.2%)	由布市(54.5%)、竹田市(53.4%)、津久見市(49.0%)、臼杵市(47.7%)、豊後大野市(36.8%)、佐伯市(25.8%)、杵築市(25.0%)、別府市(21.6%)、玖珠町(21.4%)、九重町(20.6%)、国東市(20.4%)、姫島村(18.3%)、日出町(15.8%)、豊後高田市(15.5%)、宇佐市(11.2%)
別府商圈	別府市(72.9%)	国東市(23.3%)、日出町(21.1%)、杵築市(18.4%)、姫島村(15.5%)
中津商圈	中津市(81.3%)	豊後高田市(27.7%)、宇佐市(27.2%)
日田商圈	日田市(71.6%)	玖珠町(32.1%)、九重町(29.4%)、中津市(12.5%)
佐伯商圈	佐伯市(62.1%)	津久見市(22.1%)
宇佐商圈	宇佐市(53.6%)	豊後高田市(17.6%)

※複数の商圈に含まれる市町村もある。

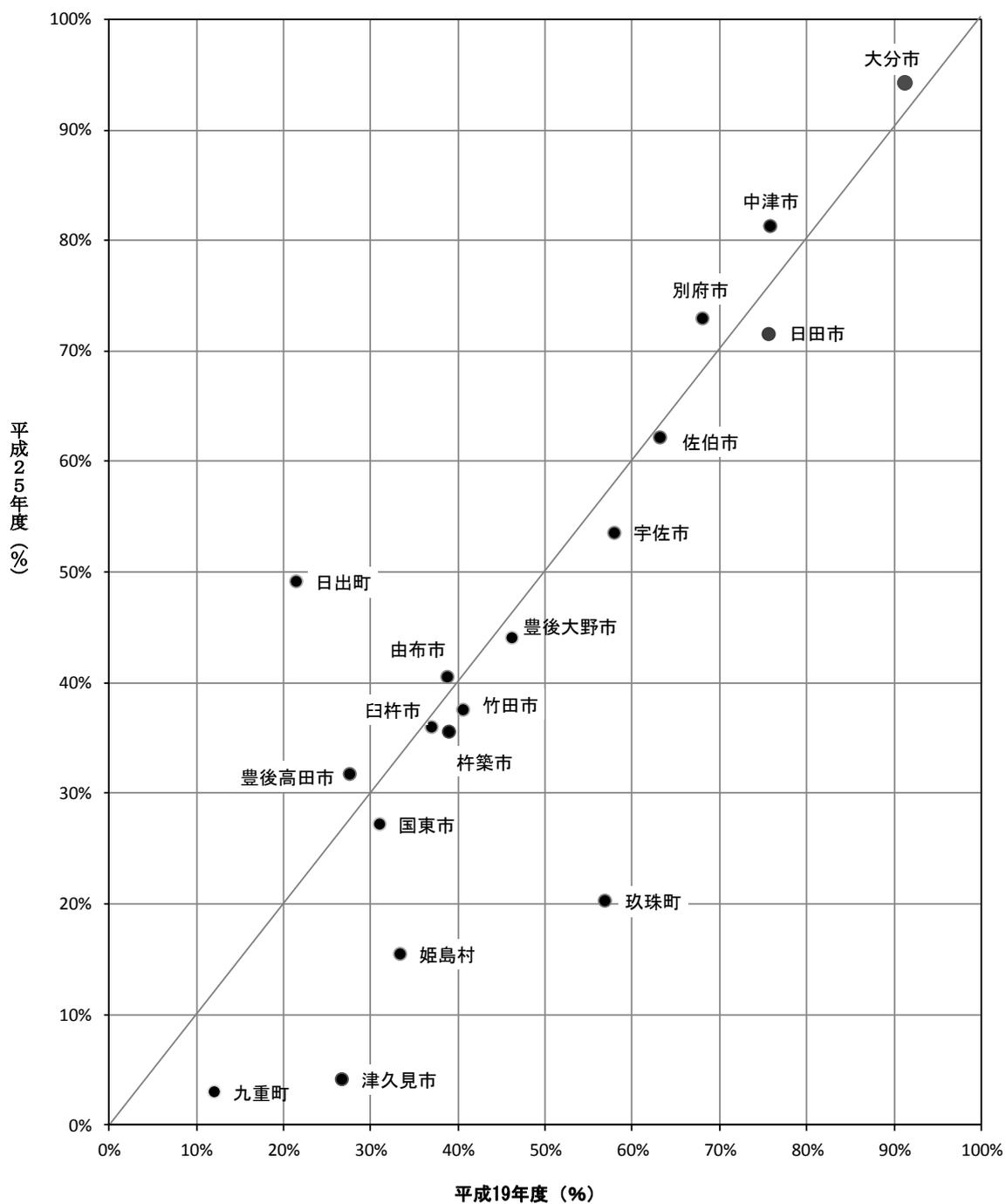
② 前回の地元購入率との比較を見ると、変化が目立つ地域として、津久見市(26.7%→4.1% 22.6%減少)、姫島村(33.3%→15.5% 17.8%減少)、玖珠町(56.9%→20.2% 36.7%減少)、日出町(21.4%→49.1% 27.7%増加)があげられる。(図Ⅲ-2-6)

③ 専門品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回11市町村であったが、今回は12市町村となっている。(図Ⅲ-2-6)

(表Ⅲ-2-7) 居住市町村別にみた流出入市町(専門品)

流入市町村-10%以上					地元購入率	流出市町村-10%以上				
由布市 54.5	竹田市 53.4	津久見市 49.0	臼杵市 47.7	豊後大野市 36.8	大分市 94.2					
佐伯市 25.8	杵築市 25.0	別府市 21.6	玖珠町 21.4	九重町 20.6						
国東市 20.4	姫島村 18.3	日出町 15.8	豊後高田市 15.5	宇佐市 11.2						
		国東市 23.3	日出町 21.1	杵築市 18.4	姫島村 15.5	別府市 72.9	大分市 21.6			
				豊後高田市 27.7	宇佐市 27.2	中津市 81.3	日田市 12.5			
		玖珠町 32.1	九重町 29.4	中津市 12.5	日田市 71.6	日田市 71.6	県外 20.2			
				津久見市 22.1	佐伯市 62.1	佐伯市 62.1	大分市 25.8			
				津久見市 19.3	臼杵市 36.0	臼杵市 36.0	大分市 47.7			
						津久見市 4.1	大分市 49.0	佐伯市 22.1	臼杵市 19.3	
				豊後大野市 10.3	竹田市 37.5	竹田市 37.5	大分市 53.4			
						豊後高田市 31.8	中津市 27.7	宇佐市 17.6	大分市 15.5	
		国東市 10.7	杵築市 35.5			杵築市 35.5	大分市 25.0	別府市 18.4	日出町 15.8	
		豊後高田市 17.6			宇佐市 53.6	宇佐市 53.6	中津市 27.2	大分市 11.2		
						豊後大野市 44.1	大分市 36.8	竹田市 10.3		
						由布市 40.6	大分市 54.5			
						国東市 27.2	別府市 23.3	大分市 20.4	杵築市 10.7	
						姫島村 15.5	大分市 18.3	別府市 15.5		
九重町 30.9			玖珠町 20.2			玖珠町 20.2	日田市 32.1	大分市 21.4	県外 14.3	
杵築市 15.8			日出町 49.1			日出町 49.1	別府市 21.1	大分市 15.8		
				九重町 2.9			玖珠町 30.9	日田市 29.4	大分市 20.6	

(図Ⅲ-2-6) 専門品の地元購入率の推移



(表Ⅲ-2-8) 専門品の市町別出向状況表

全 体	標 本 数	大 分 市	別 府 市	中 津 市	日 田 市	佐 伯 市	臼 杵 市	津 久 見 市	竹 田 市	豊 後 高 田 市	杵 築 市	宇 佐 市	豊 後 大 野 市	由 布 市	国 東 市	姫 島 村	玖 珠 町	日 出 町	九 重 町	そ の 他	県 外
	2,339	37.1	11.3	5.2	8.2	5.1	3.1	0.3	1.8	2.5	2.1	4.6	1.8	2.1	1.5	0.5	2.1	2.5	0.1	4.6	3.6
大分市	342	94.2	2.3	—	—	—	0.3	—	—	—	—	—	—	0.6	—	—	—	—	—	2.3	0.3
別府市	236	21.6	72.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	—	—	4.2	0.8
中津市	32	—	—	81.3	12.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—	—	—	3.1
日田市	183	0.5	—	—	71.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.7	20.2
佐伯市	132	25.8	—	—	—	62.1	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	1.5
臼杵市	86	47.7	1.2	—	—	3.5	36.0	—	—	—	—	—	3.5	—	—	—	—	—	—	7.0	1.2
津久見市	145	49.0	—	—	—	22.1	19.3	4.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8	0.7
竹田市	88	53.4	1.1	—	—	—	—	—	37.5	—	—	—	—	1.1	—	—	—	—	—	4.5	2.3
豊後高田市	148	15.5	2.0	27.7	—	—	—	—	—	31.8	—	17.6	—	—	—	—	—	—	—	2.7	2.7
杵築市	76	25.0	18.4	3.9	—	—	—	—	—	—	35.5	1.3	—	—	—	—	—	15.8	—	—	—
宇佐市	125	11.2	1.6	27.2	—	—	—	—	—	0.8	—	53.6	—	—	—	—	—	—	—	1.6	4.0
豊後大野市	68	36.8	1.5	—	—	1.5	1.5	—	10.3	—	—	—	44.1	—	—	—	—	—	—	2.9	1.5
由布市	101	54.5	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.6	1.0	—	—	—	—	2.0	1.0
国東市	103	20.4	23.3	2.9	—	—	—	—	—	4.9	10.7	1.9	—	—	27.2	—	—	5.8	—	2.9	—
姫島村	71	18.3	15.5	4.2	—	—	—	—	—	7.0	5.6	7.0	—	—	4.2	15.5	1.4	9.9	—	8.5	2.8
玖珠町	84	21.4	—	1.2	32.1	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	—	—	20.2	1.2	—	8.3	14.3
日出町	57	15.8	21.1	3.5	—	—	—	—	—	—	3.5	—	—	—	—	—	1.8	49.1	—	5.3	—
九重町	68	20.6	2.9	—	29.4	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	—	—	30.9	—	2.9	8.8	2.9

(4) 贈答品についての購入場所状況

① 贈答品についての購入場所状況をみると、以下のような主な商圏が形成されている。

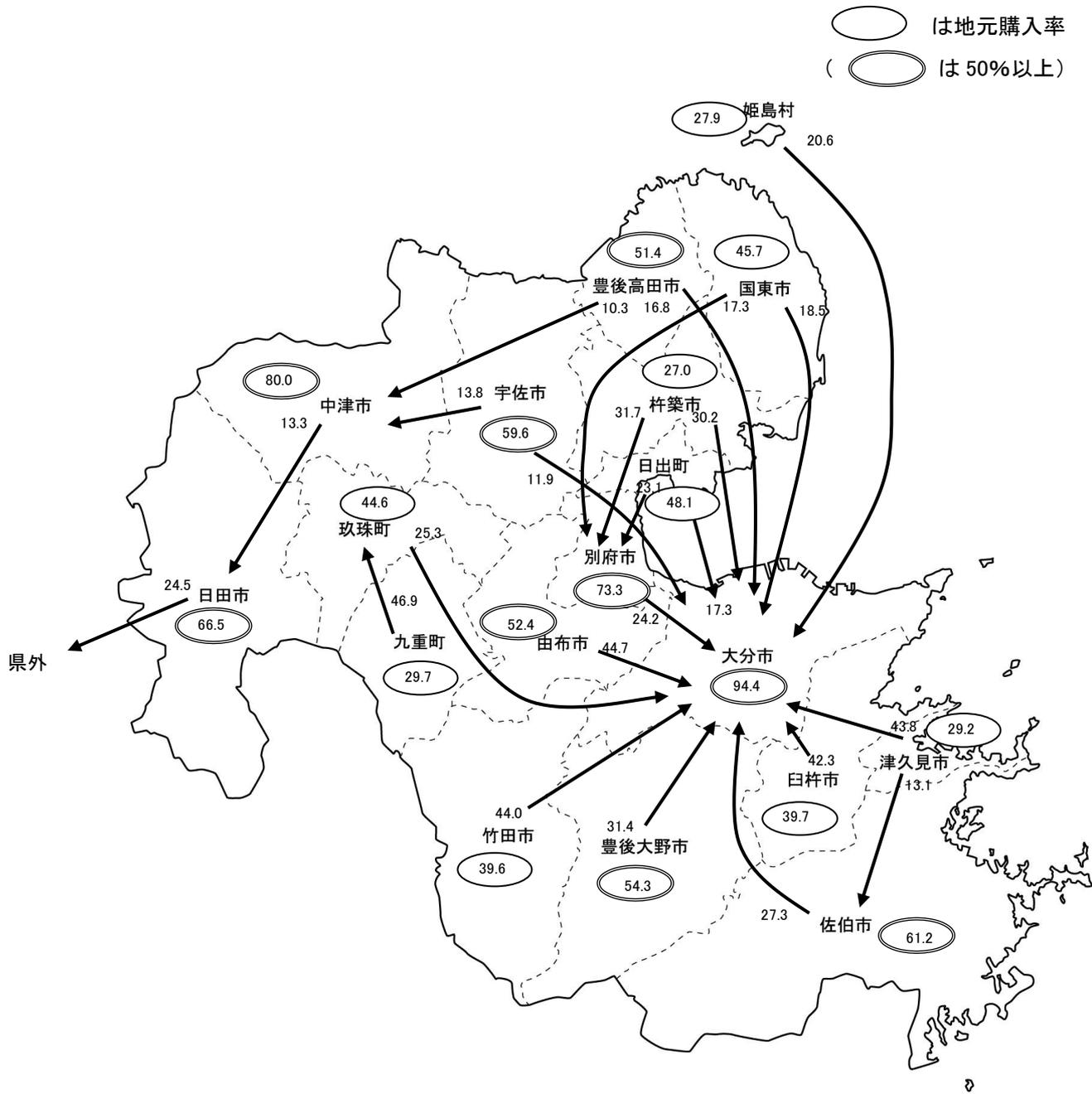
商圏	中心となる市町村	含まれる市町村(中心となる市町村に10%以上出向している市町村)
大分商圏	大分市(94.4%)	由布市(44.7%)、竹田市(44.0%)、津久見市(43.8%)、臼杵市(42.3%)、豊後大野市(31.4%)、杵築市(30.2%)、佐伯市(27.3%)、玖珠町(25.3%)、別府市(24.2%)、姫島村(20.6%)、国東市(18.5%)、日出町(17.3%)、豊後高田市(16.8%)、宇佐市(11.9%)
別府商圏	別府市(73.3%)	杵築市(31.7%)、日出町(23.1%)、国東市(17.3%)
中津商圏	中津市(80.0%)	宇佐市(13.8%)、豊後高田市(10.3%)
日田商圏	日田市(66.5%)	中津市(13.3%)
佐伯商圏	佐伯市(61.2%)	津久見市(13.1%)
豊後高田商圏	豊後高田市(51.4%)	
宇佐商圏	宇佐市(59.6%)	
豊後大野商圏	豊後大野市(54.3%)	
由布商圏	由布市(52.4%)	

※複数の商圏に含まれる市町村もある。

② 前回の地元購入率との比較を見ると、変化が目立つ地域として、佐伯市(76.9%→61.2% 15.8%減少)、津久見市(40.5%→29.2% 11.3%減少)、姫島村(45.8%→27.9% 17.9%減少)、玖珠町(62.5%→44.6% 17.9%減少)、日出町(33.9%→48.1% 14.2%増加)があげられる。(図Ⅲ-2-8)

③ 贈答品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回、今回とも9市町村であった。(図Ⅲ-2-8)

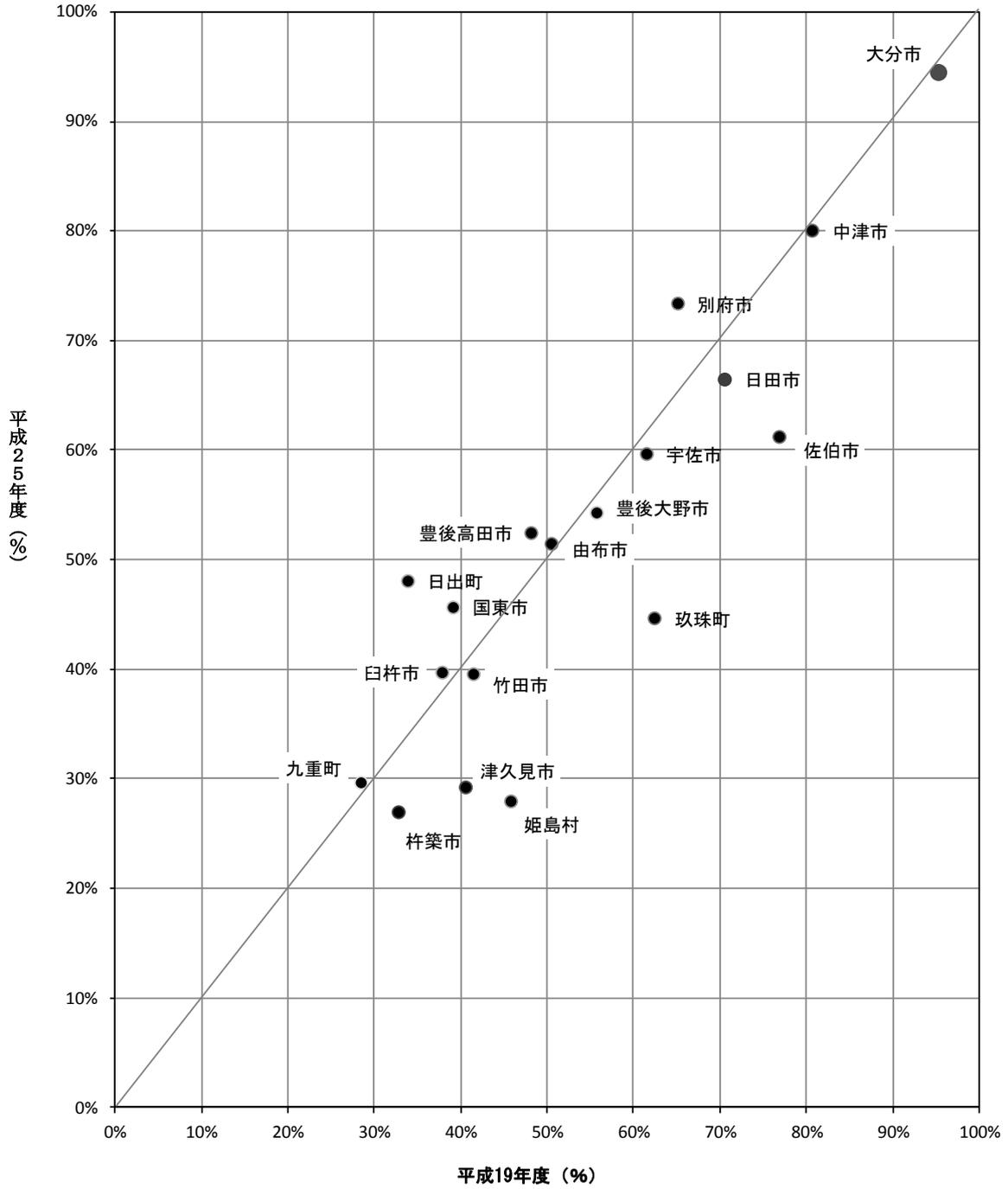
(図Ⅲ-2-7) 贈答品の出向マップ



(表Ⅲ-2-9) 居住市町村別にみた流出入市町(贈答品)

流入市町村-10%以上					地元購入率	流出市町村-10%以上		
由布市 44.7	竹田市 44.0	津久見市 43.8	臼杵市 42.3	豊後大野市 31.4	大分市 94.4			
杵築市 30.2	佐伯市 27.3	玖珠町 25.3	別府市 24.2	姫島村 20.6				
	国東市 18.5	日出町 17.3	豊後高田市 16.8	宇佐市 11.9				
		杵築市 31.7	日出町 23.1	国東市 17.3		別府市 73.3	大分市 24.2	
			宇佐市 13.8	豊後高田市 10.3		中津市 80.0	日田市 13.3	
				中津市 13.3		日田市 66.5	県外 24.5	
				津久見市 13.1		佐伯市 61.2	大分市 27.3	
						臼杵市 39.7	大分市 42.3	
						津久見市 29.2	大分市 43.8	佐伯市 13.1
						竹田市 39.6	大分市 44.0	
					豊後高田市 51.4	大分市 16.8	中津市 10.3	
					杵築市 27.0	別府市 31.7	大分市 30.2	
					宇佐市 59.6	中津市 13.8	大分市 11.9	
					豊後大野市 54.3	大分市 31.4		
					由布市 52.4	大分市 44.7		
					国東市 45.7	大分市 18.5	別府市 17.3	
					姫島村 27.9	大分市 20.6		
				九重町 46.9	玖珠町 44.6	大分市 25.3		
					日出町 48.1	別府市 23.1	大分市 17.3	
					九重町 29.7	玖珠町 46.9		

(図Ⅲ-2-8) 贈答品の地元購入率の推移



(表Ⅲ-2-10)贈答品の市町別出向状況表

	標本数	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	玖珠町	日出町	九重町	その他	県外
全体	2,168	37.8	12.1	2.8	5.2	4.7	2.4	1.9	1.8	3.3	1.1	3.9	2.5	2.9	2.1	1.1	3.6	1.8	1.1	4.5	3.6
大分市	342	94.4	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	—	—	—	—	—	1.8	0.9
別府市	236	24.2	73.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	—	—	1.3	0.8
中津市	30	—	—	80.0	13.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	—	—	3.3	—
日田市	155	1.9	—	—	66.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.1	24.5
佐伯市	121	27.3	—	—	—	61.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.9	1.7
臼杵市	78	42.3	—	—	—	5.1	39.7	—	—	—	—	—	5.1	—	—	—	—	—	—	6.4	1.3
津久見市	137	43.8	—	—	—	13.1	8.8	29.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	0.7
竹田市	91	44.0	2.2	—	—	—	—	—	39.6	—	—	—	3.3	1.1	—	—	—	—	—	7.7	2.2
豊後高田市	107	16.8	4.7	10.3	—	—	—	—	—	51.4	—	9.3	—	—	—	0.9	—	—	—	4.7	1.9
杵築市	63	30.2	31.7	1.6	—	—	—	—	—	—	27.0	—	—	—	—	—	—	9.5	—	—	—
宇佐市	109	11.9	2.8	13.8	—	—	—	—	—	2.8	—	59.6	—	—	0.9	0.9	—	—	—	1.8	5.5
豊後大野市	70	31.4	2.9	—	—	1.4	1.4	—	4.3	—	—	—	54.3	—	—	—	—	—	—	4.3	—
由布市	103	44.7	1.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52.4	—	—	—	—	—	1.0	—
国東市	81	18.5	17.3	3.7	—	—	—	—	—	8.6	1.2	—	—	—	45.7	—	—	2.5	—	1.2	1.2
姫島村	68	20.6	5.9	1.5	—	—	—	—	—	8.8	2.9	8.8	—	—	4.4	27.9	1.5	—	2.9	11.8	2.9
玖珠町	83	25.3	2.4	2.4	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	—	—	44.6	2.4	1.2	8.4	8.4
日出町	52	17.3	23.1	—	—	—	—	—	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—	48.1	—	7.7	1.9
九重町	64	9.4	3.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6	—	—	46.9	—	29.7	6.3	3.1

3 商品購入時に重視する点（問3）

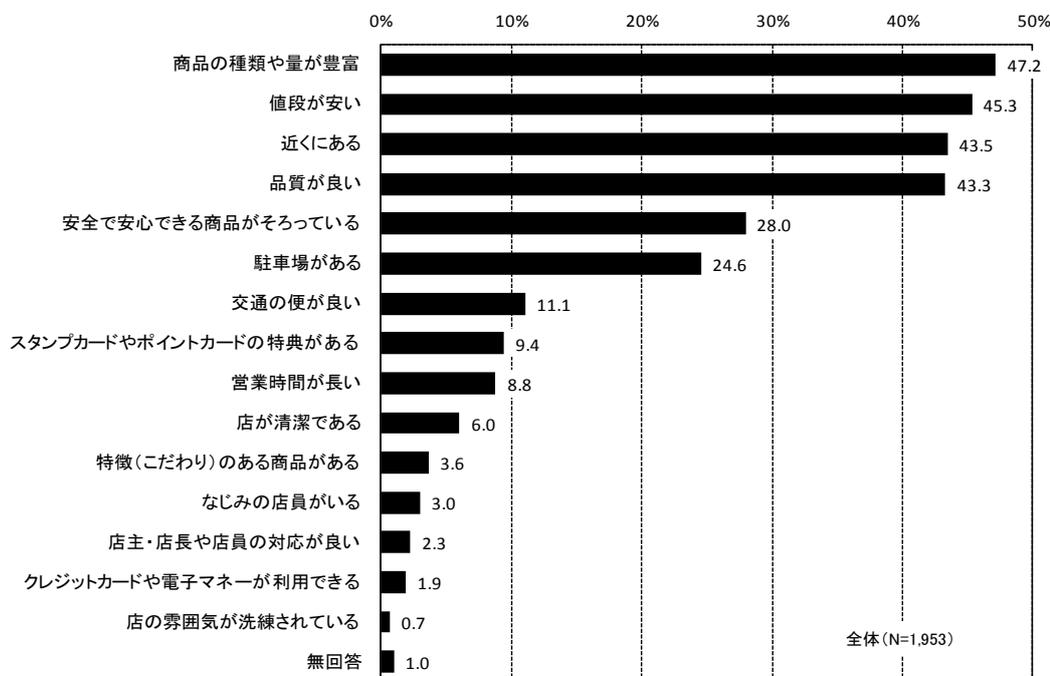
（1）食料品等

生鮮食品・加工食品・調味料・飲料等の食料品を購入するとき、どのような点を重視して店を選ぶかについては、「商品の種類や量が豊富」が47.2%と最も高く、次いで「値段が安い」が45.3%、「近くにある」が43.5%、「品質が良い」が43.3%、「安全で安心できる商品がそろっている」が28.0%の順に高くなっている。他の商品カテゴリーに比べ、安全面や最寄り性が上位に挙がる。

次に年齢別にみると、40歳代以下では「値段が安い」が5割強と最も高いのに対し、60歳以上では同27.2%と低い。また、50歳代では「品質が良い」が49.4%で最多項目になる。

その他、20歳代では「近くにある」が54.1%で、他の年代より10%以上高い。

（図Ⅲ-3-1）食料品など購入時に重視する点（複数回答）



（表Ⅲ-3-1）食料品など購入時に重視する点（複数回答）

年齢別	標本数	(数値:%)															
		商品の種類や量が豊富	値段が安い	近くにある	品質が良い	安全で安心できる商品がそろっている	駐車場がある	交通の便が良い	スタンプカードやポイントカードの特典がある	営業時間が長い	店が清潔である	特徴(こだわり)のある商品がある	なじみの店員がいる	店主・店長や店員の対応が良い	クレジットカードや電子マネーが利用できる	店の雰囲気が洗練されている	無回答
全体	1,953	47.2	45.3	43.5	43.3	28.0	24.6	11.1	9.4	8.8	6.0	3.6	3.0	2.3	1.9	0.7	1.0
20歳代	170	42.4	54.1	54.1	35.3	25.9	24.1	12.4	5.3	13.5	8.2	2.4	2.4	1.2	1.2	1.2	0.0
30歳代	376	51.6	54.5	41.5	42.6	24.7	24.5	11.7	8.0	8.5	5.9	3.7	2.4	1.9	3.5	0.8	0.5
40歳代	464	45.3	55.2	43.3	44.4	29.5	24.6	10.1	7.5	8.2	5.8	2.6	1.7	1.3	2.4	0.2	0.6
50歳代	405	45.9	45.4	42.0	49.4	29.1	27.2	11.4	8.9	10.4	4.4	4.0	2.2	2.7	1.2	1.2	0.5
60歳以上	529	48.2	27.2	42.9	41.2	28.7	22.9	10.8	13.6	6.8	7.0	4.5	5.1	3.4	1.1	0.2	2.3

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

職業別では、パート・アルバイトで「値段が安い」が56.4%と他に比べて高くなっている。

居住市町村別には、市レベルでは津久見市の「値段が安い」が6割を越え高い。また、町村レベルでは標本数が少ないものの姫島村で「商品の種類や量が豊富」、「値段が安い」、「近くにある」の3項目が6割を越え、他より多くあげられている。

(農林水産業は、標本数が少ないため割愛)

(表Ⅲ-3-1)食料品など購入時に重視する点(複数回答) ~続き~

(数値:%)

	標本数	商品の種類や量が豊富	値段が安い	近くにある	品質が良い	安全安心の商品がそろっている	駐車場がある	交通の便が良い	スタンプカードやポイントの特典がある	営業時間が長い	店が清潔である	特徴(こだわり)のある商品がある	なじみの店員がいる	店主・店長や店員の対応が良い	クレジットカードや電子マネーが利用できる	店の雰囲気洗練されている	無回答	
全体	1,953	47.2	45.3	43.5	43.3	28.0	24.6	11.1	9.4	8.8	6.0	3.6	3.0	2.3	1.9	0.7	1.0	
職業別	会社員等	747	45.1	48.2	45.5	41.8	27.6	26.2	13.1	7.0	12.0	5.6	2.9	2.3	1.5	2.5	0.4	0.7
	パート・アルバイト	411	50.9	56.4	43.1	47.2	26.5	25.1	8.8	9.7	6.8	5.4	3.2	1.5	1.5	1.5	1.0	0.2
	自営業	422	45.3	32.7	41.7	42.7	29.1	22.3	10.9	12.6	7.3	6.6	5.2	3.6	3.3	1.7	0.7	1.9
	農林水産業	16	56.3	37.5	43.8	31.3	37.5	12.5	6.3	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	206	48.5	41.7	45.1	42.7	27.7	22.8	10.2	11.2	1.9	8.3	4.4	6.8	3.4	1.5	1.0	1.0
	その他	98	55.1	45.9	36.7	45.9	26.5	25.5	9.2	10.2	14.3	6.1	3.1	5.1	4.1	2.0	0.0	0.0
居住市町村別	大分市	358	45.0	44.4	47.2	47.2	30.7	30.2	10.9	5.3	8.4	6.7	3.9	1.4	0.8	2.8	0.6	0.3
	別府市	205	47.3	48.8	29.3	51.2	25.4	31.7	15.1	9.3	8.8	6.8	3.9	2.4	1.5	1.5	2.0	1.0
	中津市	30	50.0	30.0	30.0	56.7	30.0	23.3	6.7	16.7	13.3	3.3	10.0	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0
	日田市	162	46.9	46.9	38.3	42.6	30.2	21.0	10.5	8.0	9.3	3.1	4.9	6.2	1.9	1.9	0.6	1.2
	佐伯市	109	56.0	44.0	49.5	35.8	30.3	30.3	14.7	1.8	6.4	4.6	2.8	1.8	0.9	0.0	1.8	0.9
	臼杵市	63	44.4	47.6	52.4	46.0	20.6	27.0	11.1	6.3	6.3	3.2	3.2	4.8	3.2	1.6	0.0	0.0
	津久見市	95	46.3	64.2	44.2	41.1	26.3	26.3	12.6	7.4	10.5	3.2	2.1	3.2	0.0	2.1	0.0	0.0
	竹田市	70	55.7	52.9	37.1	40.0	27.1	25.7	10.0	4.3	10.0	15.7	1.4	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0
	豊後高田市	95	48.4	48.4	41.1	35.8	21.1	21.1	9.5	6.3	9.5	5.3	5.3	2.1	6.3	1.1	0.0	1.1
	杵築市	51	35.3	43.1	47.1	43.1	47.1	19.6	7.8	7.8	7.8	7.8	2.0	2.0	9.8	2.0	0.0	2.0
	宇佐市	94	41.5	39.4	40.4	50.0	27.7	19.1	8.5	20.2	4.3	8.5	4.3	3.2	1.1	1.1	1.1	1.1
	豊後大野市	62	46.8	48.4	38.7	45.2	30.6	16.1	14.5	22.6	11.3	4.8	1.6	3.2	6.5	0.0	0.0	0.0
	由布市	101	57.4	37.6	52.5	28.7	12.9	30.7	12.9	5.0	8.9	4.0	0.0	4.0	1.0	3.0	0.0	4.0
	国東市	74	55.4	33.8	44.6	40.5	23.0	21.6	9.5	13.5	5.4	4.1	4.1	6.8	5.4	2.7	0.0	2.7
	姫島村	35	68.6	62.9	65.7	31.4	20.0	5.7	11.4	17.1	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	玖珠町	65	44.6	38.5	52.3	47.7	21.5	12.3	7.7	23.1	12.3	10.8	3.1	1.5	1.5	3.1	0.0	0.0
日出町	46	43.5	34.8	45.7	52.2	39.1	17.4	8.7	0.0	8.7	8.7	2.2	2.2	4.3	2.2	2.2	0.0	
九重町	55	41.8	49.1	32.7	40.0	25.5	10.9	7.3	12.7	20.0	5.5	1.8	1.8	3.6	1.8	1.8	3.6	

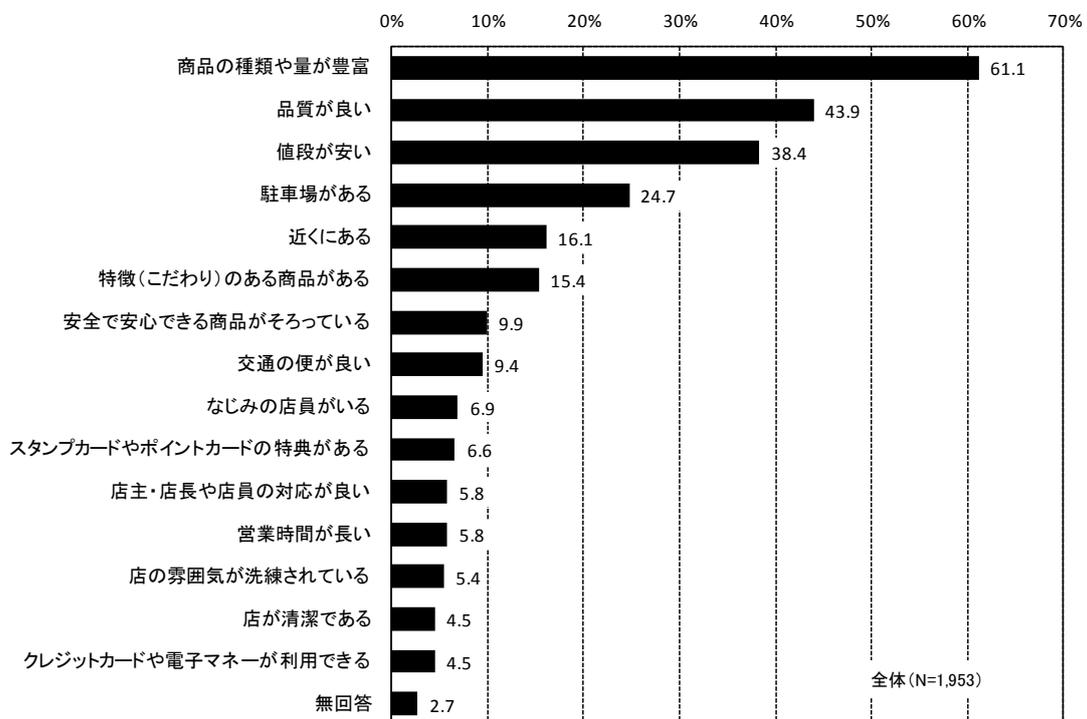
(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(2) 衣料品・身近雑貨

下着・普段着・アクセサリ等の衣料品・身近雑貨を購入するとき、どのような点を重視して店を選ぶかについては、「商品の種類や量が豊富」が61.1%と最も高く、次いで「品質が良い」が43.9%、「値段が安い」が38.4%、「駐車場がある」が24.7%の順に高くなっている。「商品の種類や量が豊富」と2番手以下では大きな差があり、品揃えを重視している様子が見えらる。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「商品の種類や量が豊富」が最も高いが、60歳以上では51.8%と他の年代に比べて低い。「値段が安い」が30歳代(44.7%)、40歳代(45.9%)で高い傾向を示す。20歳代では、「特徴のある商品がある」(24.7%)が他の年代よりも高い。

(図Ⅲ-3-2)衣料品・身近雑貨購入時に重視する点(複数回答)



(表Ⅲ-3-2)衣料品・身近雑貨購入時に重視する点(複数回答)

		(数値:%)																
	標本数	商品の種類や量が豊富	品質が良い	値段が安い	駐車場がある	近くにある	特徴(こだわり)のある商品がある	安全で安心できる商品がそろっている	交通の便が良い	なじみの店員がいる	スタンプカードやポイントカードの特典がある	店主・店長や店員の対応が良い	営業時間が長い	店の雰囲気が洗練されている	店が清潔である	クレジットカードや電子マネーが利用できる	無回答	
全体	1,953	61.1	43.9	38.4	24.7	16.1	15.4	9.9	9.4	6.9	6.6	5.8	5.8	5.4	4.5	4.5	2.7	
年齢別	20歳代	170	65.3	44.7	38.2	23.5	10.6	24.7	4.7	11.8	7.6	4.7	7.6	5.9	6.5	5.3	4.1	0.0
	30歳代	376	67.0	45.2	44.7	25.0	12.8	17.8	6.9	9.0	5.3	4.3	4.3	5.9	6.1	5.6	5.6	0.5
	40歳代	464	62.5	46.6	45.9	28.7	13.8	12.1	8.2	8.6	3.7	8.2	4.3	7.5	6.0	5.4	5.2	1.5
	50歳代	405	64.7	42.7	37.3	28.1	15.8	17.0	9.6	8.6	8.6	8.1	6.2	6.9	4.2	4.0	4.9	1.5
	60歳以上	529	51.8	41.2	28.4	18.9	22.3	12.3	15.3	10.0	9.3	6.4	7.4	3.4	5.1	3.0	2.8	7.0

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

職業別では、パート・アルバイトでは「値段が安い」が47.7%で、他の職業より高くなっている。

居住市町村別には、津久見市と姫島村で「商品の種類や量が豊富」が8割程度と他市町村に比べて突出して高くなっている。

(農林水産業は、標本数が少ないため割愛)

(表Ⅲ-3-2)衣料品・身辺雑貨購入時に重視する点(複数回答) ~続き~

(数値:%)

	標本数	商品の種類や量が豊富	品質が良い	値段が安い	駐車場がある	近くにある	特徴(こだわり)のある商品がある	安全安心の商品がそろっている	交通の便が良い	なじみの店員がいる	スタンプカードやポイントカードの特典がある	店主・店長や店員の対応が良い	営業時間が長い	店の雰囲気洗練されている	店が清潔である	クレジットカードや電子マネーが利用できる	無回答	
全体	1,953	61.1	43.9	38.4	24.7	16.1	15.4	9.9	9.4	6.9	6.6	5.8	5.8	5.4	4.5	4.5	2.7	
職業別	会社員等	747	65.1	47.4	37.5	25.3	13.5	16.9	9.5	9.8	6.6	6.4	4.4	5.9	5.4	4.1	6.0	1.2
	パート・アルバイト	411	63.5	41.4	47.7	29.4	15.3	12.7	7.1	11.4	3.4	8.8	5.1	6.6	5.6	6.6	4.4	1.5
	自営業	422	50.9	42.7	29.6	18.2	18.7	14.9	11.6	9.5	10.7	6.2	7.6	6.6	6.9	2.8	3.1	5.7
	農林水産業	16	81.3	50.0	37.5	18.8	18.8	6.3	18.8	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0
	無職	206	65.5	36.4	40.3	27.7	23.3	18.9	10.7	7.8	6.8	5.3	6.3	1.9	2.9	4.4	1.5	2.4
	その他	98	61.2	54.1	40.8	23.5	12.2	14.3	11.2	6.1	7.1	5.1	8.2	8.2	2.0	7.1	5.1	4.1
居住市町村別	大分市	358	62.3	49.4	34.9	32.7	16.5	15.4	12.3	11.5	8.4	7.5	3.4	4.5	5.3	5.9	5.3	0.6
	別府市	205	57.6	42.9	35.1	32.2	11.7	17.1	11.7	11.2	5.9	11.2	10.7	5.4	4.9	6.3	2.9	2.0
	中津市	30	36.7	40.0	46.7	16.7	16.7	13.3	16.7	3.3	16.7	13.3	6.7	3.3	10.0	3.3	6.7	0.0
	日田市	162	57.4	42.0	34.6	17.9	13.0	14.8	6.8	5.6	15.4	6.2	6.8	6.2	4.3	2.5	4.9	5.6
	佐伯市	109	61.5	46.8	36.7	24.8	17.4	22.9	6.4	3.7	4.6	1.8	8.3	5.5	8.3	6.4	3.7	0.9
	臼杵市	63	66.7	39.7	50.8	30.2	7.9	22.2	9.5	4.8	3.2	3.2	1.6	7.9	1.6	6.3	11.1	3.2
	津久見市	95	76.8	48.4	44.2	31.6	7.4	11.6	6.3	15.8	5.3	6.3	4.2	5.3	1.1	4.2	3.2	0.0
	竹田市	70	62.9	37.1	48.6	24.3	14.3	14.3	12.9	10.0	0.0	5.7	5.7	4.3	8.6	4.3	4.3	0.0
	豊後高田市	95	66.3	42.1	48.4	17.9	20.0	14.7	8.4	9.5	8.4	3.2	4.2	6.3	6.3	4.2	4.2	0.0
	杵築市	51	58.8	39.2	47.1	23.5	23.5	7.8	3.9	7.8	9.8	7.8	7.8	3.9	3.9	3.9	2.0	2.0
	宇佐市	94	57.4	53.2	28.7	13.8	18.1	12.8	9.6	6.4	4.3	8.5	10.6	3.2	18.1	6.4	3.2	2.1
	豊後大野市	62	62.9	58.1	51.6	17.7	16.1	14.5	11.3	11.3	3.2	6.5	6.5	11.3	1.6	0.0	0.0	4.8
	由布市	101	59.4	30.7	26.7	30.7	26.7	9.9	6.9	9.9	3.0	5.0	2.0	7.9	0.0	4.0	4.0	5.9
	国東市	74	64.9	32.4	32.4	23.0	16.2	16.2	9.5	14.9	8.1	5.4	2.7	6.8	4.1	1.4	6.8	5.4
	姫島村	35	82.9	42.9	51.4	14.3	14.3	17.1	17.1	11.4	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9	2.9
	玖珠町	65	61.5	38.5	36.9	16.9	10.8	26.2	7.7	13.8	4.6	6.2	3.1	6.2	4.6	3.1	4.6	3.1
日出町	46	56.5	47.8	32.6	19.6	23.9	19.6	2.2	6.5	15.2	6.5	8.7	6.5	6.5	6.5	10.9	0.0	
九重町	55	58.2	41.8	50.9	9.1	16.4	9.1	3.6	5.5	1.8	9.1	7.3	7.3	12.7	1.8	1.8	9.1	

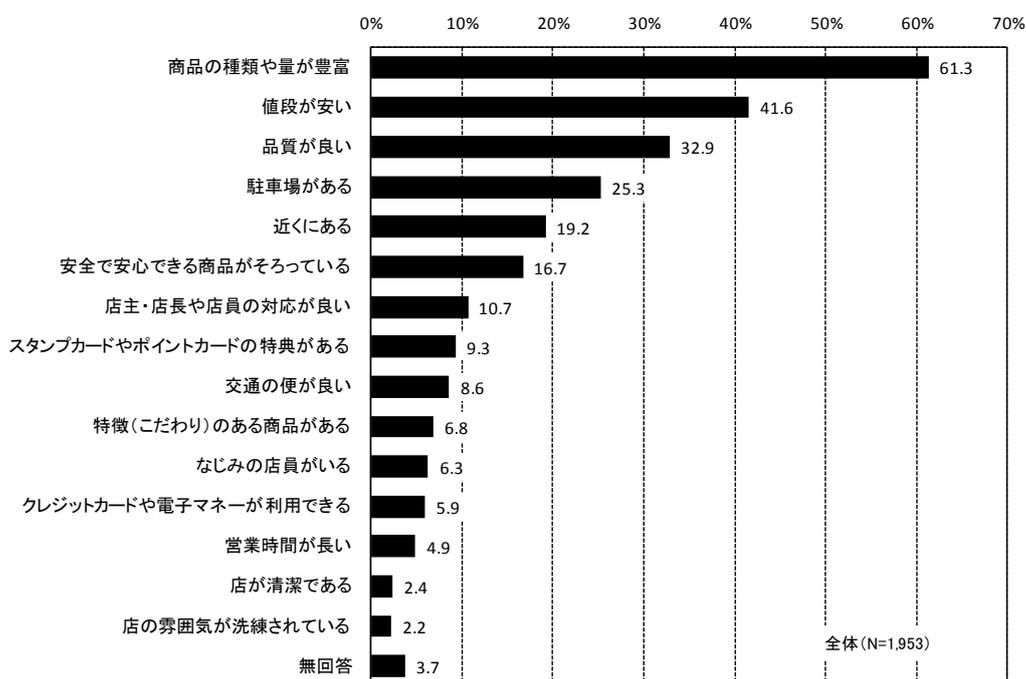
(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(3) 文化品

電化製品・家具・書籍・文具等文化品を購入するとき、どのような点を重視して店を選ぶかについては、「商品の種類や量が豊富」が61.3%と最も高く、次いで「値段が安い」が41.6%、「品質が良い」が32.9%、「駐車場がある」が25.3%、「近くにある」が19.2%の順に高くなっている。他の商品群に比べると、品質への重視度が低い。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「商品の種類や量が豊富」が最も高いが、60歳以上では52.6%と他の年代に比べて低い。その他に30歳代(50.0%)、40歳代(46.8%)では「値段が安い」といった価格面、50歳代で「駐車場がある」(31.1%)、60歳以上で「近くにある」(25.0%)といった買い物への行き易さが高い特徴を示す。

(図Ⅲ-3-3)文化品購入時に重視する点(複数回答)



(表Ⅲ-3-3)文化品購入時に重視する点(複数回答)

		(数値:%)																
	標本数	商品の種類や量が豊富	値段が安い	品質が良い	駐車場がある	近くにある	安全で安心できる商品がそろっている	店主・店長や店員の対応が良い	スタンプカードやポイントカードの特典がある	交通の便が良い	特徴(こだわり)のある商品がある	なじみの店員がいる	クレジットカードや電子マネーが利用できる	営業時間が長い	店が清潔である	店の雰囲気が洗練されている	無回答	
全体	1,953	61.3	41.6	32.9	25.3	19.2	16.7	10.7	9.3	8.6	6.8	6.3	5.9	4.9	2.4	2.2	3.7	
年齢別	20歳代	170	66.5	45.9	37.1	23.5	21.2	15.9	9.4	6.5	5.9	13.5	4.1	4.1	5.9	3.5	1.2	0.0
	30歳代	376	66.8	50.0	35.4	24.5	18.4	13.0	8.8	11.4	7.2	6.6	4.8	5.6	6.9	2.9	2.1	0.8
	40歳代	464	62.7	46.8	34.5	28.9	15.5	14.0	9.5	11.0	8.6	6.7	2.6	8.2	5.4	3.2	2.6	2.6
	50歳代	405	63.7	40.5	33.8	31.1	15.8	19.5	10.6	9.9	9.4	5.2	7.7	6.2	4.2	1.7	2.2	3.2
	60歳以上	529	52.6	29.9	27.8	18.7	25.0	19.7	13.6	6.8	9.6	6.2	10.2	4.5	3.2	1.3	2.3	8.3

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

職業別では、パート・アルバイトでは「値段が安い」が47.7%で全体より高くなっている。

また、高齢層の多い無職では「近くにある」がやや高くなっている。

居住市町村別には、津久見市、竹田市、姫島村、玖珠町で「商品の種類や量が豊富」が7割以上と他と比べて高くなっている。

(農林水産業は、標本数が少ないため割愛)

(表Ⅲ-3-3)文化品購入時に重視する点(複数回答) ～続き～

(数値:%)

	標本数	商品の種類や量が豊富	値段が安い	品質が良い	駐車場がある	近くにある	安全安心の商品がそろっている	店主・店長や店員の対応が良い	スタンプカードやポイントの特典がある	交通の便が良い	特徴(こだわり)のある商品がある	なじみの店員がいる	クレジットカードや電子マネーが利用できる	営業時間が長い	店が清潔である	店の雰囲気洗練されている	無回答	
全体	1,953	61.3	41.6	32.9	25.3	19.2	16.7	10.7	9.3	8.6	6.8	6.3	5.9	4.9	2.4	2.2	3.7	
職業別	会社員等	747	66.0	43.9	36.7	26.4	17.0	15.8	9.1	8.7	8.2	8.0	4.3	8.8	5.6	2.1	1.7	1.7
	パート・アルバイト	411	60.1	47.7	29.4	29.9	17.8	14.6	10.5	13.4	10.7	3.6	4.9	4.1	4.9	3.6	2.9	3.2
	自営業	422	55.0	34.8	29.4	20.6	18.7	18.5	13.3	5.5	9.2	7.3	9.2	4.3	5.2	0.7	2.8	7.8
	農林水産業	16	75.0	43.8	18.8	12.5	25.0	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	0.0
	無職	206	58.3	37.4	32.5	21.4	32.0	18.4	11.7	11.2	7.8	7.3	11.7	2.9	1.0	3.4	1.5	1.9
	その他	98	68.4	37.8	36.7	28.6	14.3	18.4	12.2	13.3	4.1	9.2	5.1	7.1	7.1	3.1	1.0	3.1
居住市町村別	大分市	358	63.1	38.8	36.6	34.6	18.4	17.6	8.9	12.6	7.5	9.2	4.2	5.6	5.9	2.8	2.0	1.4
	別府市	205	48.8	41.5	35.6	31.2	16.1	17.1	10.7	10.7	10.2	10.2	5.9	6.8	4.4	5.4	2.9	2.9
	中津市	30	40.0	43.3	16.7	20.0	30.0	26.7	10.0	20.0	3.3	10.0	3.3	13.3	3.3	3.3	3.3	0.0
	日田市	162	59.9	48.8	23.5	21.6	20.4	10.5	11.7	6.2	6.8	4.9	13.0	8.0	3.7	1.2	1.2	7.4
	佐伯市	109	62.4	42.2	34.9	29.4	22.0	17.4	11.9	0.9	7.3	8.3	8.3	9.2	3.7	0.0	0.9	2.8
	臼杵市	63	66.7	49.2	33.3	33.3	12.7	15.9	4.8	7.9	14.3	4.8	4.8	11.1	4.8	0.0	0.0	3.2
	津久見市	95	73.7	38.9	46.3	25.3	6.3	14.7	6.3	10.5	16.8	3.2	4.2	8.4	9.5	1.1	2.1	1.1
	竹田市	70	70.0	41.4	28.6	21.4	20.0	10.0	20.0	5.7	10.0	8.6	2.9	7.1	4.3	1.4	0.0	0.0
	豊後高田市	95	60.0	54.7	41.1	14.7	15.8	18.9	9.5	11.6	4.2	9.5	9.5	3.2	4.2	2.1	1.1	0.0
	杵築市	51	62.7	49.0	23.5	27.5	19.6	19.6	7.8	11.8	5.9	0.0	11.8	3.9	2.0	0.0	2.0	3.9
	宇佐市	94	58.5	42.6	27.7	9.6	35.1	16.0	18.1	9.6	8.5	5.3	9.6	4.3	3.2	4.3	4.3	3.2
	豊後大野市	62	64.5	41.9	32.3	21.0	22.6	12.9	11.3	6.5	9.7	9.7	6.5	3.2	12.9	3.2	1.6	3.2
	由布市	101	59.4	32.7	30.7	27.7	25.7	13.9	6.9	4.0	9.9	2.0	8.9	3.0	3.0	1.0	0.0	6.9
	国東市	74	62.2	35.1	32.4	20.3	17.6	21.6	6.8	4.1	14.9	8.1	4.1	6.8	4.1	1.4	2.7	5.4
	姫島村	35	82.9	37.1	45.7	14.3	25.7	20.0	2.9	5.7	11.4	11.4	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	玖珠町	65	72.3	47.7	27.7	20.0	6.2	18.5	6.2	15.4	6.2	6.2	0.0	4.6	4.6	1.5	4.6	7.7
	日出町	46	56.5	39.1	32.6	28.3	28.3	15.2	19.6	2.2	6.5	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	8.7	2.2
九重町	55	58.2	34.5	30.9	14.5	18.2	16.4	16.4		7.3	3.6	7.3	1.8	3.6	3.6	10.9	9.1	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

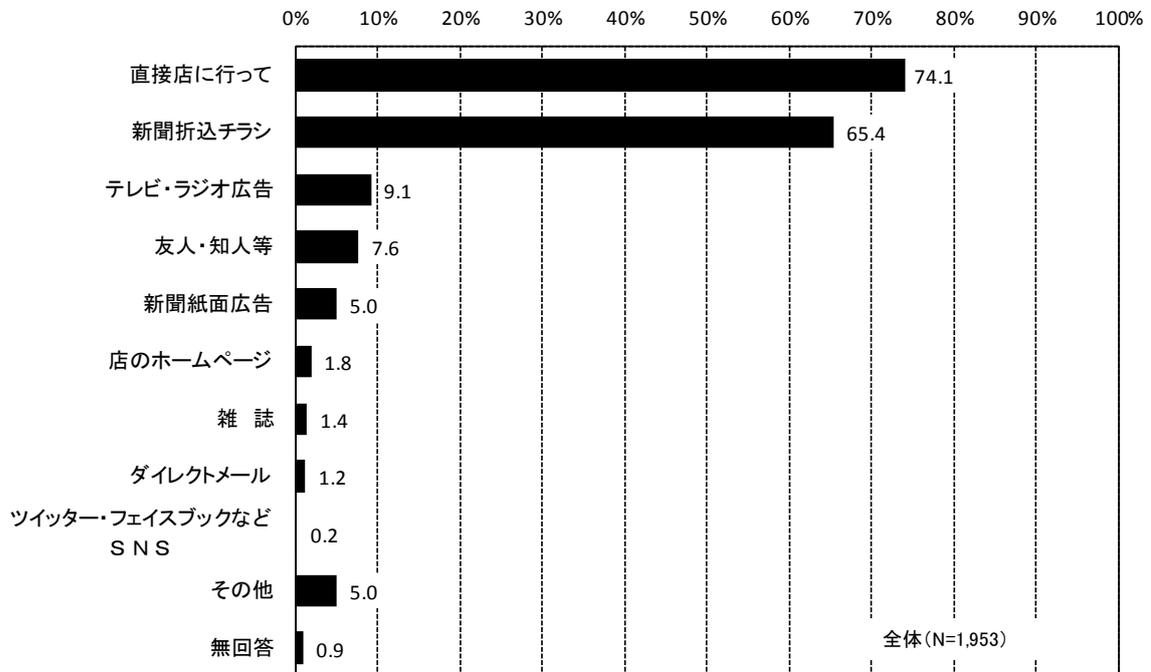
4 商品購入時の情報源（問4）

(1) 食料品等

食料品等を購入するとき、どこから情報を得ているかについては、「直接店に行って」が74.1%と最も高く、次いで「新聞折込チラシ」が65.4%と高い。その他情報源については、いずれも10%未満と低い結果である。衣料・身近雑貨や文化品に比べて、「新聞折込チラシ」からの情報収集が高い。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「直接店に行って」が最も高い。特徴としては、40歳代で「新聞折込チラシ」(71.8%)、20歳代で「テレビ・ラジオ広告」(15.9%)が他の年代に比べて高い。

(図Ⅲ-4-1) 食料品等購入時の情報源(複数回答)



(表Ⅲ-4-1) 食料品等購入時の情報源(複数回答)

	標本数	(数値:%)											
		直接店に行つて	新聞折込チラシ	テレビ・ラジオ広告	友人・知人等	新聞紙面広告	店のホームページ	雑誌	ダイレクトメール	ツイッター・フェイスブックなどSNS	その他	無回答	
全体	1,953	74.1	65.4	9.1	7.6	5.0	1.8	1.4	1.2	0.2	5.0	0.9	
年齢別	20歳代	170	69.4	54.1	15.9	11.8	2.9	1.8	0.6	3.5	1.2	3.5	1.2
	30歳代	376	74.7	64.9	10.4	9.8	1.9	3.7	2.7	0.5	0.5	3.7	0.5
	40歳代	464	73.9	71.8	9.1	6.0	5.4	2.2	1.3	0.2	0.0	4.5	0.4
	50歳代	405	74.6	69.1	10.1	6.7	5.7	0.7	1.5	1.5	0.0	5.4	0.5
	60歳以上	529	75.0	60.9	5.1	6.8	6.8	1.1	0.8	1.5	0.0	6.4	1.7

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

職業別にみると、購入時に重視する点で「値段が安い」をやや多くあげていたパート・アルバイトでは、「新聞折込チラシ」が7割を越え、情報源としての活用度がやや高い。

(農林水産業は、標本数が少ないため割愛)

(表Ⅲ-4-1) 食料品等購入時の情報源(複数回答) ～続き～

(数値:%)

	標本数	直接店に行つて	新聞折込チラシ	テレビ・ラジオ広告	友人・知人等	新聞紙面広告	店のホームページ	雑誌	ダイレクトメール	ツイッター等SNS	その他	無回答	
全体	1,953	74.1	65.4	9.1	7.6	5.0	1.8	1.4	1.2	0.2	5.0	0.9	
職業別	会社員等	747	72.6	63.3	10.4	7.4	4.3	2.4	1.3	1.3	0.4	5.4	0.9
	パート・アルバイト	411	75.2	72.7	9.5	7.3	6.3	2.2	1.0	0.2	3.2	0.2	
	自営業	422	73.0	63.3	7.3	7.3	4.7	1.4	2.1	1.9	0.0	5.9	1.4
	農林水産業	16	56.3	56.3	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	206	78.6	66.5	5.8	7.8	5.8	0.5	1.0	1.0	0.0	5.3	0.0
	その他	98	80.6	62.2	9.2	13.3	3.1	1.0	1.0	1.0	0.0	8.2	0.0

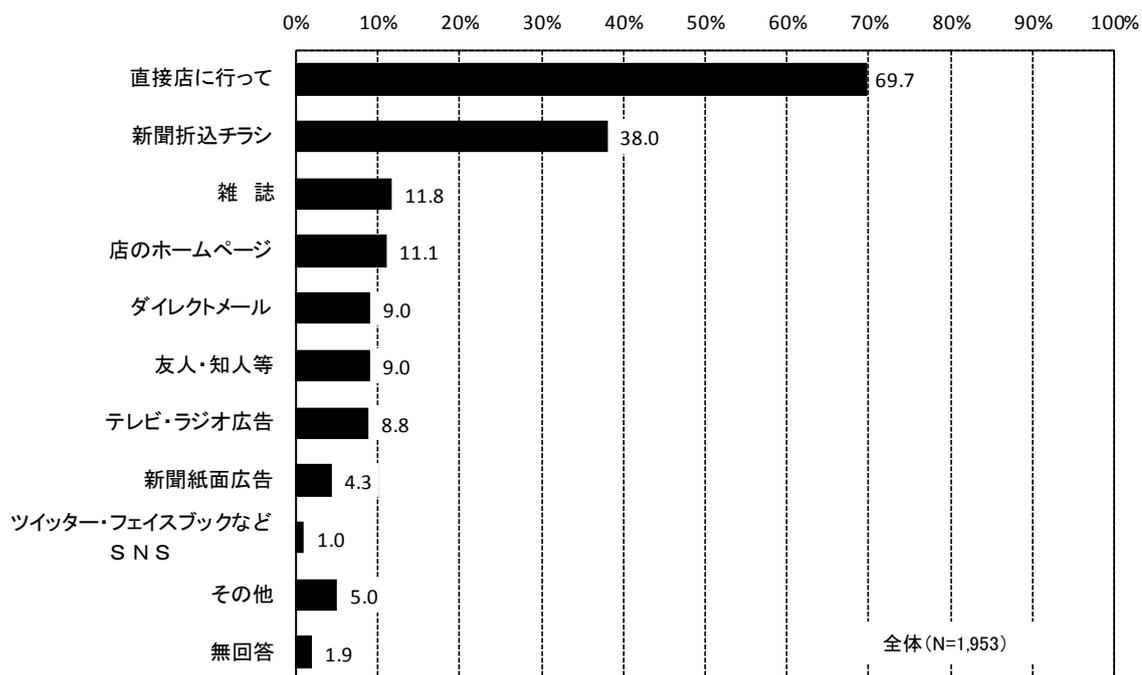
(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(2) 衣料品・身近雑貨

衣料品・身近雑貨を購入するとき、どこから情報を得ているかについては、「直接店に行つて」が69.7%と最も高く、次いで「新聞折込チラシ」で38.0%の順となる。その他の情報源については、いずれも10%前後と低い。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「直接店に行つて」が最も高い。特徴としては、40歳代、50歳代で「新聞折込チラシ」が4割強と高い。20歳代では、「雑誌」、「店のホームページ」が他の年代に比べて高く、情報収集に主体性がうかがえる。

(図Ⅲ-4-2) 衣料品・身近雑貨購入時の情報源(複数回答)



(表Ⅲ-4-2) 衣料品・身近雑貨購入時の情報源(複数回答)

(数値:%)

	標本数	直接店に行つて	新聞折込チラシ	雑誌	店のホームページ	ダイレクトメール	友人・知人等	テレビ・ラジオ広告	新聞紙面広告	ツイッター・フェイスブックなどSNS	その他	無回答	
全体	1,953	69.7	38.0	11.8	11.1	9.0	9.0	8.8	4.3	1.0	5.0	1.9	
年齢別	20歳代	170	59.4	14.1	33.5	25.9	10.0	8.2	15.9	1.2	5.3	2.4	0.6
	30歳代	376	69.1	33.5	15.2	19.1	10.9	9.0	1.6	0.8	3.2	1.1	
	40歳代	464	67.7	44.8	11.6	12.9	8.6	8.4	8.2	3.9	1.3	3.7	0.6
	50歳代	405	72.6	43.2	9.4	6.9	8.1	8.6	10.1	5.2	0.2	6.7	1.2
	60歳以上	529	73.3	39.1	4.3	2.5	8.5	9.8	5.5	6.8	0.0	7.2	4.3

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

職業別にみると、購入時に重視する点で「値段が安い」をやや多くあげていたパート・アルバイト、及び無職では、「新聞折込チラシ」が全体より多く、活用度がやや高い。
(農林水産業は、標本数が少ないため割愛)

(表Ⅲ-4-2)衣料品・身辺雑貨購入時の情報源(複数回答) ～続き～

(数値:%)

	標本数	直接店に行つて	新聞折込チラシ	雑誌	店のホームページ	ダイレクトメール	友人・知人等	テレビ・ラジオ広告	新聞紙面広告	ツイッタ等SNS	その他	無回答	
全 体	1,953	69.7	38.0	11.8	11.1	9.0	9.0	8.8	4.3	1.0	5.0	1.9	
職 業 別	会社員等	747	67.5	34.4	15.5	16.1	10.6	7.9	8.4	2.5	1.5	5.0	1.2
	パート・アルバイト	411	71.3	44.5	10.9	10.9	6.3	9.2	11.7	4.6	0.7	3.6	1.0
	自営業	422	69.9	37.0	8.3	5.2	9.0	10.9	7.3	5.5	1.2	6.4	3.3
	農林水産業	16	81.3	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	無職	206	73.8	45.1	6.8	4.9	9.2	8.3	5.3	7.8	0.0	3.9	1.5
	その他	98	70.4	33.7	14.3	11.2	9.2	12.2	11.2	3.1	0.0	10.2	2.0

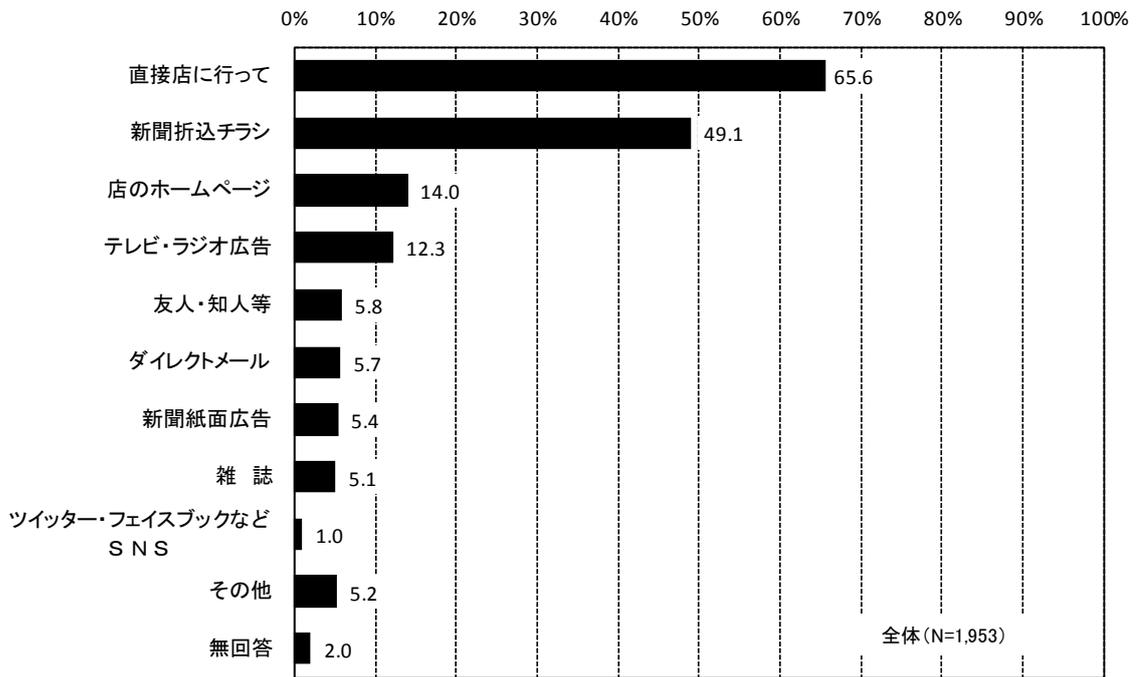
(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(3) 文化品

文化品を購入するとき、どこから情報を得ているかについては、「直接店に行って」が65.6%と最も高く、次いで「新聞折込チラシ」で49.1%の順となる。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「直接店に行って」が最も高い。特徴としては、40歳代、50歳代で「新聞折込チラシ」が5割強と高い。20歳代、30歳代では、「店のホームページ」が2割強と他の年代に比べて高く、ウェブサイトからの情報収集は、若い年代ほど高い傾向がみられる。

(図Ⅲ-4-3)文化品購入時の情報源(複数回答)



(表Ⅲ-4-3)文化品購入時の情報源(複数回答)

(数値: %)

	標本数	直接店に行つて	新聞折込チラシ	店のホームページ	テレビ・ラジオ広告	友人・知人等	ダイレクトメール	新聞紙面広告	雑誌	ツイッター・フェイスブックなどSNS	その他	無回答	
全体	1,953	65.6	49.1	14.0	12.3	5.8	5.7	5.4	5.1	1.0	5.2	2.0	
年齢別	20歳代	170	60.0	39.4	24.1	17.6	8.8	5.3	2.4	7.1	4.7	0.6	
	30歳代	376	66.0	48.7	24.2	11.2	5.9	3.2	2.4	6.6	3.2	1.1	
	40歳代	464	60.8	54.7	18.1	12.1	6.5	5.2	4.5	7.3	0.4	3.9	0.6
	50歳代	405	67.7	54.1	9.9	13.8	3.0	8.9	6.4	2.5	0.5	6.2	1.5
	60歳以上	529	69.8	43.7	3.4	10.2	6.2	5.7	8.3	3.2	0.0	7.4	4.9

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

職業別にみると、パート・アルバイトで「新聞折込チラシ」が、また無職では「直接店に行
って」が全体より高くなっている。

(農林水産業は、標本数が少ないため割愛)

(表Ⅲ-4-3)文化品購入時の情報源(複数回答) ～続き～

(数値:%)

	標 本 数	直 接 店 に 行 っ て	新 聞 折 込 チ ラ シ	店 の ホ ー ム ペ ー ジ	テ レ ビ ・ ラ ジ オ 広 告	友 人 ・ 知 人 等	ダ イ レ ク ト メ ー ル	新 聞 紙 面 広 告	雑 誌	ス ツ イ ツ ク タ ー ・ フ ェ イ ・ S N S	そ の 他	無 回 答	
全 体	1,953	65.6	49.1	14.0	12.3	5.8	5.7	5.4	5.1	1.0	5.2	2.0	
職 業 別	会社員等	747	62.8	49.0	18.6	12.4	6.2	6.0	3.5	6.4	1.5	5.2	1.2
	パート・アルバイト	411	68.9	55.5	12.7	14.8	4.1	5.8	4.6	2.9	0.7	4.4	1.2
	自営業	422	64.2	44.8	10.0	13.0	5.9	5.9	7.1	5.0	0.5	6.6	3.8
	農林水産業	16	62.5	50.0	0.0	18.8	12.5	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	206	72.8	47.1	8.7	6.3	5.8	6.3	7.8	5.3	0.0	4.4	2.4
	その他	98	67.3	51.0	13.3	11.2	11.2	3.1	9.2	2.0	2.0	7.1	1.0

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

5 買い物をする時間帯（問5）

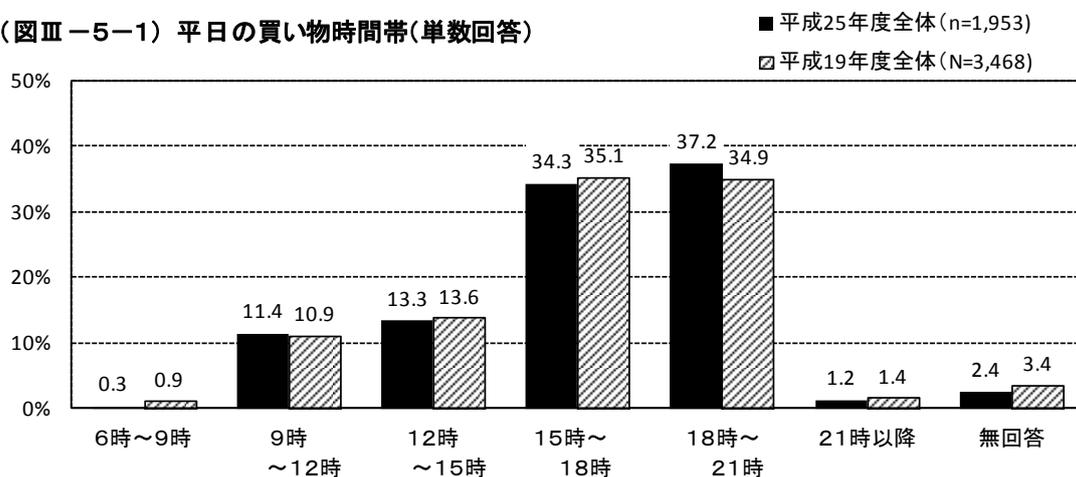
（1）平日

平日に買い物をする時間帯については、「18時～21時」が37.2%、「15時～18時」が34.3%とこの2つに偏っており、全体の7割強を占めている。平成19年度時点と変化はみられない。

次に、年齢別にみると、20歳代、30歳代は「18時～21時」が高く、特に20歳代では67.6%と他の年代を大きく上回っている。40歳代は「15時～18時」の43.1%が最も高い。60歳以上では「12時～15時」（24.0%）、「9時～12時」（19.8%）が他の年代に比べて高く、早い時間帯での買い物が特徴として見られる。

職業別にみると、「会社員等」は「18時～21時」が64.3%、「パート・アルバイト」は「15時～18時」が50.9%とそれぞれ最も高く、他の職業に比べて買い物時間帯が遅い傾向である。勤務終了後の買い物のためと思われる。

（図Ⅲ-5-1）平日の買い物時間帯（単数回答）



（表Ⅲ-5-1）平日の買い物時間帯（単数回答）

（数値：％）

	標本数	6時～9時	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時～21時	21時以降	無回答	
全体	1,953	0.3	11.4	13.3	34.3	37.2	1.2	2.4	
年齢別	20歳代	170	0.0	5.9	2.9	17.1	67.6	4.1	2.4
	30歳代	376	0.0	7.7	9.3	32.4	47.6	1.9	1.1
	40歳代	464	0.2	6.3	6.7	43.1	40.9	1.3	1.5
	50歳代	405	0.7	12.1	14.8	33.1	36.3	0.5	2.5
	60歳以上	529	0.2	19.8	24.0	33.8	18.0	0.2	4.0
職業別	会社員等	747	0.3	2.8	4.6	23.6	64.3	2.3	2.3
	パート・アルバイト	411	0.2	12.4	11.9	50.9	22.6	0.5	1.5
	自営業	422	0.5	15.2	20.6	38.2	21.3	0.5	3.8
	農林水産業	16	0.0	6.3	18.8	50.0	18.8	0.0	6.3
	無職	206	0.0	34.5	33.0	27.2	4.9	0.0	0.5
	その他	98	0.0	11.2	11.2	33.7	38.8	1.0	4.1

（注）**太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの（「無回答」は除く）。

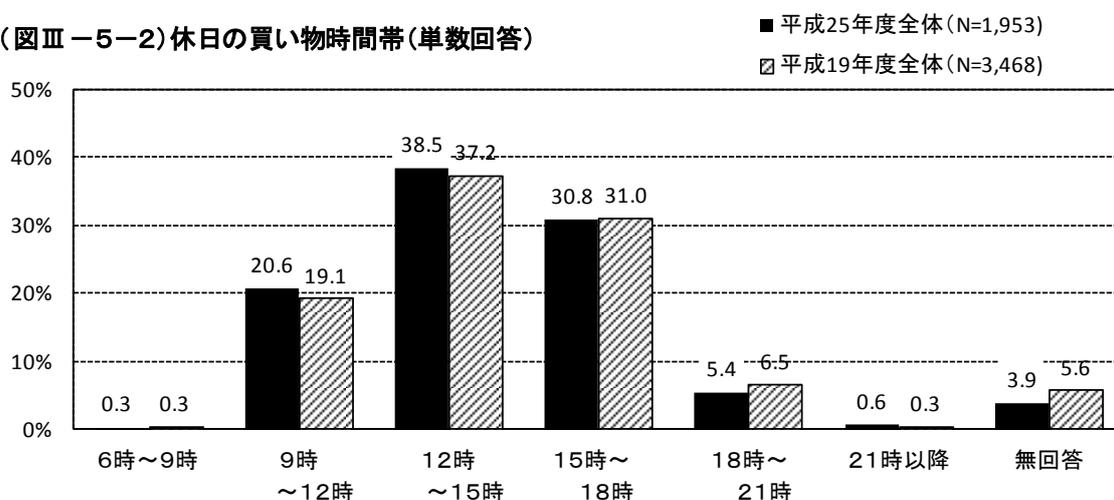
(2) 休日

休日買い物をしている時間帯については、「12時～15時」が38.5%、次いで「15時～18時」が30.8%、「9時～12時」が20.6%と続く。平日に比べて、時間帯が早まっている。平成19年度時点と変化は見られない。

次に、年齢別にみると、40歳代は「15時～18時」が36.6%で最も高くなっており、その他年代は「12時～15時」が最も高い。

職業別にみると、「パート・アルバイト」「無職」では「9時～12時」が他の年代に比べて高い特徴がみられる。

(図Ⅲ-5-2) 休日の買い物時間帯(単数回答)



(表Ⅲ-5-2) 休日の買い物時間帯(単数回答)

(数値: %)

	標本数	6時～9時	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時～21時	21時以降	無回答	
全体	1,953	0.3	20.6	38.5	30.8	5.4	0.6	3.9	
年齢別	20歳代	170	0.0	12.9	45.9	30.0	8.2	1.8	1.2
	30歳代	376	0.3	18.4	37.8	34.3	7.2	0.5	1.6
	40歳代	464	0.2	22.2	34.7	36.6	4.5	0.2	1.5
	50歳代	405	0.5	19.3	41.2	29.6	6.2	0.5	2.7
	60歳以上	529	0.2	24.2	38.2	24.6	3.4	0.6	8.9
職業別	会社員等	747	0.0	17.0	40.3	34.0	5.8	0.8	2.1
	パート・アルバイト	411	0.2	26.3	34.8	32.1	4.1	0.5	1.9
	自営業	422	0.9	18.2	37.7	28.4	7.6	0.5	6.6
	農林水産業	16	0.0	6.3	37.5	50.0	0.0	0.0	6.3
	無職	206	0.0	26.2	38.3	26.2	2.4	0.0	6.8
	その他	98	0.0	23.5	42.9	23.5	5.1	0.0	5.1

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

6 居住地の買い物利便性（問6）

（1）利便性評価

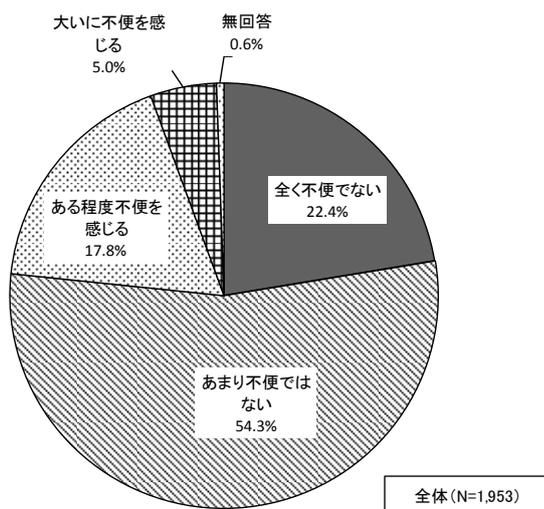
日常の買い物に対する利便性は、「不便でない 計（「全く不便でない」＋「あまり不便ではない」）」が76.7%に対し、「不便を感じる 計（「ある程度不便を感じる」＋「大いに不便を感じる」）」が22.8%で、概ね満足しているといえる。

次に、年齢別にみると、全年代とも「不便でない 計」が「不便を感じる 計」を大きく上回っている状況である。但し、20歳代では「不便を感じる 計」が33.5%と他の年代に比べて10%以上高くみられる。

職業別にみると、どの職業でも「不便でない 計」が「不便を感じる 計」を大きく上回っており、概ね満足といえる。特に、「無職」では「全く不便はない」が他の年代に比べてやや高く、満足感が強いといえる。

居住市町村別にみると、「大分市」「別府市」「臼杵市」「杵築市」では「不便でない 計」が80%を超える一方、「九重町」では「不便を感じる 計」が40.0%と地域による差がみられる。

（図Ⅲ－6－1）日常の買い物の利便性（単数回答）



（表Ⅲ－6－1）日常の買い物の利便性（単数回答）

	標本数	（数値：％）					不便計でない	不便計を感じる	
		い全く不便でない	はあまり不便でない	をある程度不便	感大いに不便	無回答			
全体	1,953	22.4	54.3	17.8	5.0	0.6	76.7	22.8	
年齢別	20歳代	170	12.9	53.5	29.4	4.1	0.0	66.4	33.5
	30歳代	376	20.5	59.0	17.0	3.2	0.3	79.5	20.2
	40歳代	464	22.2	55.4	16.6	5.4	0.4	77.6	22.0
	50歳代	405	23.2	55.1	18.5	3.2	0.0	78.3	21.7
	60歳以上	529	26.7	49.5	14.9	7.4	1.5	76.2	22.3
職業別	会社員等	747	19.7	57.8	17.7	4.1	0.7	77.5	21.8
	パート・アルバイト	411	21.9	55.5	18.0	4.1	0.5	77.4	22.1
	自営業	422	25.4	47.6	18.5	8.3	0.2	73.0	26.8
	農林水産業	16	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	87.5	12.5
	無職	206	28.6	51.5	16.0	2.9	1.0	80.1	18.9
	その他	98	22.4	55.1	17.3	5.1	0.0	77.5	22.4

（注）**太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの（「無回答」は除く）。

(表Ⅲ-6-1) 日常の買い物の利便性(単数回答)

		標本数	い全く不便でない	はあまり不便でない	を感じる程度不便	大いに不便を感じる	無回答	不便でない計	不便を感じる計
全 体		1,953	22.4	54.3	17.8	5.0	0.6	76.7	22.8
居 住 市 町 村 別	大分市	358	34.9	52.5	10.6	1.7	0.3	87.4	12.3
	別府市	205	19.5	62.4	15.1	2.0	1.0	81.9	17.1
	中津市	30	20.0	46.7	23.3	10.0	0.0	66.7	33.3
	日田市	162	19.8	54.3	21.6	4.3	0.0	74.1	25.9
	佐伯市	109	11.9	52.3	28.4	6.4	0.9	64.2	34.8
	臼杵市	63	15.9	66.7	14.3	3.2	0.0	82.6	17.5
	津久見市	95	8.4	62.1	25.3	4.2	0.0	70.5	29.5
	竹田市	70	7.1	62.9	25.7	4.3	0.0	70.0	30.0
	豊後高田市	95	25.3	52.6	20.0	2.1	0.0	77.9	22.1
	杵築市	51	15.7	66.7	9.8	5.9	2.0	82.4	15.7
	宇佐市	94	20.2	53.2	13.8	12.8	0.0	73.4	26.6
	豊後大野市	62	22.6	50.0	19.4	8.1	0.0	72.6	27.5
	由布市	101	35.6	43.6	14.9	4.0	2.0	79.2	18.9
	国東市	74	17.6	45.9	20.3	14.9	1.4	63.5	35.2
	姫島村	35	11.4	57.1	20.0	11.4	0.0	68.5	31.4
	玖珠町	65	24.6	43.1	29.2	3.1	0.0	67.7	32.3
日出町	46	26.1	50.0	23.9	0.0	0.0	76.1	23.9	
九重町	55	12.7	43.6	20.0	20.0	3.6	56.3	40.0	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

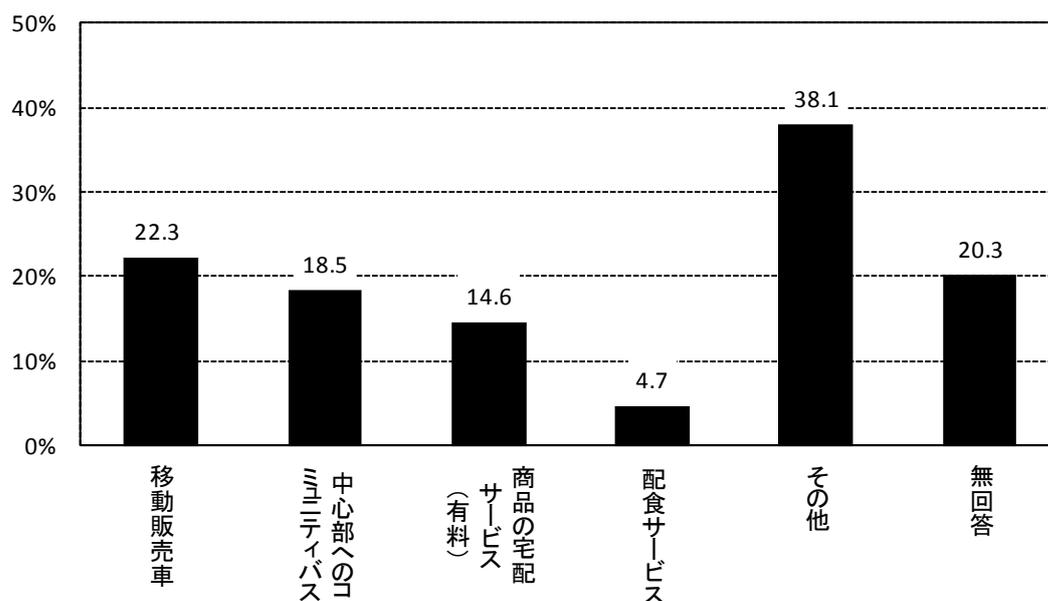
(2) 期待される不便さの解消策

不便さの解消策として期待が高いものは、「移動販売車」が22.3%で最も高い。次いで「中心部へのコミュニティバス」が18.5%、「商品の宅配サービス（有料）」が14.6%と続く。

次に、年齢別にみると、60歳以上では、「移動販売車」が36.4%、「中心部へのコミュニティバス」が26.3%で、他の年代に比べて高い。買い物場所が身近になるサービスへの期待がうかがえる。

(図Ⅲ-6-2) 不便さの解消策(複数回答)／不便を感じている人ベース

全体(N=444)



(表Ⅲ-6-2) 不便さの解消策(複数回答)／不便を感じている人ベース

(数値: %)

	標本数	移動販売車	中心部へのコミュニティバス	商品の宅配サービス(有料)	配食サービス	その他	無回答	
全体	444	22.3	18.5	14.6	4.7	38.1	20.3	
年齢別	20歳代	57	19.3	12.3	15.8	1.8	35.1	29.8
	30歳代	76	9.2	11.8	17.1	2.6	52.6	18.4
	40歳代	102	15.7	20.6	17.6	3.9	41.2	19.6
	50歳代	88	23.9	15.9	12.5	9.1	36.4	21.6
	60歳以上	118	36.4	26.3	11.0	5.1	29.7	15.3
職業別	会社員等	163	20.9	14.7	19.0	3.7	36.8	22.7
	パート・アルバイト	91	16.5	16.5	8.8	6.6	47.3	18.7
	自営業	113	26.5	18.6	12.4	1.8	35.4	23.0
	農林水産業	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	無職	39	33.3	30.8	12.8	2.6	33.3	15.4
	その他	22	22.7	31.8	18.2	9.1	40.9	4.5

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(表Ⅲ-6-2) 不便さの解消策(複数回答) / 不便を感じている人ベース

(数値:%)

	標本数	移動販売車	中心部へのコミュニティバス	商品の宅配サービス(有料)	配食サービス	その他	無回答	
全 体	444	22.3	18.5	14.6	4.7	38.1	20.3	
居 住 市 町 村 別	大分市	44	22.7	36.4	20.5	4.5	25.0	15.9
	別府市	35	31.4	22.9	8.6	0.0	34.3	17.1
	中津市	10	20.0	20.0	10.0	10.0	50.0	10.0
	日田市	42	19.0	21.4	4.8	4.8	40.5	23.8
	佐伯市	38	13.2	15.8	2.6	5.3	63.2	15.8
	臼杵市	11	18.2	0.0	36.4	9.1	27.3	18.2
	津久見市	28	10.7	21.4	7.1	3.6	42.9	25.0
	竹田市	21	23.8	9.5	0.0	9.5	52.4	14.3
	豊後高田市	21	33.3	23.8	23.8	4.8	38.1	19.0
	杵築市	8	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	37.5
	宇佐市	25	16.0	16.0	28.0	4.0	56.0	4.0
	豊後大野市	17	41.2	5.9	23.5	0.0	23.5	17.6
	由布市	19	15.8	10.5	21.1	10.5	31.6	26.3
	国東市	26	26.9	15.4	19.2	0.0	34.6	26.9
	姫島村	11	27.3	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1
	玖珠町	21	19.0	19.0	19.0	0.0	33.3	23.8
日出町	11	18.2	9.1	9.1	18.2	45.5	27.3	
九重町	22	40.9	13.6	18.2	0.0	22.7	27.3	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

7 中心市街地の商業施設・商店街の利用状況（問7）

（1）中心部の商店街の買い物利用頻度

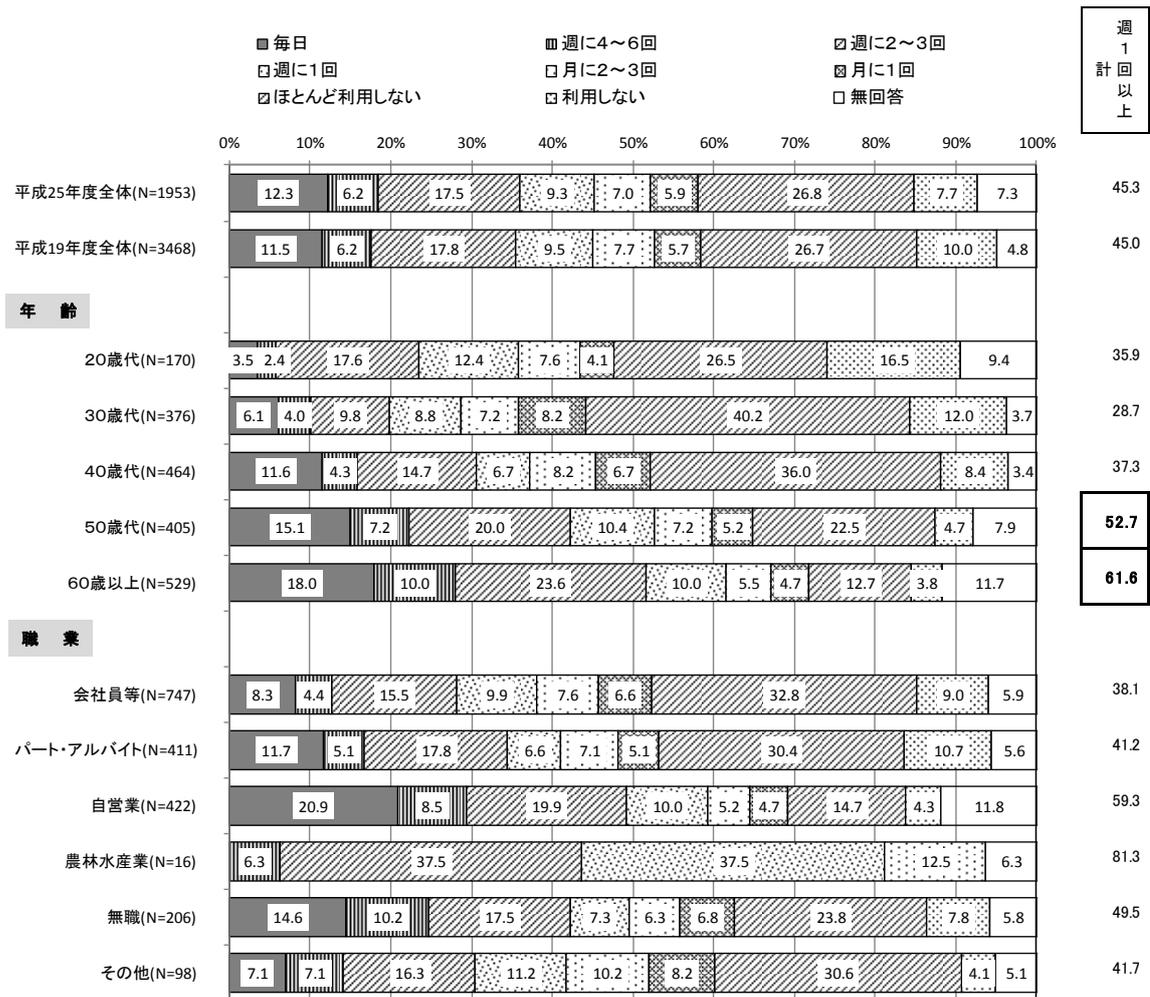
中心部の商店街をどの程度買い物に利用しているかについては、「ほとんど利用しない」が26.8%と最も高く、次いで「週に2～3回」が17.5%、「毎日」が12.3%の順に高くなっており、『週に1回以上』の比較的利用頻度が高い層は、45.3%である。平成19年度時点と変化はない。

次に年齢別にみると、週1回以上の利用層が60歳以上で61.6%、50歳代で52.7%と、年代が上がるに連れ、利用頻度も高くなる傾向がみられる。但し、30歳代は「ほとんど利用しない」、「利用しない」の合計が52.2%と半数を占め、他の年代に比べて利用頻度が低い。

職業別にみると、自営業では週1回以上の利用が59.3%と高く、商店街の利用頻度が高いことがわかる。

居住市町村別にみると、『週1回以上』の利用が、豊後大野市で77.4%、姫島村で71.4%と7割を超える一方で、大分市が24.1%、別府市が24.5%と低く、地域により大きな差がみられる。

（図Ⅲ-7-1） 居住市町村内の中心商店街へ行く頻度（単数回答）



（注）**太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの。

(表Ⅲ-7-1) 居住市町村内の中心商店街へ行く頻度 (単数回答)

(数値: %)

	標本数	毎日	週に4〜6回	週に2〜3回	週に1回	月に2〜3回	月に1回	ほとんど利用しない	利用しない	無回答	週に1回以上計	
全 体	1,953	12.3	6.2	17.5	9.3	7.0	5.9	26.8	7.7	7.3	45.3	
居 住 市 町 村 別	大分市	358	6.7	2.0	8.1	7.3	12.0	12.8	39.1	7.3	4.7	24.1
	別府市	205	3.4	2.0	9.8	9.3	8.8	4.9	36.1	20.0	5.9	24.5
	中津市	30	13.3	0.0	16.7	6.7	3.3	0.0	40.0	13.3	6.7	36.7
	日田市	162	10.5	4.9	15.4	9.9	8.0	5.6	33.3	8.0	4.3	40.7
	佐伯市	109	9.2	2.8	17.4	13.8	6.4	3.7	24.8	13.8	8.3	43.2
	臼杵市	63	25.4	6.3	11.1	12.7	0.0	3.2	22.2	11.1	7.9	55.5
	津久見市	95	7.4	6.3	18.9	6.3	5.3	7.4	36.8	7.4	4.2	38.9
	竹田市	70	10.0	12.9	25.7	17.1	7.1	4.3	14.3	0.0	8.6	65.7
	豊後高田市	95	13.7	4.2	21.1	9.5	6.3	7.4	26.3	3.2	8.4	48.5
	杵築市	51	19.6	9.8	17.6	7.8	5.9	0.0	25.5	9.8	3.9	54.8
	宇佐市	94	13.8	11.7	19.1	8.5	6.4	2.1	23.4	9.6	5.3	53.1
	豊後大野市	62	27.4	11.3	30.6	8.1	1.6	1.6	8.1	0.0	11.3	77.4
	由布市	101	10.9	11.9	34.7	9.9	5.9	1.0	10.9	4.0	10.9	67.4
	国東市	74	20.3	9.5	25.7	12.2	4.1	1.4	10.8	2.7	13.5	67.7
	姫島村	35	25.7	14.3	20.0	11.4	8.6	2.9	2.9	0.0	14.3	71.4
	玖珠町	65	9.2	10.8	33.8	6.2	4.6	4.6	23.1	1.5	6.2	60.0
日出町	46	30.4	4.3	13.0	2.2	6.5	0.0	23.9	8.7	10.9	49.9	
九重町	55	10.9	12.7	23.6	16.4	5.5	5.5	7.3	5.5	12.7	63.6	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(2) 中心部の商店街へ行く目的

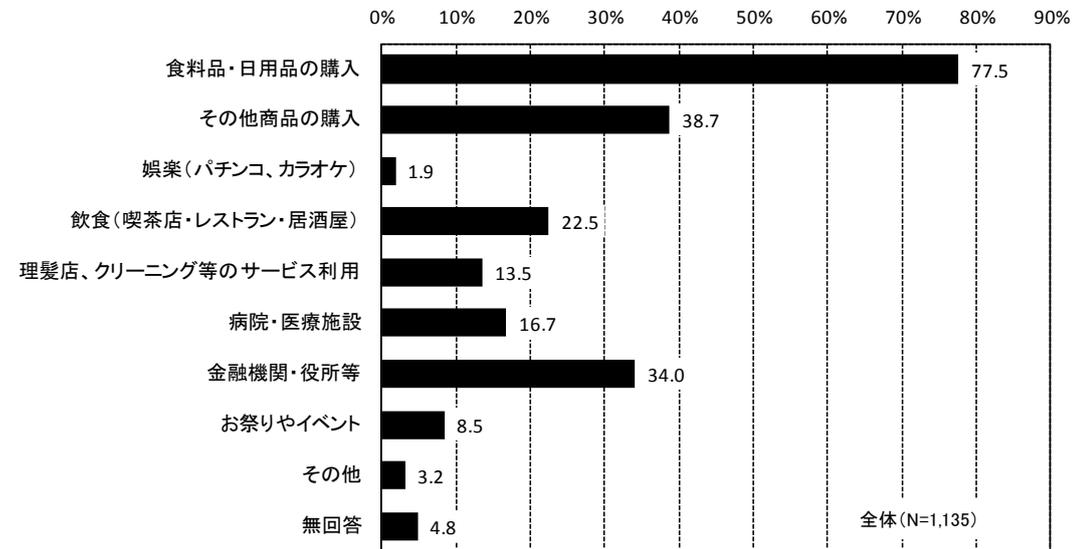
中心部の商店街へ行く目的については、「食料品・日用品の購入」が77.5%と最も高く、日常的な買い物が主目的である。次いで「その他商品の購入」が38.7%、「金融機関・役所等」が34.0%、「飲食」が22.5%と続く。

次に、年齢別にみると、全年代とも「食料品・日用品の購入」が最も高く、特に60歳以上の86.6%を最高に、年代が上がるほど、買い物利用が多くなる。一方、20歳代では「飲食」が51.9%で、他の年代に比べて突出して高い。

職業別にみると、自営業では「金融機関・役所等」の利用目的が44.9%と高く、これが利用頻度を上げている一因と考えられる。

居住市町村別にみると、全地域とも購入目的が高いものの、大分市、別府市では「飲食」が他の地域に比べて高い特徴がある。また、豊後高田市、宇佐市、豊後大野市、九重町等では、「金融機関・役所等」や「病院・医療施設」といった、幅広い生活の場となっている様子が見える。

(図Ⅲ-7-2) 居住市町村内の中心商店街へ行く目的/商店街を利用する人ベース (複数回答)



(表Ⅲ-7-2) 居住市町村内の中心商店街へ行く目的/商店街を利用する人ベース (複数回答)

	標本数	(数値: %)										
		購食 入料 品・ 日 用品 の 購 入	そ の 他 商 品 の 購 入	カ ラ オ ケ (パ チ ン コ)	娯 楽 (パ チ ン コ)	屋 ス ト ラ ン ・ 居 酒 ・ レ	飲 食 (喫 茶 店 ・ 居 酒 ・ レ	理 髪 店 ・ ク リ ー ン グ 等 の サ ー ビ ス ニ	病 院 ・ 医 療 施 設	金 融 機 関 ・ 役 所 等	お 祭 り や イ ベ ン ト	そ の 他
全 体	1,135	77.5	38.7	1.9	22.5	13.5	16.7	34.0	8.5	3.2	4.8	
年 齢 別	20歳代	81	60.5	34.6	4.9	51.9	8.6	11.1	29.6	12.3	8.6	1.2
	30歳代	166	67.5	31.9	2.4	25.9	9.0	11.4	24.7	9.6	4.2	6.6
	40歳代	242	73.6	36.4	0.4	25.6	12.8	12.8	31.4	9.9	4.1	4.5
	50歳代	263	79.8	41.8	1.5	21.7	15.6	14.4	36.5	8.4	2.7	4.6
	60歳以上	380	86.6	42.1	2.1	13.4	15.0	24.5	38.9	6.3	1.3	5.0
職 業 別	会社員等	391	70.3	38.4	2.3	30.7	13.3	10.0	27.4	6.4	4.9	4.6
	パート・アルバイト	219	80.4	38.8	1.8	23.3	10.0	14.6	33.3	14.2	2.3	3.2
	自営業	292	84.6	36.0	2.1	16.4	16.8	24.0	44.9	6.8	1.4	5.8
	農林水産業	15	73.3	40.0	0.0	13.3	13.3	53.3	33.3	0.0	6.7	6.7
	無職	129	77.5	40.3	0.8	10.1	13.2	18.6	31.0	9.3	2.3	5.4
	その他	59	76.3	49.2	1.7	27.1	10.2	20.3	32.2	8.5	6.8	5.1

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(表Ⅲ-7-2) 居住市町村内の中心商店街へ行く目的／商店街を利用する人ベース(複数回答)
(数値:%)

	標本数	食料品・日用品の購入	その他商品の購入	娯楽(パチンコ、カラオケ)	飲食(喫茶店・レストラン・居酒屋)	理髪店、クリーニング等のサービス利用	病院・医療施設	金融機関・役所等	お祭りやイベント	その他	無回答	
全体	1,135	77.5	38.7	1.9	22.5	13.5	16.7	34.0	8.5	3.2	4.8	
居住市町村別	大分市	175	55.4	50.9	1.1	38.3	13.7	12.6	24.6	11.4	6.9	5.7
	別府市	78	64.1	39.7	7.7	44.9	7.7	14.1	20.5	16.7	3.8	5.1
	中津市	12	83.3	50.0	0.0	25.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	16.7
	日田市	88	73.9	40.9	1.1	21.6	10.2	13.6	35.2	14.8	1.1	8.0
	佐伯市	58	75.9	56.9	1.7	17.2	13.8	17.2	27.6	5.2	6.9	1.7
	臼杵市	37	81.1	21.6	2.7	8.1	10.8	13.5	29.7	5.4	5.4	8.1
	津久見市	49	71.4	30.6	0.0	24.5	16.3	12.2	44.9	4.1	4.1	2.0
	竹田市	54	79.6	25.9	0.0	16.7	9.3	9.3	46.3	1.9	1.9	3.7
	豊後高田市	59	86.4	25.4	1.7	10.2	13.6	23.7	47.5	13.6	3.4	3.4
	杵築市	31	90.3	32.3	3.2	12.9	19.4	35.5	32.3	3.2	0.0	6.5
	宇佐市	58	84.5	51.7	0.0	19.0	17.2	27.6	44.8	13.8	1.7	5.2
	豊後大野市	50	94.0	44.0	2.0	14.0	16.0	28.0	52.0	2.0	0.0	4.0
	由布市	75	92.0	18.7	0.0	16.0	8.0	6.7	28.0	4.0	1.3	1.3
	国東市	54	85.2	40.7	3.7	13.0	16.7	16.7	40.7	7.4	1.9	3.7
	姫島村	29	93.1	10.3	3.4	10.3	3.4	17.2	24.1	3.4	0.0	6.9
玖珠町	45	82.2	33.3	0.0	22.2	28.9	15.6	42.2	11.1	0.0	4.4	
日出町	26	92.3	42.3	3.8	15.4	19.2	19.2	46.2	15.4	3.8	3.8	
九重町	41	92.7	34.1	2.4	9.8	14.6	31.7	46.3	4.9	2.4	2.4	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

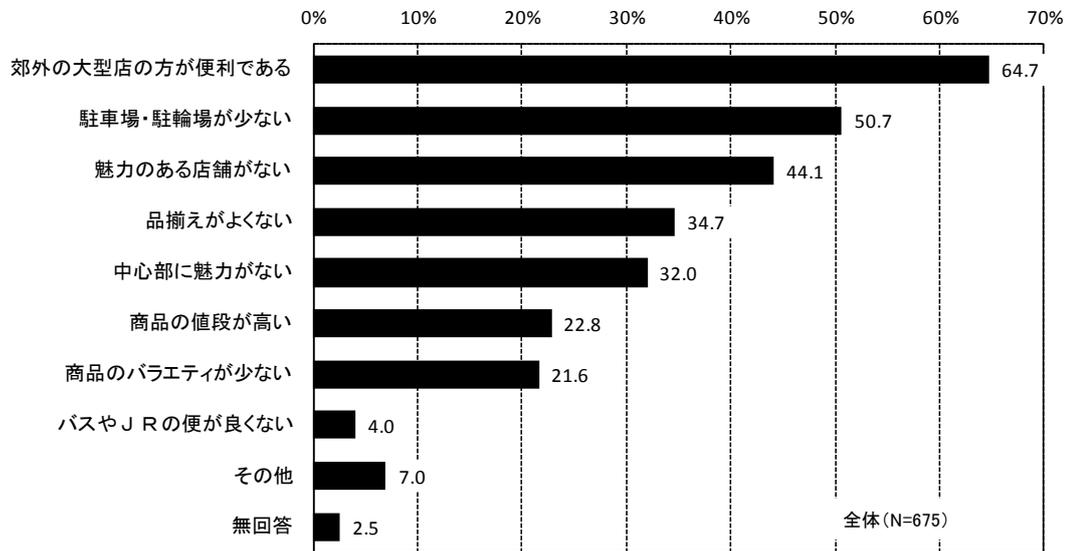
(3) 中心部の商店街へ行かない理由

中心部の商店街へ行かない理由については、「郊外の大型店の方が便利である」が64.7%と最も高く、次いで、「駐車場・駐輪場が少ない」が50.7%、「魅力ある店舗がない」が44.1%、「品揃えがよくない」が34.7%と続く。大型店に比べて、商店街が弱い要素といえる。

年齢別にみると、20歳代は「魅力ある店舗がない」「品揃えがよくない」、30歳代、40歳代は「駐車場・駐輪場が少ない」、50歳代、60歳以上は「中心部に魅力がない」が他の年代に比べて高い特徴を示す。

居住市町村別にみると、大分市、津久見市では、「郊外の大型店の方が便利である」が高い。また、日田市、佐伯市、津久見市、宇佐市では、「魅力ある店舗がない」「品揃えがよくない」等、取扱い商品に魅力が乏しいことを理由に挙げている。

(図Ⅲ-7-3) 居住市町村内の中心商店街へ行かない理由／商店街を利用しない人ベース(複数回答)



(表Ⅲ-7-3) 居住市町村内の中心商店街へ行かない理由／商店街を利用しない人ベース(複数回答)

	標本数	(数値:%)										
		が郊外の大型店の方	少ない駐車場・駐輪場が	ない魅力のある店舗が	品揃えがよくない	い中心部に魅力がない	商品の値段が高い	が商品のバラエティ	良くないJRの便が	その他	無回答	
全体	675	64.7	50.7	44.1	34.7	32.0	22.8	21.6	4.0	7.0	2.5	
年齢別	20歳代	73	57.5	45.2	54.8	41.1	30.1	19.2	26.0	4.1	6.8	2.7
	30歳代	196	66.8	56.1	42.3	35.7	29.1	22.4	21.9	4.1	8.2	2.0
	40歳代	206	68.4	55.8	45.6	33.5	28.6	27.2	21.8	2.9	5.8	1.5
	50歳代	110	61.8	47.3	43.6	36.4	40.9	20.0	20.0	2.7	7.3	3.6
	60歳以上	87	62.1	36.8	36.8	28.7	37.9	19.5	18.4	6.9	6.9	4.6
職業別	会社員等	312	65.1	55.1	46.8	38.1	29.8	22.4	23.4	3.8	6.4	1.9
	パート・アルバイト	169	62.1	51.5	45.6	30.8	29.0	26.0	16.0	2.4	7.7	3.0
	自営業	80	60.0	38.8	42.5	37.5	46.3	15.0	27.5	3.8	5.0	5.0
	農林水産業	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無職	65	75.4	49.2	35.4	24.6	35.4	32.3	16.9	9.2	6.2	1.5
	その他	34	70.6	44.1	38.2	44.1	29.4	14.7	29.4	2.9	8.8	0.0

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(表Ⅲ-7-3)居住市町村内の中心商店街へ行かない理由／商店街を利用しない人ベース(複数回答)

(数値:%)

	標本数	郊外の大型店の方が便利である	駐車場・駐輪場が少ない	魅力のある店舗がない	品揃えがよくない	中心部に魅力がない	商品の値段が高い	商品のバラエティが少ない	バスやJRの便が良くない	その他	無回答	
全体	675	64.7	50.7	44.1	34.7	32.0	22.8	21.6	7.0	4.0	2.5	
居住市町村別	大分市	166	70.5	68.1	28.9	11.4	25.9	16.3	6.0	9.0	8.4	3.0
	別府市	115	62.6	49.6	47.8	34.8	34.8	9.6	23.5	5.2	6.1	0.9
	中津市	16	56.3	75.0	25.0	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	日田市	67	56.7	50.7	61.2	46.3	44.8	32.8	23.9	4.5	1.5	4.5
	佐伯市	42	66.7	33.3	66.7	47.6	42.9	26.2	42.9	7.1	2.4	0.0
	臼杵市	21	71.4	28.6	38.1	28.6	33.3	19.0	19.0	14.3	0.0	0.0
	津久見市	42	81.0	33.3	57.1	66.7	45.2	42.9	33.3	4.8	0.0	0.0
	竹田市	10	70.0	50.0	40.0	50.0	40.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	豊後高田市	28	60.7	53.6	25.0	28.6	21.4	32.1	17.9	3.6	3.6	3.6
	杵築市	18	44.4	27.8	50.0	44.4	22.2	38.9	16.7	16.7	0.0	5.6
	宇佐市	31	67.7	51.6	58.1	48.4	32.3	25.8	35.5	9.7	3.2	0.0
	豊後大野市	5	60.0	40.0	20.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	由布市	15	73.3	33.3	20.0	53.3	20.0	20.0	13.3	6.7	0.0	0.0
	国東市	10	80.0	40.0	80.0	80.0	60.0	40.0	50.0	0.0	0.0	10.0
	姫島村	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玖珠町	16	37.5	31.3	50.0	37.5	25.0	31.3	25.0	0.0	0.0	12.5
日出町	15	60.0	46.7	60.0	40.0	33.3	20.0	40.0	13.3	0.0	6.7	
九重町	7	28.6	28.6	57.1	71.4	28.6	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

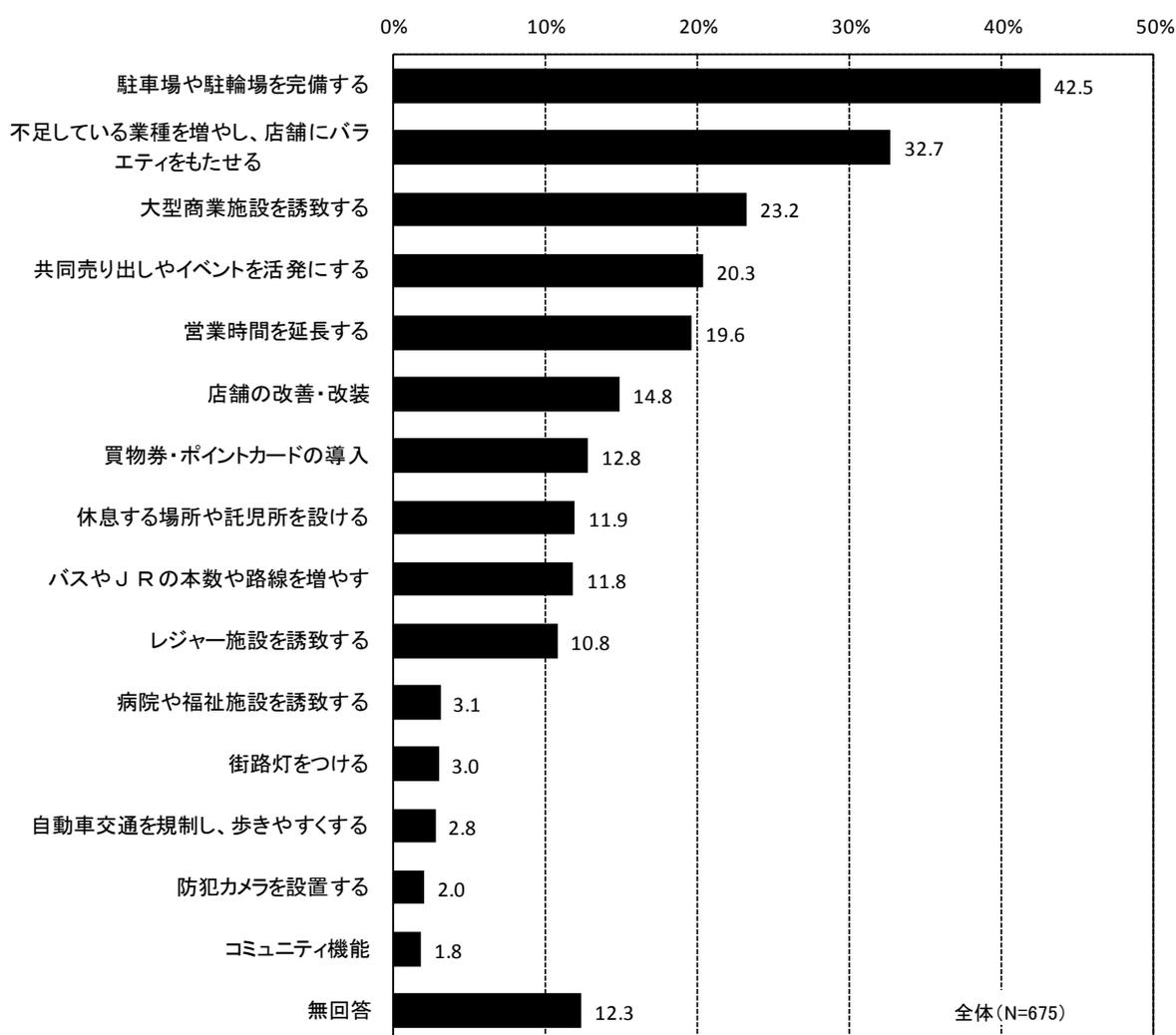
(4) 中心部の商店街への要望

中心部の商店街を、もっと便利で買い物がしやすくするために取り組んで欲しいこととしては、「駐車場や駐輪場を完備する」が42.5%と最も高く、次いで、「不足している業種を増やし、店舗にバラエティをもたせる」が32.7%、「大型商業施設を誘致する」が23.2%の順に高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代とも「駐車場や駐輪場を完備する」が最も高くなっている。また、40歳代以下で「大型商業施設を誘致する」が高いのが特徴としてみられる。20歳代では、「営業時間を延長する」が34.7%で、他の年代に比べて10%以上高い。

居住市町村別にみると、大分市では「駐車場や駐輪場を完備する」が70.9%と突出して高い。その他では、津久見市が「不足している業種を増やし、店舗にバラエティをもたせる」、日田市が「大型商業施設を誘致する」で、全体よりも20%程度高い。

(図Ⅲ-7-4) 居住市町村内の中心商店街への希望施策(複数回答)



(表Ⅲ-7-4) 居住市町村内の中心商店街への希望施策(複数回答)

(数値・%)

	標本数	駐車場や駐輪場を完備する	不足している業種を増やし、店舗にバラエティをもたせる	大型商業施設を誘致する	共同売り出しやイベントを活発にする	営業時間を延長する	店舗の改善・改装	買物券・ポイントカードの導入	休息する場所や託児所を設ける	バスやJRの本数や路線を増やす	レジャー施設を誘致する	病院や福祉施設を誘致する	街路灯をつける	自動車を規制し、歩きやすくする	防犯カメラを設置する	コミュニケーション機能	無回答	
全体	1,953	42.5	32.7	23.2	20.3	19.6	14.8	12.8	11.9	11.8	10.8	3.1	3.0	2.8	2.0	1.8	12.3	
年代別	20歳代	170	43.5	35.9	30.0	18.8	34.7	24.1	12.4	13.5	15.9	13.5	0.6	4.1	1.8	2.9	1.2	4.1
	30歳代	376	47.1	39.1	27.9	17.3	19.1	18.6	11.2	14.4	8.5	15.7	4.0	1.9	2.7	1.6	1.6	5.1
	40歳代	464	48.1	37.7	29.1	20.0	20.3	14.2	12.1	8.8	12.9	9.7	2.4	1.1	2.2	0.9	2.8	8.2
	50歳代	405	43.5	31.1	21.0	24.4	21.2	16.5	13.1	11.9	10.6	10.1	3.0	2.7	2.7	2.5	2.2	13.1
	60歳以上	529	33.3	24.2	14.6	20.0	13.2	8.7	14.4	12.5	12.5	7.9	4.0	5.3	3.8	2.6	0.9	23.1
職業別	会社員等	747	47.5	34.4	26.9	17.9	26.1	17.4	11.5	10.7	11.2	11.0	2.8	2.0	2.4	1.7	1.9	8.3
	パート・アルバイト	411	43.6	37.0	24.3	24.1	16.3	15.6	14.4	11.4	10.9	11.2	0.7	1.5	2.7	1.9	1.7	11.7
	自営業	422	32.9	27.3	16.1	21.8	14.5	12.3	11.6	12.1	10.7	10.7	5.2	5.7	3.6	2.6	2.6	19.7
	農林水産業	16	43.8	25.0	25.0	12.5	6.3	12.5	12.5	31.3	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	無職	206	41.3	26.2	21.8	19.4	12.1	10.2	17.0	15.5	15.0	8.7	2.9	3.4	3.4	1.5	0.5	13.1
その他	98	40.8	42.9	24.5	19.4	21.4	14.3	11.2	15.3	16.3	12.2	5.1	3.1	2.0	4.1	2.0	12.2	
居住市町村別	大分市	358	70.9	26.3	23.5	14.0	21.2	12.8	9.2	11.5	23.2	10.9	2.0	0.6	3.1	1.7	2.2	7.3
	別府市	205	47.8	26.3	16.1	23.9	17.1	23.9	15.6	15.6	9.8	13.7	1.5	4.4	4.4	1.5	2.9	9.8
	中津市	30	46.7	43.3	10.0	26.7	16.7	20.0	26.7	6.7	6.7	3.3	10.0	3.3	13.3	0.0	3.3	6.7
	日田市	162	44.4	24.7	42.0	17.9	17.9	16.7	11.1	10.5	3.1	12.3	3.7	3.7	3.1	1.9	0.6	12.3
	佐伯市	109	25.7	38.5	28.4	18.3	21.1	22.0	11.0	7.3	12.8	10.1	2.8	1.8	0.9	1.8	0.9	14.7
	臼杵市	63	39.7	41.3	30.2	27.0	12.7	12.7	15.9	9.5	11.1	7.9	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	15.9
	津久見市	95	25.3	53.7	31.6	30.5	28.4	16.8	8.4	9.5	9.5	12.6	4.2	1.1	1.1	2.1	2.1	7.4
	竹田市	70	41.4	40.0	22.9	12.9	25.7	21.4	8.6	10.0	8.6	5.7	2.9	1.4	0.0	1.4	4.3	12.9
	豊後高田市	95	34.7	35.8	28.4	14.7	22.1	15.8	10.5	7.4	9.5	12.6	7.4	2.1	9.5	3.2	3.2	13.7
	杵築市	51	25.5	19.6	11.8	23.5	9.8	5.9	29.4	11.8	9.8	13.7	5.9	2.0	0.0	0.0	0.0	19.6
	宇佐市	94	31.9	30.9	33.0	21.3	17.0	10.6	20.2	11.7	8.5	19.1	1.1	5.3	3.2	2.1	3.2	7.4
	豊後大野市	62	21.0	40.3	21.0	25.8	22.6	14.5	12.9	19.4	6.5	6.5	6.5	6.5	0.0	0.0	3.2	17.7
	由布市	101	39.6	26.7	5.9	13.9	17.8	9.9	8.9	19.8	10.9	5.0	1.0	5.9	0.0	6.9	4.0	12.9
	国東市	74	17.6	43.2	21.6	27.0	5.4	9.5	14.9	12.2	2.7	13.5	4.1	5.4	0.0	1.4	0.0	24.3
	姫島村	35	37.1	28.6	14.3	22.9	14.3	0.0	17.1	8.6	8.6	11.4	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	20.0
	玖珠町	65	41.5	50.8	18.5	18.5	18.5	20.0	15.4	4.6	12.3	4.6	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	9.2
	日出町	46	41.3	41.3	15.2	37.0	15.2	8.7	15.2	19.6	6.5	23.9	2.2	8.7	4.3	4.3	0.0	10.9
九重町	55	7.3	40.0	14.5	34.5	27.3	14.5	14.5	18.2	20.0	5.5	10.9	5.5	0.0	3.6	0.0	16.4	

(注) 太字 は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

8 通販・インターネットショッピング等の利用状況（問8）

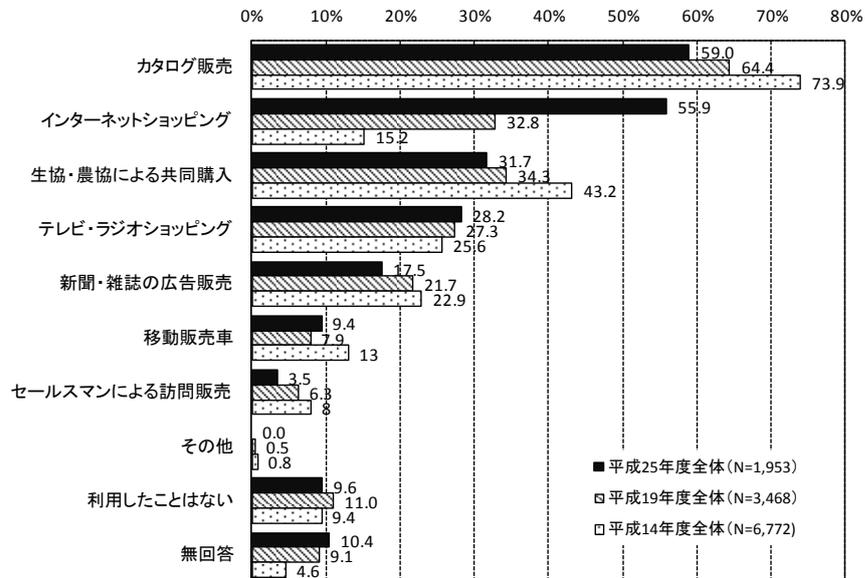
（1）利用経験のある無店舗販売の種類

「カタログ販売」が平成14年度から最も高い販売形態であるが、低下傾向が続いている。一方、「インターネットショッピング」が飛躍的に伸びており、平成25年度は55.9%で、平成14年度に比べて3倍以上高くなった。

次に、年齢別にみると、20歳代、30歳代では、「インターネットショッピング」が「カタログ販売」を抜き、最も利用が多い。40歳代では、「カタログ販売」と「インターネットショッピング」が拮抗している。その他、40歳代、50歳代では「生協・農協による共同購入」、さらに50歳代では「テレビ・ラジオショッピング」、「新聞・雑誌の広告販売」の利用が比較的高くなっている。

職業別にみると、「会社員等」は「インターネットショッピング」が72.4%で、その他の職業に比べ突出して高いことがわかる。

（図Ⅲ-8-1）利用経験のある無店舗販売の種類（複数回答）



（表Ⅲ-8-1）利用経験のある無店舗販売の種類（複数回答）

（数値：％）

	標本数	カタログ販売	インターネットショッピング	生協・農協による共同購入	テレビ・ラジオショッピング	新聞・雑誌の広告販売	移動販売車	セールスマンによる訪問販売	その他	利用したことはない	無回答	
全体	1,953	59.0	55.9	31.7	28.2	17.5	9.4	3.5	0.0	9.6	10.4	
年齢別	20歳代	170	52.4	85.9	14.1	12.9	6.5	6.5	0.6	0.0	5.9	4.7
	30歳代	376	67.3	84.8	33.5	18.9	12.2	9.3	1.9	0.0	3.7	2.7
	40歳代	464	72.2	71.1	44.6	30.0	18.8	12.5	4.1	0.0	6.3	2.8
	50歳代	405	63.0	45.2	39.0	38.8	26.9	11.9	5.2	0.0	9.4	11.9
	60歳以上	529	40.8	21.2	19.5	30.2	16.6	6.0	3.8	0.0	18.0	23.3
職業別	会社員等	747	62.1	72.4	31.2	26.4	14.7	7.2	2.9	0.0	6.4	5.8
	パート・アルバイト	411	64.2	55.7	42.1	28.0	17.3	12.7	2.7	0.0	7.1	9.5
	自営業	422	52.4	40.3	21.3	32.9	22.3	10.2	5.2	0.0	11.1	17.1
	農林水産業	16	31.3	12.5	25.0	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	37.5	18.8
	無職	206	46.6	37.9	30.1	22.8	15.0	8.7	2.4	0.0	18.4	16.0
その他	98	73.5	52.0	42.9	29.6	22.4	13.3	6.1	0.0	10.2	7.1	

（注）**太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの（「無回答」は除く）。

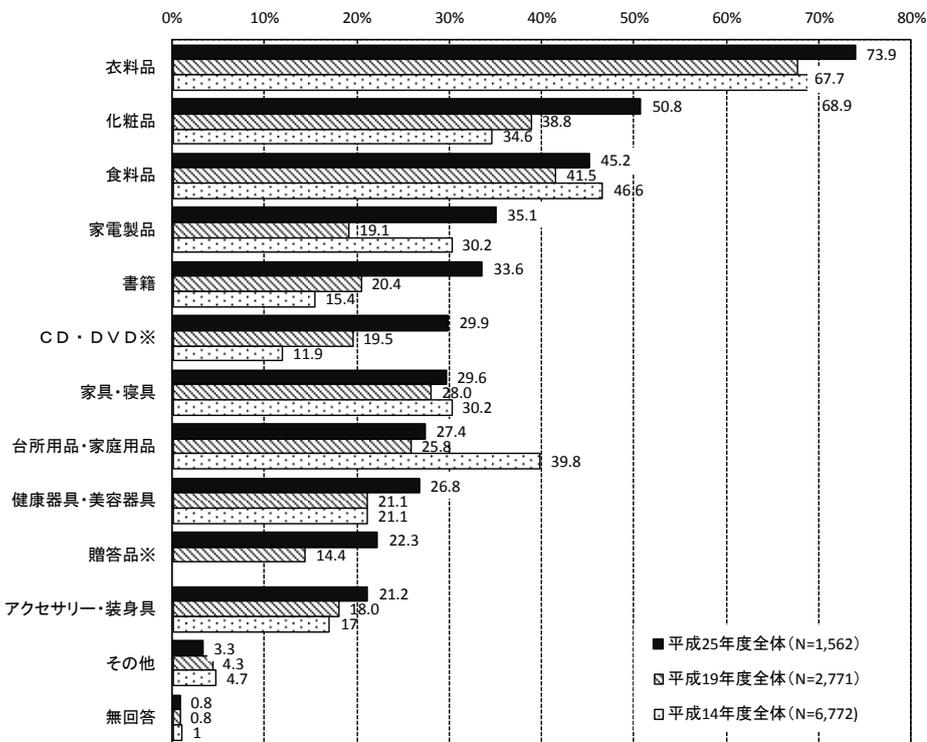
(2) 無店舗販売での購入商品

無店舗販売での購入商品については、「衣料品」が73.9%と最も多く、次いで「化粧品」が50.8%、「食料品」が45.2%、「家電製品」が35.1%、「書籍」が33.6%の順に高くなっている。「化粧品」、「書籍」については、過去数年継続して上昇傾向にある。

次に、年齢別にみると、いずれの年代も「衣料品」が最も高くなっている。特に、20歳代、30歳代では、「衣料品」及び「アクセサリ・装身具」といったファッション系商品の購入が他の年代に比べて高い。その他、40歳代以下では「書籍」「CD・DVD」のソフト系商品の購入が高くなる。

職業別にみると、「会社員等」は「化粧品」「アクセサリ・装身具」のファッション系商品や「書籍」「CD・DVD」のソフト系商品の購入が高い。

(図Ⅲ-8-2) 無店舗販売での購入商品／無店舗販売利用経験者ベース(複数回答)



※平成19年度調査から「CD・テープ等」を「CD・DVD」に変更
※「贈答品」は平成19年度調査から追加。

(表Ⅲ-8-2) 無店舗販売での購入商品／無店舗販売利用経験者ベース(複数回答)

(数値:%)

	標本数	衣料品	化粧品	食料品	家電製品	書籍	C D ・ D V D	家具・ 寝具	庭 台 所 用 品 ・ 家	容 器 健 康 器 具 ・ 美	贈 答 品	リ ア ク ・ セ サ リ ・ 装 身 具	そ の 他	無 回 答	
全 体	1,562	73.9	50.8	45.2	35.1	33.6	29.9	29.6	27.4	26.8	22.3	21.2	3.3	0.8	
年 齢 別	20歳代	152	78.9	51.3	34.2	25.0	42.1	48.7	29.6	18.4	19.1	39.5	0.7	0.0	
	30歳代	352	82.4	53.7	42.9	34.7	42.9	37.8	35.2	26.7	25.6	33.0	27.8	4.3	0.3
	40歳代	422	77.5	58.3	55.0	37.9	43.6	38.6	33.2	31.0	26.5	27.0	22.0	4.3	0.5
	50歳代	319	71.5	51.4	47.0	40.4	27.0	22.9	29.2	30.1	32.9	21.3	17.9	3.4	1.6
	60歳以上	311	59.8	36.7	37.9	31.8	12.9	7.4	19.6	25.4	26.4	9.3	7.4	2.3	1.3
職 業 別	会社員等	656	76.4	57.0	44.1	34.8	40.9	36.7	30.6	25.2	27.6	25.5	26.8	3.7	0.5
	パート・アルバイト	343	77.0	49.9	46.9	32.9	32.1	27.1	30.0	29.7	25.7	22.4	20.4	2.9	0.0
	自営業	303	65.7	40.6	41.6	41.3	22.8	19.8	26.7	28.4	27.7	14.2	12.5	2.6	2.0
	農林水産業	7	57.1	57.1	42.9	42.9	28.6	14.3	28.6	42.9	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0
	無職	135	73.3	43.0	49.6	29.6	27.4	21.5	28.1	23.7	20.0	21.5	13.3	4.4	2.2
その他	81	76.5	56.8	51.9	32.1	34.6	38.3	32.1	37.0	28.4	25.9	25.9	4.9	0.0	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

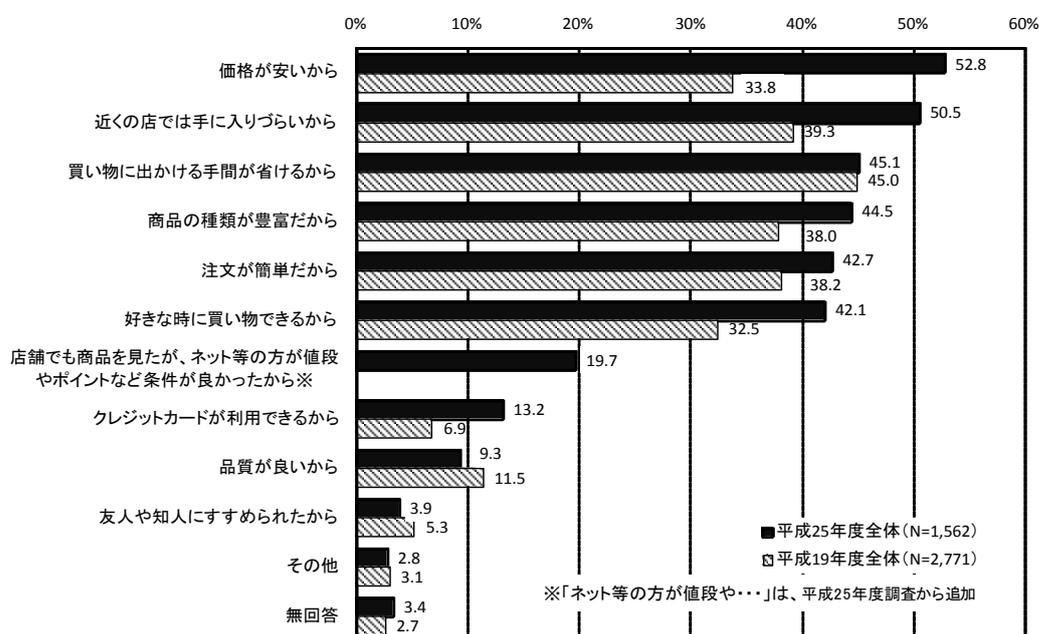
(3) 無店舗販売を利用する理由

無店舗販売を利用した動機については、「価格が安いから」が52.8%と最も多く、次いで「近くの店では手に入りづらいから」が50.5%、「買い物に出かける手間が省けるから」が45.1%、「商品の種類が豊富だから」が44.5%の順に高くなっている。また、「価格が安いから」、「近くの店では手に入りづらいから」は、平成19年度に比べて10%以上上昇している。

次に年齢別にみると、20歳代、30歳代では、多くの項目が全体値より5%以上高く、無店舗販売に多様な魅力を感じていることがうかがえる。

職業別にみると、「会社員等」、「パート・アルバイト」は「注文が簡単だから」、「好きな時に買い物ができるから」といった買い物のしやすさが他の職業に比べて高くなっている。

(図Ⅲ-8-3) 無店舗販売利用理由／無店舗販売利用経験者ベース(複数回答)



(表Ⅲ-8-3) 無店舗販売利用理由／無店舗販売利用経験者ベース(複数回答)

	標本数	(数値:%)												
		価格が安いから	近くの店では手に入りづらい	買い物に出かける手間が省ける	商品の種類が豊富だから	注文が簡単だから	好きな時に買い物ができるから	店舗でも商品を見たが、ポイントなど条件が良かったから	クレジットカードが利用できるから	品質が良いから	友人や知人にすすめられたから	その他	無回答	
全体	1,562	52.8	50.5	45.1	44.5	42.7	42.1	19.7	13.2	9.3	3.9	2.8	3.4	
年齢別	20歳代	152	65.1	65.1	39.5	57.9	49.3	53.9	25.0	15.8	8.6	2.6	2.0	0.0
	30歳代	352	60.8	56.5	49.1	52.3	50.9	47.4	29.0	18.8	8.0	2.0	2.3	1.1
	40歳代	422	59.0	51.2	48.6	49.1	42.2	47.4	20.1	15.4	9.0	3.3	3.3	1.7
	50歳代	319	48.9	46.7	47.6	40.4	38.9	34.2	15.4	10.3	11.3	6.6	2.8	3.1
	60歳以上	311	33.1	40.2	35.7	27.3	35.0	30.5	10.0	5.8	9.6	4.8	2.9	10.3
職業別	会社員など	656	60.4	54.0	45.6	47.4	48.2	46.3	23.3	17.8	9.0	3.7	2.6	0.8
	パート・アルバイト	343	53.1	47.2	44.0	46.4	44.0	41.7	21.0	9.9	8.7	3.5	2.6	2.6
	自営業	303	42.9	45.9	48.8	37.3	35.3	35.6	12.9	10.2	7.6	4.6	4.0	6.6
	農林水産業	7	42.9	42.9	42.9	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3
	無職	135	41.5	50.4	39.3	39.3	32.6	35.6	16.3	6.7	14.1	4.4	3.0	6.7
	その他	81	49.4	58.0	45.7	48.1	38.3	43.2	16.0	11.1	9.9	3.7	1.2	4.9

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

9 県外での買い物の状況（問9）

（1）県外への買い物頻度

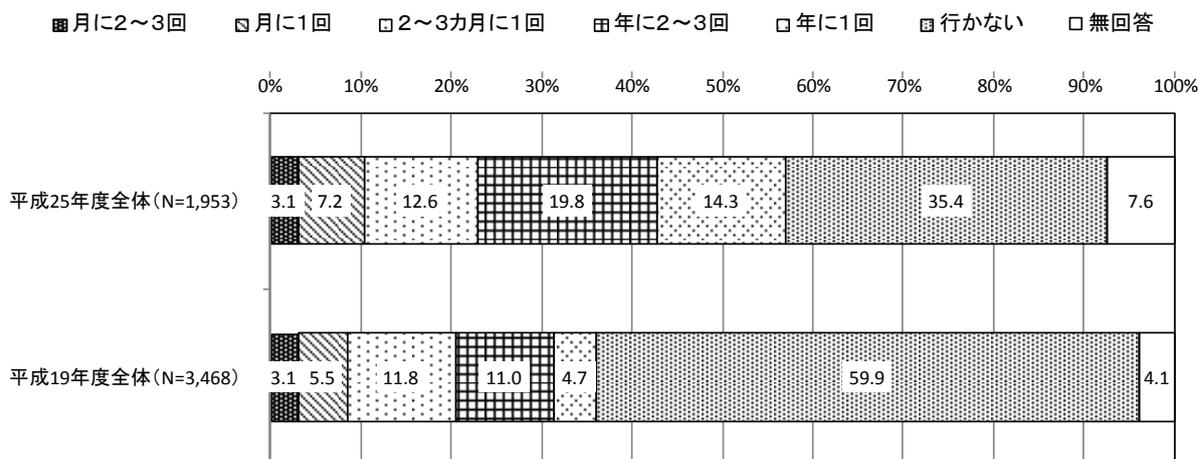
県外へ買い物に行く人は全体の57.0%。頻度は「年に2～3回」が19.8%で最も高く、次いで「年に1回」が14.3%、「2～3カ月に1回」が12.6%と続く。

平成19年度と比較すると、「行かない」が24.5%減少しており、県外への買い物出向が大幅に増えた。平成19年度に比べて増加したのは「年に1回」が9.6%、「年に2～3回」8.8%と低頻度層である。（※但し、設問方法が平成19年度と異なる。）

次に年齢別にみると、「行かない」が20歳代で11.8%に対し、60歳代では46.5%と年代が上がるほど出向率は低下する。月に1回以上の多頻度出向層は、20歳代で20.0%と最も高い。

居住地市町村別でみると、月に1回以上の多頻度出向層は、日田市で43.8%と大変高くなっている。次いで、玖珠町が27.7%、中津市が23.3%、九重町が16.4%と高くみられる。一方、「行かない」が豊後大野市で56.5%、姫島村で54.3%、臼杵市で49.2%、杵築市で49.0%と全体よりも10%以上高く、県外での買い物が少ないことがわかる。

（図Ⅲ－9－1）県外への買い物出向頻度（単数回答）



※平成19年度は、「この1年間に買い物を目的に県外（九州内に限る）にでかけたことがありますか」の分岐設問があり、「1. ある」人が頻度を回答する形式。

平成25年度は、「この1年間」の限定なく、直接頻度を聞いている。

(表Ⅲ-9-1) 県外への買い物頻度(単数回答)口

(数値:%)

		標 本 数	月 に 2 〜 3 回	月 に 1 回	2 〜 3 カ 月 に 1 回	年 に 2 〜 3 回	年 に 1 回	行 か な い	無 回 答	月 に 1 回 以 上 計
全 体		1,953	3.1	7.2	12.6	19.8	14.3	35.4	7.6	10.3
年 代 別	20歳代	170	6.5	13.5	25.3	27.1	12.4	11.8	3.5	20.0
	30歳代	376	5.1	8.0	16.8	26.3	16.2	26.1	1.6	13.1
	40歳代	464	3.2	8.8	14.9	21.1	14.0	35.3	2.6	12.0
	50歳代	405	2.0	5.7	9.4	19.5	16.3	39.5	7.7	7.7
	60歳以上	529	1.5	4.3	6.4	11.9	11.9	46.5	17.4	5.8
職 業 別	会社員等	747	4.1	9.1	17.7	23.3	13.3	28.5	4.0	13.2
	パート・アルバイト	411	2.7	6.6	11.2	19.2	14.4	39.4	6.6	9.3
	自営業	422	2.8	5.0	8.8	17.1	15.9	36.5	14.0	7.8
	農林水産業	16	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	75.0	0.0	6.3
	無職	206	1.0	5.8	6.8	15.5	13.6	46.6	10.7	6.8
	その他	98	3.1	9.2	12.2	18.4	15.3	35.7	6.1	12.3
居 住 市 町 村 別	大分市	358	0.8	3.9	12.3	22.1	17.3	38.3	5.3	4.7
	別府市	205	2.0	5.9	11.2	21.5	14.6	38.0	6.8	7.9
	中津市	30	10.0	13.3	16.7	13.3	13.3	30.0	3.3	23.3
	日田市	162	14.2	29.6	19.8	16.0	7.4	7.4	5.6	43.8
	佐伯市	109	0.9	7.3	13.8	19.3	19.3	33.0	6.4	8.2
	臼杵市	63	0.0	6.3	6.3	14.3	19.0	49.2	4.8	6.3
	津久見市	95	1.1	2.1	13.7	26.3	11.6	43.2	2.1	3.2
	竹田市	70	4.3	4.3	8.6	22.9	10.0	42.9	7.1	8.6
	豊後高田市	95	1.1	2.1	11.6	28.4	17.9	29.5	9.5	3.2
	杵築市	51	0.0	0.0	3.9	13.7	27.5	49.0	5.9	0.0
	宇佐市	94	6.4	5.3	20.2	11.7	18.1	33.0	5.3	11.7
	豊後大野市	62	1.6	1.6	1.6	17.7	3.2	56.5	17.7	3.2
	由布市	101	0.0	2.0	10.9	16.8	15.8	44.6	9.9	2.0
	国東市	74	2.7	2.7	5.4	13.5	12.2	41.9	21.6	5.4
	姫島村	35	2.9	0.0	11.4	17.1	11.4	54.3	2.9	2.9
	玖珠町	65	3.1	24.6	23.1	10.8	3.1	32.3	3.1	27.7
日出町	46	2.2	2.2	13.0	21.7	15.2	37.0	8.7	4.4	
九重町	55	9.1	7.3	7.3	12.7	18.2	30.9	14.5	16.4	

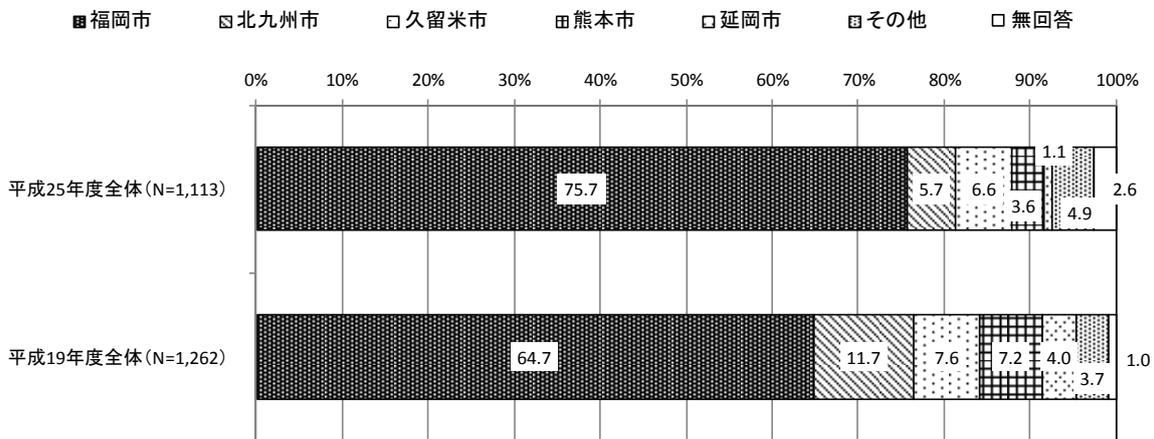
(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(2) 県外への買い物先

買い物をした場所についてみると、「福岡市」が75.7%と群を抜いて多く、次いで「久留米市」が6.6%、「北九州市」が5.7%と続く。平成19年度調査時点と比較しても、「福岡市」への出向が11%と大きく伸びている。

居住市町村別にみると、全地域とも「福岡市」への出向が最も多い。その他県外へは、宇佐市、豊後高田市から「北九州市」(32.8%、22.4%)へ、日田市、玖珠町から「久留米市」(34.8%、21.4%)へ、竹田市から「熊本市」(28.6%)への出向が多くみられる。

(図Ⅲ-9-2) 県外への買い物出向場所／県外出向者ベース (単数回答)



(表Ⅲ-9-2) 県外への買い物出向場所／県外出向者ベース (単数回答) □

(数値: %)

	標本数	福岡市	北九州市	久留米市	熊本市	延岡市	その他	無回答	
全体	1,113	75.7	5.7	6.6	3.6	1.1	4.9	2.6	
居住市町村別	大分市	202	80.2	2.0	0.5	6.4	1.0	6.4	3.5
	別府市	113	88.5	3.5	0.0	0.9	0.9	5.3	0.9
	中津市	20	70.0	25.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	日田市	141	61.0	2.1	34.8	0.7	0.0	1.4	0.0
	佐伯市	66	80.3	1.5	0.0	0.0	10.6	3.0	4.5
	臼杵市	29	79.3	3.4	0.0	0.0	3.4	10.3	3.4
	津久見市	52	86.5	3.8	1.9	0.0	0.0	7.7	0.0
	竹田市	35	68.6	0.0	0.0	28.6	0.0	2.9	0.0
	豊後高田市	58	69.0	22.4	0.0	0.0	0.0	3.4	5.2
	杵築市	23	73.9	8.7	0.0	0.0	0.0	13.0	4.3
	宇佐市	58	60.3	32.8	1.7	1.7	0.0	1.7	1.7
	豊後大野市	16	75.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3
	由布市	46	84.8	2.2	0.0	2.2	0.0	8.7	2.2
	国東市	27	74.1	3.7	3.7	0.0	0.0	7.4	11.1
	姫島村	15	66.7	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0
	玖珠町	42	73.8	0.0	21.4	2.4	0.0	2.4	0.0
	日出町	25	68.0	16.0	4.0	4.0	0.0	8.0	0.0
九重町	30	73.3	0.0	6.7	3.3	0.0	3.3	13.3	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

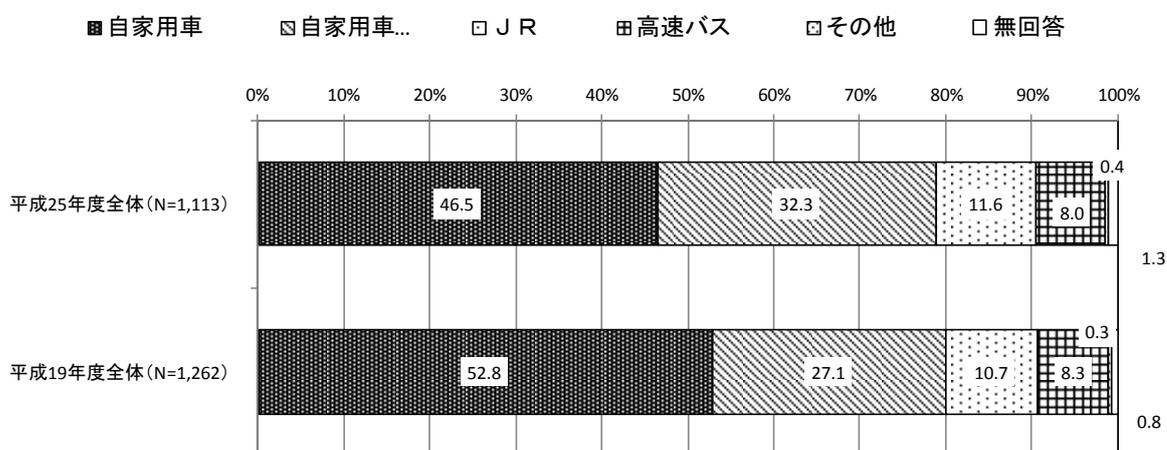
(3) 県外への買い物時の移動手段

最もよく利用する移動手段としては、「自家用車」が46.5%と最も高く、次いで「自家用車（高速道路利用）」が32.3%となっており、『自家用車』の利用が8割弱に達する。

平成19年度と比較して、交通機関に大きな変化はないが、自家用車での移動で、高速道路の利用がやや増えた。

年齢別にみると、いずれの年代も『自家用車』の利用が中心であるものの、20歳代では「高速バス」(13.9%)、60歳以上で「JR」(18.3%)が他の年代を上回っている。

(図Ⅲ-9-3) 県外への買い物出向時の移動手段／県外出向者ベース（単数回答）



(表Ⅲ-9-3) 県外への買い物時の移動手段／県外出向者ベース（単数回答）□

		(数値:%)						
	標本数	自家用車	自家用車 (高速道路利用)	JR	高速バス	その他	無回答	
全体	1,113	46.5	32.3	11.6	8.0	0.4	1.3	
年代別	20歳代	144	37.5	31.9	14.6	13.9	0.7	1.4
	30歳代	272	50.4	33.8	7.4	7.7	0.4	0.4
	40歳代	288	49.0	35.8	10.1	4.9	0.0	0.3
	50歳代	214	44.4	33.6	11.2	7.9	0.5	2.3
	60歳以上	191	46.1	24.1	18.3	8.9	0.5	2.1
職業別	会社員等	504	40.5	35.5	11.9	10.7	0.6	0.8
	パート・アルバイト	222	59.9	30.6	5.9	2.3	0.0	1.4
	自営業	209	45.9	29.7	13.9	8.1	0.5	1.9
	農林水産業	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無職	88	51.1	29.5	13.6	4.5	0.0	1.1
	その他	57	36.8	35.1	17.5	10.5	0.0	0.0
買物出向先別	福岡市	842	40.6	34.4	13.7	10.3	0.2	0.7
	北九州市	63	57.1	23.8	17.5	1.6	0.0	0.0
	久留米市	73	72.6	26.0	0.0	0.0	0.0	1.4
	熊本市	40	75.0	17.5	5.0	2.5	0.0	0.0
	延岡市	12	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	54	55.6	40.7	0.0	0.0	3.7	0.0
	無回答	29	58.6	13.8	3.4	0.0	0.0	24.1

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

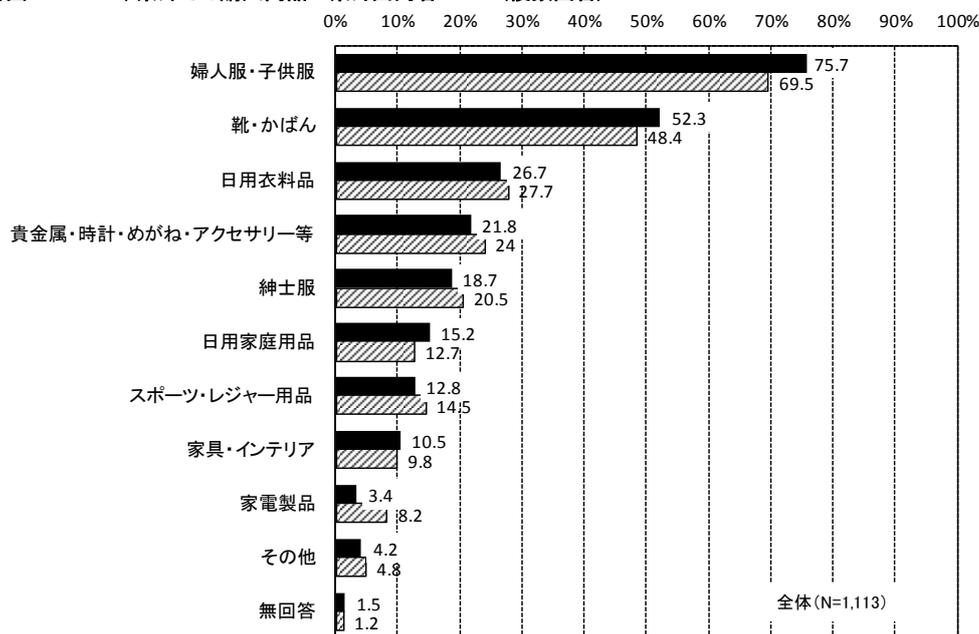
(4) 県外での購入商品

県外でよく買う商品についてみると、「婦人服・子供服」が75.7%と最も高く、次いで「靴・かばん」が52.3%、「日用衣料品」が26.7%、「貴金属・時計・めがね・アクセサリ等」が21.8%の順に高くなっており、服飾関連用品を県外で購入している。平成19年度と購入品に大きな変化はない。

年齢別にみると、20歳代の県外購入品では、「靴・かばん」が68.8%で最も多い。その他「日用衣料品」「貴金属・時計・めがね・アクセサリ等」も他の年代に比べて10%以上高い。

買物出向先別では、久留米市への出向層は、多くの商品で全体値を上回り、幅広い商品を県外で購入していることがわかる。

(図Ⅲ-9-4) 県外での購入商品／県外出向者ベース(複数回答)



(表Ⅲ-9-4) 県外での購入商品／県外出向者ベース(複数回答)

(数値:%)

	標本数	婦人服・子供服	靴・かばん	日用衣料品	サメが貴金属等・時計・めがね・アクセサリ等	紳士服	日用家庭用品	スポーツ・レジャー用品	家具・インテリア	家電製品	その他	無回答	
全体	1,113	75.7	52.3	26.7	21.8	18.7	15.2	12.8	10.5	3.4	4.2	1.5	
年代別	20歳代	144	65.3	68.8	40.3	38.2	9.7	10.4	6.3	10.4	2.1	3.5	0.7
	30歳代	272	81.6	55.5	26.1	28.7	20.6	14.7	17.3	5.1	2.6	0.7	
	40歳代	288	77.8	51.7	26.4	18.1	22.6	18.4	19.4	9.7	4.2	4.9	1.7
	50歳代	214	78.0	49.5	23.8	14.5	19.2	19.2	13.1	8.9	2.8	4.2	1.9
	60歳以上	191	71.2	40.3	20.9	14.1	16.2	10.5	4.7	4.2	1.6	6.3	2.1
職業別	会社員等	504	75.0	59.3	30.6	26.8	18.7	14.7	11.7	10.3	3.4	3.0	0.8
	パート・アルバイト	222	79.3	48.2	21.2	17.6	18.9	15.8	16.7	12.2	3.6	5.9	2.7
	自営業	209	73.7	42.6	20.1	17.2	20.6	13.4	12.4	10.0	3.8	5.3	2.4
	農林水産業	4	100.0	75.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	無職	88	79.5	52.3	28.4	20.5	21.6	18.2	9.1	9.1	1.1	2.3	0.0
その他	57	75.4	45.6	33.3	17.5	10.5	14.0	15.8	5.3	1.8	8.8	1.8	
買物出向先別	福岡市	842	78.4	55.2	25.3	23.4	18.8	13.1	11.5	11.2	2.9	3.9	0.6
	北九州市	63	69.8	46.0	28.6	19.0	17.5	20.6	9.5	9.5	4.8	6.3	0.0
	久留米市	73	86.3	60.3	37.0	23.3	26.0	23.3	32.9	9.6	8.2	4.1	0.0
	熊本市	40	60.0	30.0	32.5	15.0	7.5	32.5	12.5	10.0	5.0	10.0	0.0
	延岡市	12	25.0	8.3	58.3	0.0	16.7	50.0	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3
	その他	54	68.5	44.4	20.4	14.8	24.1	16.7	16.7	9.3	3.7	3.7	5.6
無回答	29	41.4	24.1	27.6	10.3	6.9	3.4	3.4	0.0	3.4	0.0	27.6	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

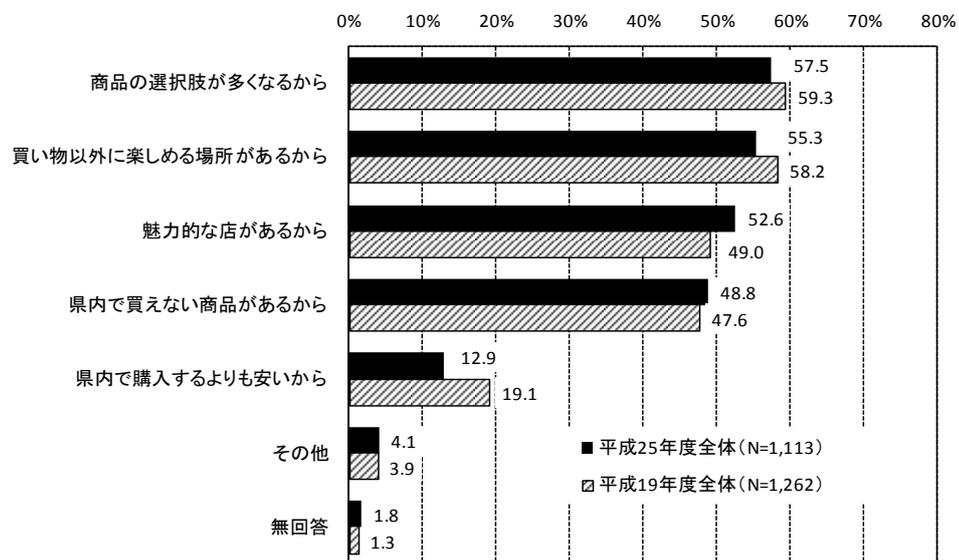
(5) 県外での買い物理由

県外での買い物理由についてみると、「商品の選択肢が多くなるから」が57.5%で最も高く、次いで「買い物以外に楽しめる場所があるから」が55.3%、「魅力的な店があるから」が52.6%と続く。平成19年度調査に比べて、「県内で購入するよりも安いから」という理由での出向は6%低下して12.9%となるが、上位の理由に変化はみられなかった。

年齢別にみると、「魅力的な店があるから」、「県内で買えない商品がある」が20歳代を最高に、40歳以下の年代で高くなる。

買物出向先別では、福岡市への出向層は、「県内で買えない商品がある」が54.6%で、他の出向先に比べて高い。

(図Ⅲ-9-5) 県外での買い物理由／県外出向者ベース(複数回答)



(表Ⅲ-9-5) 県外での買い物理由／県外出向者ベース(複数回答)

(数値:%)

	標本数	商品の選択肢が多くなるから	買い物以外に楽しめる場所があるから	魅力的な店があるから	県内で買えない商品があるから	県内で購入するよりも安いから	その他	無回答	
全体	1,113	57.5	55.3	52.6	48.8	12.9	4.1	1.8	
年齢別	20歳代	144	65.3	52.8	61.1	64.6	10.4	4.9	0.7
	30歳代	272	55.5	55.1	57.7	55.5	11.4	1.8	0.4
	40歳代	288	59.0	55.6	56.6	56.6	16.3	2.4	2.1
	50歳代	214	58.4	57.9	47.7	43.0	10.3	7.5	2.3
	60歳以上	191	51.8	55.0	38.7	23.0	14.7	5.8	3.1
職業別	会社員など	504	60.5	53.4	57.3	55.8	11.1	3.0	1.0
	パート・アルバイト	222	54.1	52.7	54.5	48.2	15.8	5.9	2.7
	自営業	209	54.1	60.3	45.0	39.7	15.3	4.3	2.9
	農林水産業	4	50.0	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	無職	88	56.8	55.7	44.3	40.9	11.4	6.8	2.3
その他	57	63.2	61.4	52.6	42.1	12.3	5.3	0.0	
買物出向先別	福岡市	842	60.2	57.7	55.9	54.6	12.0	2.7	0.7
	北九州市	63	47.6	50.8	39.7	30.2	11.1	6.3	3.2
	久留米市	73	76.7	53.4	57.5	35.6	11.0	6.8	0.0
	熊本市	40	25.0	47.5	40.0	22.5	12.5	12.5	5.0
	延岡市	12	25.0	58.3	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3
	その他	54	50.0	29.6	40.7	33.3	38.9	13.0	3.7
	無回答	29	24.1	58.6	27.6	27.6	3.4	0.0	24.1

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

10 JR新大分駅ビルに対する意識（問10）

（1）賑わい創出の効果

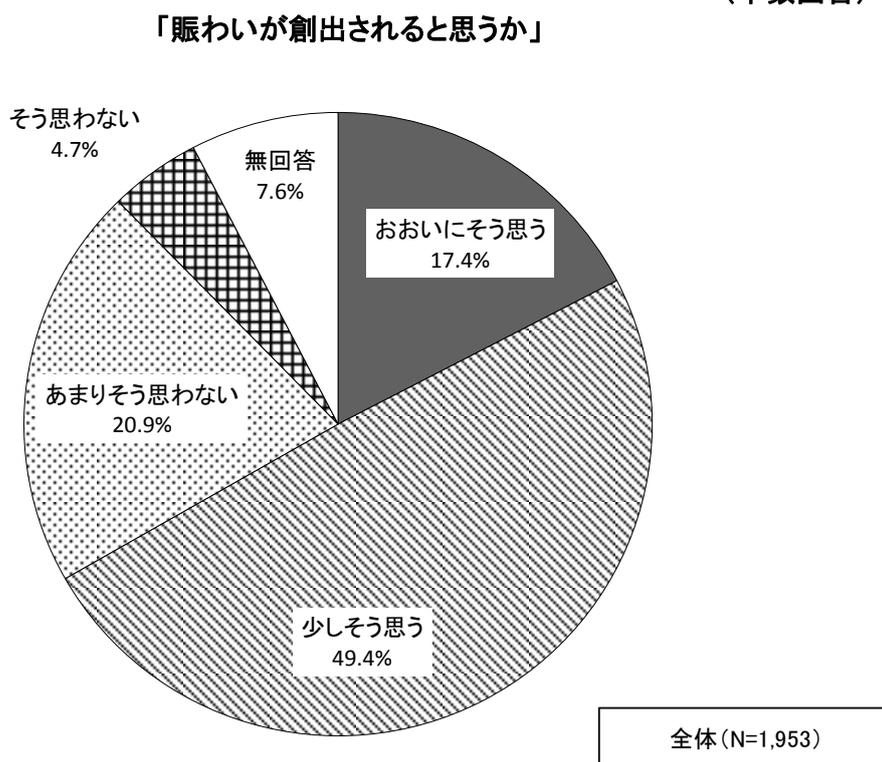
JR新大分駅ビル開業により、賑わいが創出されるかということに対し、「そう思う 計（「おおいにそう思う」＋「少しそう思う」）」は66.8%で、肯定的に捉えている人が多い。

次に年齢別にみると、「そう思う 計」が20歳代で76.5%、30歳代で75.0%となり、60歳以上の56.4%に比べて20%程度高い。若い年代ほど肯定的に捉えている傾向がある。

県外買物頻度別にみると、頻度にかかわらず、6割以上が「そう思う」と回答しており、肯定的に捉えている。最も低いのが、県外に「行かない」層の64.3%で、そのことから、県外出向層の方がJR新大分駅ビルへの期待が高いと考えられる。

居住市町村別にみると、津久見市で「そう思う 計」が74.8%と最も高く、次いで、杵築市が74.5%、姫島村が74.3%、別府市が72.7%と並ぶ。

（図Ⅲ－10－1）JR新大分駅ビル開業による中心市街地の賑わい創出への期待度
（単数回答）



(表Ⅲ-10-1)JR新大分駅ビル開業による中心市街地の賑わい創出への期待度

「賑わいが創出されると思うか」 (単数回答)

		標 本 数	う お お お う い に そ	う 少 し そ う 思	思 あ ま り な い そ う	い そ う 思 わ な	無 回 答	計 そ う 思 う
全 体		1,953	17.4	49.4	20.9	4.7	7.6	66.8
年 代 別	20歳代	170	20.6	55.9	16.5	2.4	4.7	76.5
	30歳代	376	16.5	58.5	19.4	4.0	1.6	75.0
	40歳代	464	19.0	50.6	23.5	3.7	3.2	69.6
	50歳代	405	15.1	50.6	22.0	5.2	7.2	65.7
	60歳以上	529	17.6	38.8	20.4	6.4	16.8	56.4
職 業 別	会社員等	747	17.5	51.9	21.8	5.1	3.6	69.4
	パート・アルバイト	411	19.5	52.3	19.2	3.2	5.8	71.8
	自営業	422	15.2	43.6	21.8	4.5	14.9	58.8
	農林水産業	16	31.3	50.0	6.3	6.3	6.3	81.3
	無職	206	16.0	49.0	17.5	8.3	9.2	65.0
	その他	98	16.3	50.0	23.5	3.1	7.1	66.3
県 外 買 物 頻 度 別	月1回以上	201	15.9	49.8	24.9	7.0	2.5	65.7
	2～3カ月に1回	247	22.7	57.9	15.8	3.2	0.4	80.6
	年に2～3回	386	19.2	58.3	19.2	1.6	1.8	77.5
	年に1回	279	19.7	50.9	22.9	4.7	1.8	70.6
	行かない	692	16.8	47.5	24.7	7.2	3.8	64.3
居 住 市 町 村 別	大分市	358	18.7	49.7	21.2	6.4	3.9	68.4
	別府市	205	20.5	52.2	18.0	2.4	6.8	72.7
	中津市	30	13.3	53.3	26.7	0.0	6.7	66.6
	日田市	162	11.1	43.8	22.2	11.1	11.7	54.9
	佐伯市	109	17.4	48.6	22.9	4.6	6.4	66.0
	臼杵市	63	28.6	33.3	30.2	3.2	4.8	61.9
	津久見市	95	21.1	53.7	18.9	2.1	4.2	74.8
	竹田市	70	7.1	55.7	25.7	4.3	7.1	62.8
	豊後高田市	95	13.7	51.6	16.8	3.2	14.7	65.3
	杵築市	51	21.6	52.9	15.7	3.9	5.9	74.5
	宇佐市	94	18.1	46.8	22.3	2.1	10.6	64.9
	豊後大野市	62	11.3	46.8	25.8	4.8	11.3	58.1
	由布市	101	21.8	46.5	21.8	3.0	6.9	68.3
	国東市	74	12.2	44.6	24.3	5.4	13.5	56.8
	姫島村	35	28.6	45.7	20.0	2.9	2.9	74.3
	玖珠町	65	18.5	52.3	20.0	4.6	4.6	70.8
日出町	46	17.4	45.7	19.6	8.7	8.7	63.1	
九重町	55	18.2	52.7	14.5	1.8	12.7	70.9	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(2) 周辺商店街への回遊効果

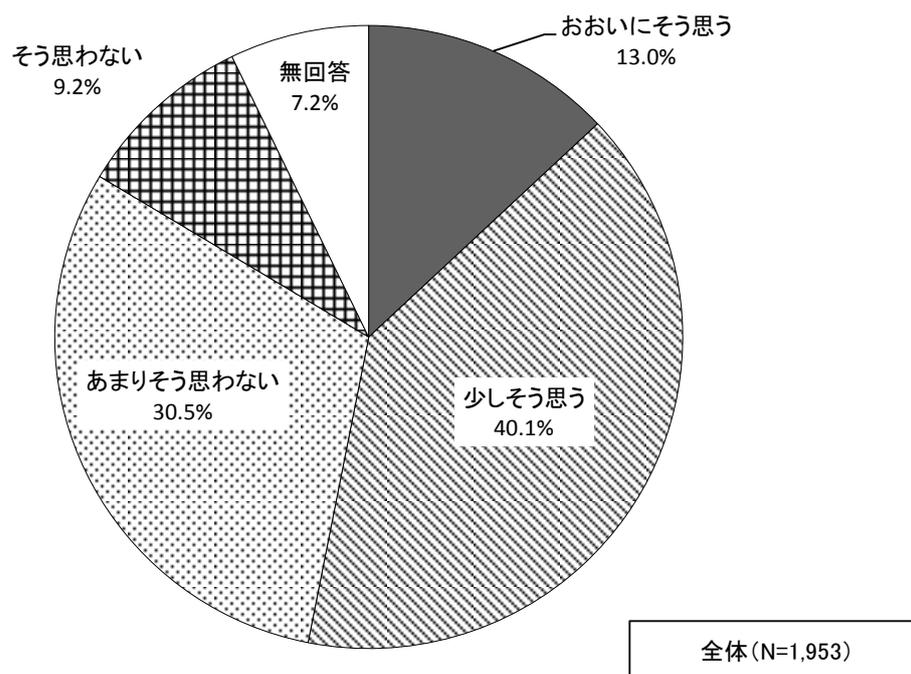
JR新大分駅ビル開業により、周辺商店街を回遊してみたいと思うかということに対し、「そう思う 計（「おおいにそう思う」＋「少しそう思う」）」は53.1%で、肯定的に捉えている人は半数程度であった。

次に年齢別にみると、「そう思う 計」が20歳代で58.2%となり、60歳以上の47.3%に比べて10%程度高い。若い年代ほど肯定的に捉えている傾向がある。

県外買物頻度別にみると、「2～3ヵ月に1回」層の「そう思う 計」が59.1%で最も高い。

居住市町村別にみると、津久見市で「そう思う 計」が65.3%と最も高く、次いで、佐伯市が63.3%、日出町が63.0%と続く。地元の大分市は46.9%で、18市町村中15位と回遊意向は低い。

(図Ⅲ-10-2) JR新大分駅ビル開業による周辺商店街への回遊意向
(単数回答)
「周辺商店街も併せて回遊してみたいと思うか」



(表Ⅲ-10-2) JR新大分駅ビル開業による周辺商店街への回遊意向 (単数回答)
(「周辺商店街も併せて回遊してみたいと思うか」)

		標 本 数	う お お い に そ う 思 う	う 少 し そ う 思 い	思 あ ま り な い そ う 思 い	い そ う 思 わ な い	無 回 答	計 そ う 思 う
全 体		1,953	13.0	40.1	30.5	9.2	7.2	53.1
年 代 別	20歳代	170	18.8	39.4	30.0	7.1	4.7	58.2
	30歳代	376	11.7	46.3	31.6	9.0	1.3	58.0
	40歳代	464	13.6	43.8	30.6	8.6	3.4	57.4
	50歳代	405	11.1	38.5	33.1	10.4	6.9	49.6
	60歳以上	529	13.0	34.2	27.8	9.5	15.5	47.2
職 業 別	会社員等	747	12.2	42.3	32.3	9.5	3.7	54.5
	パート・アルバイト	411	14.6	43.8	27.7	8.0	5.8	58.4
	自営業	422	13.0	33.9	30.1	9.2	13.7	46.9
	農林水産業	16	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	37.5
	無職	206	11.2	40.8	29.1	11.7	7.3	52.0
	その他	98	15.3	39.8	30.6	6.1	8.2	55.1
居 住 市 町 村 別	県外買物頻							
	月1回以上	201	11.9	40.8	33.8	12.4	1.0	52.7
	2~3カ月に1回	247	14.2	44.9	32.8	6.9	1.2	59.1
	年に2~3回	386	13.5	44.0	33.4	7.3	1.8	57.5
	年に1回	279	16.5	41.2	33.0	8.2	1.1	57.7
行かない	692	12.9	40.9	31.1	12.4	2.7	53.8	
居 住 市 町 村 別	大分市	358	12.3	34.6	36.9	12.0	4.2	46.9
	別府市	205	12.2	45.9	26.8	8.8	6.3	58.1
	中津市	30	16.7	36.7	33.3	6.7	6.7	53.4
	日田市	162	7.4	35.8	29.6	15.4	11.7	43.2
	佐伯市	109	13.8	49.5	22.9	8.3	5.5	63.3
	臼杵市	63	12.7	36.5	39.7	6.3	4.8	49.2
	津久見市	95	17.9	47.4	29.5	3.2	2.1	65.3
	竹田市	70	11.4	32.9	41.4	7.1	7.1	44.3
	豊後高田市	95	16.8	43.2	18.9	8.4	12.6	60.0
	杵築市	51	9.8	41.2	33.3	11.8	3.9	51.0
	宇佐市	94	10.6	40.4	30.9	9.6	8.5	51.0
	豊後大野市	62	8.1	38.7	29.0	11.3	12.9	46.8
	由布市	101	11.9	40.6	33.7	7.9	5.9	52.5
	国東市	74	10.8	37.8	29.7	6.8	14.9	48.6
	姫島村	35	25.7	31.4	37.1	2.9	2.9	57.1
	玖珠町	65	21.5	32.3	32.3	9.2	4.6	53.8
日出町	46	13.0	50.0	21.7	8.7	6.5	63.0	
九重町	55	25.5	36.4	18.2	7.3	12.7	61.9	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(3) 周辺商店街への回遊条件

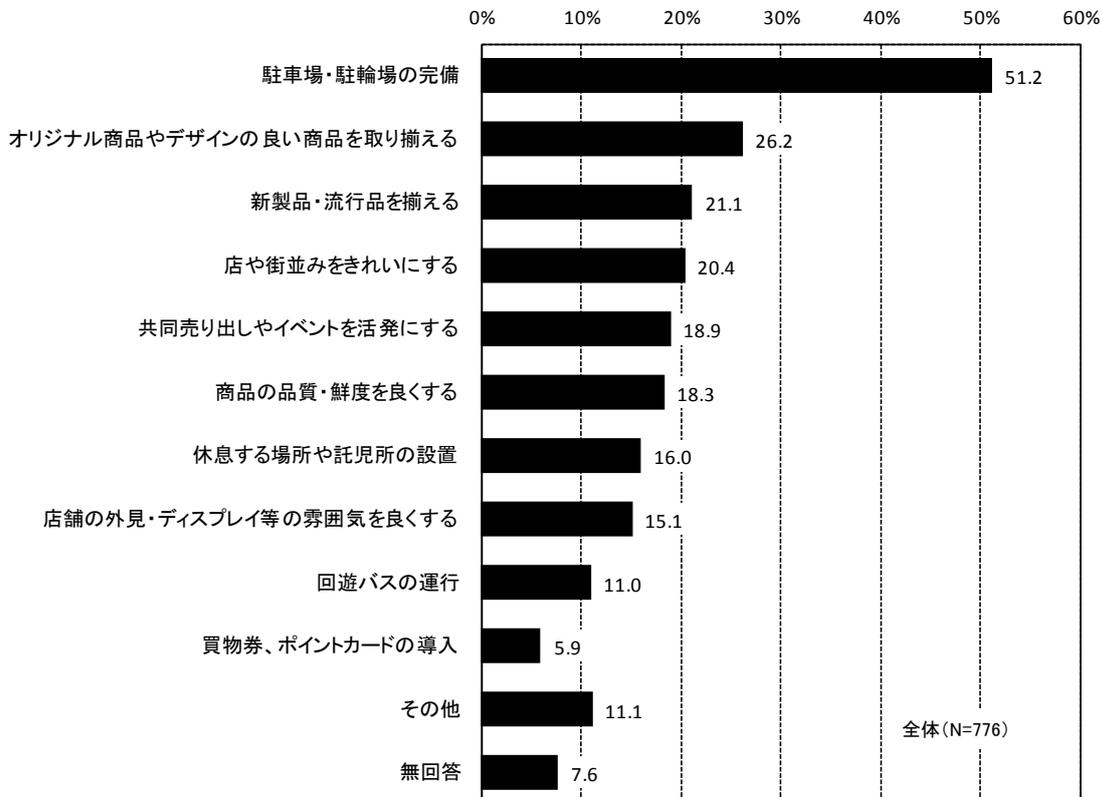
周辺商店街へ回遊する意向がない人に、回遊してみたいくなる条件を聞いたところ、「駐車場・駐輪場の完備」が51.2%で最多であった。次いで、「オリジナル商品やデザインの良い商品を取り揃える」が26.2%、「新製品・流行品を揃える」が21.1%、「店や街並みをきれいにする」が20.4%と続く。都市部での駐車・駐輪スペースの確保が重要であることがわかる。

次に年齢別にみると、全年代とも「駐車場・駐輪場の完備」が最も高い項目であるが、20歳代、30歳代は「新製品・流行品を揃える」が他の年代に比べて10%以上高く、先端的な品揃えへの期待が高いことがわかる。

県外買物頻度別にみると、県外への出向が多い「月1回以上」層、「2～3ヵ月に1回」層では、「駐車場・駐輪場の完備」はその他の年代に比べて低く、一方、「新製品・流行品を揃える」、「商品の品質・鮮度を良くする」等が高い。県外に流出している非周遊意向層を繋ぎ止めるためにも、商品、店舗の魅力をあげる必要がある。

居住地市町村別でみると、地元大分市の非周遊意向層の回遊条件では、「駐車場・駐輪場の完備」が58.3%で最も高い。

(図Ⅲ-10-3) JR新大分駅ビル開業後の周辺商店街への回遊条件
／非回遊意向者ベース（複数回答）



(表Ⅲ-10-3) JR新大分駅ビル開業後の周辺商店街への回遊条件／非回遊意向者ベース(複数回答)

(数値:%)

	標本数	駐車場・駐輪場の完備	のオリジナル商品を取り揃える	新製品・流行品を揃える	店や街並みをきれいにする	共同売り出しやイベントを	商品の品質・鮮度を良くす	置	休息する場所や託児所の設	店舗の外見・ディスプレイ	回遊バスの運行	買物券、ポイントカードの	その他	無回答
全 体	776	51.2	26.2	21.1	20.4	18.9	18.3	16.0	15.1	11.0	5.9	11.1	7.6	
年 齢 別	20歳代	63	47.6	20.6	36.5	22.2	15.9	15.9	14.3	22.2	4.8	4.8	12.7	0.0
	30歳代	153	54.9	24.2	32.7	20.9	16.3	15.7	16.3	19.0	13.1	4.6	12.4	2.6
	40歳代	182	54.4	26.9	22.5	25.8	17.0	20.3	13.7	17.6	11.0	6.0	11.5	4.9
	50歳代	176	48.9	30.7	15.9	17.6	21.6	17.6	16.5	14.2	10.2	6.3	11.9	8.5
	60歳以上	197	48.2	25.4	11.2	17.3	21.3	20.3	17.8	8.6	11.7	7.1	8.6	14.7
職 業 別	会社員等	312	52.9	26.6	28.5	23.1	14.7	17.6	13.1	17.3	8.0	5.1	12.8	3.5
	パート・アルバイト	147	49.0	27.2	19.0	19.0	19.7	21.8	18.4	19.7	10.2	8.8	10.2	5.4
	自営業	166	44.0	27.1	16.3	17.5	19.9	18.1	19.3	9.0	16.3	5.4	8.4	17.5
	農林水産業	10	40.0	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0
	無職	84	56.0	20.2	9.5	21.4	25.0	15.5	20.2	14.3	14.3	1.2	10.7	9.5
その他	36	55.6	36.1	30.6	16.7	22.2	25.0	8.3	11.1	8.3	11.1	8.3	8.3	5.6
県 外 買 い 物	月1回以上	93	38.7	26.9	28.0	17.2	15.1	24.7	14.0	22.6	5.4	7.5	14.0	11.8
	2～3カ月に1回	98	40.8	33.7	33.7	25.5	18.4	24.5	7.1	18.4	10.2	2.0	11.2	5.1
	年に2～3回	157	61.1	30.6	26.8	23.6	20.4	18.5	21.0	18.5	10.8	6.4	8.9	3.2
	年に1回	115	51.3	27.0	20.0	20.0	19.1	11.3	19.1	16.5	13.9	7.0	12.2	5.2
	行かない	301	53.5	21.3	13.3	18.6	19.3	16.6	15.3	9.6	12.0	6.3	11.0	10.0
居 住 市 町 村 別	大分市	175	58.3	28.6	22.9	28.0	21.1	17.7	13.7	18.3	14.9	5.7	7.4	6.9
	別府市	73	46.6	31.5	20.5	27.4	19.2	27.4	17.8	19.2	8.2	11.0	6.8	4.1
	中津市	12	33.3	50.0	33.3	16.7	16.7	58.3	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0
	日田市	73	16.4	28.8	23.3	12.3	9.6	17.8	11.0	19.2	1.4	4.1	26.0	16.4
	佐伯市	34	58.8	14.7	11.8	14.7	8.8	20.6	17.6	20.6	11.8	2.9	11.8	8.8
	臼杵市	29	58.6	34.5	24.1	20.7	17.2	20.7	10.3	13.8	3.4	3.4	10.3	6.9
	津久見市	31	58.1	29.0	25.8	16.1	22.6	9.7	16.1	9.7	6.5	0.0	12.9	3.2
	竹田市	34	55.9	26.5	17.6	23.5	14.7	8.8	11.8	8.8	20.6	5.9	11.8	5.9
	豊後高田市	26	38.5	23.1	15.4	11.5	30.8	11.5	19.2	7.7	23.1	3.8	26.9	3.8
	杵築市	23	56.5	21.7	17.4	17.4	17.4	26.1	21.7	0.0	4.3	13.0	8.7	8.7
	宇佐市	38	50.0	15.8	21.1	13.2	21.1	13.2	10.5	23.7	13.2	2.6	2.6	13.2
	豊後大野市	25	60.0	32.0	28.0	16.0	16.0	24.0	16.0	12.0	20.0	8.0	12.0	4.0
	由布市	42	57.1	11.9	16.7	11.9	23.8	19.0	35.7	9.5	4.8	2.4	7.1	4.8
	国東市	27	40.7	25.9	7.4	14.8	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	7.4	18.5
	姫島村	14	71.4	35.7	14.3	21.4	21.4	21.4	7.1	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1
玖珠町	27	44.4	29.6	22.2	18.5	25.9	18.5	14.8	3.7	14.8	11.1	11.1	7.4	
日出町	14	85.7	21.4	35.7	7.1	28.6	7.1	28.6	14.3	0.0	7.1	14.3	0.0	
九重町	14	64.3	28.6	7.1	14.3	35.7	7.1	28.6	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	

(注) **太字** は、N=30以上で、全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

調 査 票

問1 このアンケートにお答えいただく方におたずねします。次の(1)～(4)の項目について該当する番号をひとつだけ○で囲んでください。

(1) あなたの年齢をお知らせください (平成25年11月11日現在)	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代以上
(2) あなたのご家族はあなたを含めて何人ですか	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上
(3) あなたは職業をお持ちですか	1. 会社員・公務員など 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. 農林水産業 5. 無職 6. その他 ()
(4) ふだん買い物で利用している移動手段をお教えてください	1. 自家用車 2. 原付バイク・自転車 3. バス・タクシー 4. JR 5. 徒歩
(5) あなたがお住まいの地域の市町村合併後の市町村名をお教えてください	市・町・村

問2 次の商品は、普段どこでお買いになりますか。別紙の「買物場所一覧表」から、商品別に主に買い物をする場所を3つまで記入してください。

商 品	普段買い物をする店・場所の番号		
①食料品 (生鮮食品・菓子・飲料・調味料など)			
②日用雑貨品 (食器・台所用品・洗濯用品・医薬品・化粧品など)			
③日用衣料品 (下着・靴下・ふだん着など)			
④婦人服・子ども服・紳士服 (日用衣料品を除きます)			
⑤靴・かばん・帽子・装飾品・おもちゃなど			
⑥家電製品・家具・インテリア・貴金属・時計・スポーツ用品など			
⑦贈答品 (中元・歳暮・記念品など)			

問3 次の商品を購入するとき、どのような点を重視して店を選びますか。それぞれの商品について3つまで選んで番号に○をつけてください。

店舗選びの理由	富	商品の種類や量が豊富	商品の品質が良い	ある商品がある	特徴(こだわり)のある商品がある	商安が安心してできる	値段が安い	近くにある	駐車場がある	交通の便が良い	店主・店長や店員の対応が良い	なじみの店員がいる	店が清潔である	店の雰囲気や洗練されている	特典がある	インスタブカードなどのポイントカードがある	電子マネーが利用できる	営業時間が長い
商品																		
食料品等 (生鮮食品・加工食品・調味料・飲料など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
衣料品、身辺雑貨 (下着・普段着・アクセサリなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
文化品 (電化製品・家具・書籍・文具など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

問4 次の商品を購入するとき、その情報はどのようにして得られますか。主なものを2つまで選んで該当欄に○をつけてください。

情報の収集手段	テレビ・ラジオ広告	新聞折込チラシ	新聞紙面広告	雑誌	ダイレクトメール	友人・知人等	直接店に行つて	店のホームページ	インターネット上のSNS	Twitter・Facebook等	その他
商品											
食料品等 (生鮮食品・加工食品・調味料・飲料など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
衣料品、身辺雑貨 (下着・普段着・アクセサリなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
文化品 (電化製品・家具・書籍・文具など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問5 あなたが主に買い物をする時間帯はいつ頃でしょうか。あてはまる番号に○をつけてください。

平日	1. 6時～9時	2. 9時～12時	3. 12時～15時	4. 15時～18時	5. 18時～21時	6. 21時以降
休日	1. 6時～9時	2. 9時～12時	3. 12時～15時	4. 15時～18時	5. 18時～21時	6. 21時以降

問6 あなたがお住まいの地域での日常の買い物の利便性についておたずねします。

① 日頃の買い物に不便を感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 全く不便を感じない	2. あまり不便を感じない	3. ある程度不便を感じる	4. 大いに不便を感じる
--------------	---------------	---------------	--------------

② ①で3もしくは4を選ばれた方におたずねします。次のうちどのようなサービスがあつたら不便さを解消できると思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 商品の宅配サービス (有料)	2. 移動販売車	3. 配食サービス
4. 市町村の中心部へ行くコミュニティバス	5. その他 ()	

(うらにつづきます)

問7 あなたがお住まいの市町村の中心部にある商店街や商業施設についておたずねします。

① お住まいの市町村の中心部にある商店街へ行く頻度はどれくらいですか。

1. 毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. ほとんど利用しない 5. 利用しない

② ①で1、2もしくは3を選ばれた方におたずねします。商店街に行く目的として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 食料品・日用品の購入 2. その他の商品の購入 3. 娯楽（パチンコ、カラオケ）
4. 飲食（喫茶店、レストラン、居酒屋等） 5. 理髪店、クリーニング等のサービス利用 6. 病院・医療施設
7. 金融機関・役所等 8. お祭りやイベント 9. その他（ ）

③ ①で4もしくは5を選ばれた方におたずねします。商店街に行かない理由として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 商品の値段が高い 2. 品揃えがよくない 3. 駐車場・駐輪場が少ない
4. 魅力のある店舗がない 5. 商店のパラエティが少ない 6. 中心部に魅力がない
7. バスやJRの便がよくない 8. 郊外の大型店の方が便利である 9. その他（ ）

④ 中心市街地にある商店街や商業施設を、もっと便利で利用しやすくするためには、どのようなことに取り組みばよいと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○印をつけてください。

1. バスやJRの本数や路線を増やす 2. 駐車場や駐輪場を完備する 3. 営業時間を延長する
4. 不足している業種を増やし店舗のパラエティをもたせる 5. 休息する場所や託児所を設ける 6. 共同売り出しやイベントを活発にする
7. 買物券、ポイントカードの導入 8. 自動車交通を規制し、歩きやすくする 9. 店舗の改善・改装
10. 街路灯をつける 11. 防犯カメラを設置する 12. 大型商業施設を誘致する
13. レジャー施設を誘致する 14. 病院や福祉施設を誘致する 15. コミュニティ機能(具体的:)

問8 インターネットショッピングや通信販売などを利用された経験についておたずねします。次にあげた方法で商品を購入したことがありますか。利用したことがある方法すべての番号に○をつけてください。

1. テレビ・ラジオショッピング 2. カタログ販売 3. 新聞や雑誌などの広告販売 4. インターネットショッピング
5. セールスマンによる訪問販売 6. 生協や農協などの共同購入 7. 移動販売車
8. その他（ ） 9. 利用したことはない

① 利用したことがあると回答した方におたずねします。購入した商品はどのようなものでしょうか。あてはまる商品の番号すべてに○をつけてください。

1. 食料品 2. 化粧品 3. 衣料品 4. 家具・寝具 5. 健康器具・美容器具 6. 家電製品 7. 書籍
8. CD・DVD 9. 贈答品 10. 台所用品・家庭用品 11. アクセサリー・装身具 12. その他（ ）

② インターネットショッピングや通信販売などを利用された動機は何ですか。あてはまるものの番号すべてに○をつけてください。

1. 価格が安いから 2. 品質が良いから 3. 商品の種類が豊富だから 4. 注文が簡単だから
5. クレジットカードが利用できるから 6. 友人や知人に勧められたから 7. 近くの店では手に入りづらいから
8. 店舗でも商品を見たが、ネットの方が値段やポイントなどで条件が良かったから 9. 買い物に出かける手間が省けるから
10. 好きなときに買い物ができるから 11. その他（ ）

問9 県外（九州内に限る）での買い物についておたずねします。

① 県外（九州内に限る）でのお買い物の頻度はどのくらいですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 月に2～3回 2. 月に1回 3. 2～3ヶ月に1回 4. 年に2～3回 5. 年に1回 6. 行かない

② ①で1、2、3、4もしくは5を選ばれた方におたずねします。買い物をした場所はどこですか。もっとも訪れたことが多い所の番号に○をつけてください。

1. 福岡市 2. 北九州市 3. 久留米市 4. 熊本市 5. 延岡市 6. その他（ ）

③ 買い物でもっともよく利用する移動手段は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自家用車 2. 自家用車（高速道路を利用） 3. JR 4. 高速バス 5. その他（ ）

④ 県外ではいつもどのような商品を買われますか。よく買っている商品の番号すべてに○をつけてください。

1. 日用家庭用品 2. 日用衣料品 3. 紳士服 4. 婦人服・子供服 5. 靴・かばん 6. 家具・インテリア
7. 家電製品 8. スポーツ・レジャー用品 9. 貴金属・時計・めがね・アクセサリーなど 10. その他（ ）

⑤ 県外に買い物に行かれた理由をおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 県内では買えない商品があるから 2. 商品の選択肢が多くなるから 3. 魅力的な店があるから
4. 県内で購入するよりも安いから 5. 買い物以外に楽しめる場所があるから 6. その他（ ）

問10 県都大分市における平成27年春完成予定のJR新大分駅ビルに対するあなたの意識をお聞かせください。

① JR新大分駅ビルの完成によって、大分市中心市街地の賑わいが創出されると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. おおいにそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

② 駅ビル完成後、JR新大分駅ビルを訪れた際に、周辺の商店街も併せて回遊してみたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. おおいにそう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

③ ②で3もしくは4を選ばれた方におたずねします。どのようなことに取り組み、あなたは周辺の商店街や商業施設も併せて回遊してみたいと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○印をつけてください。

1. 商品の品質・鮮度を良くする 2. オリジナル商品やデザインの良い商品を取り揃える 3. 新製品・流行品を揃える
4. 店や町並みをきれいにする 5. 店舗の外見・ディスプレイ等の雰囲気良くする 6. 共同売り出しやイベントを活発にする
7. 買物券、ポイントカードの導入 8. 休息する場所や託児所の設置 9. 回遊バスの運行
10. 駐車場・駐輪場の完備 11. その他（ ）

買い物場所一覧

大分市	
1	あけのアクロスタウン
2	旧大分市内のトキハインダストリー・アチオ各店
3	イオン高城ショッピングセンター
4	イオン光吉ショッピングセンター
5	ウエストタウン賀来
6	大分フォーラス
7	サンリブ明野
8	旧大分市内のその他のマルショク各店
9	クロスモール大分
10	D-plaza
11	トキハ
12	パークプレイス大分
13	フレスポ春日浦
14	豊後にわさき市場
15	わさだショッピングセンター
16	ガレリア竹町商店街
17	セントポルタ中央商店街
18	府内五番街商店街
19	サンサン通り商店街
20	ポルトナール商店街
21	中央通り商店街
22	赤レンガ通商店街
23	西新町商店街
24	長池町東栄会
25	塩丸升商店街
26	大分駅前商店街
27	高城・明野地区の店
28	鶴崎商店街
29	森町通り商店街
30	川次地区の店
31	南大分・宗方地区の店
32	旧大分市内のその他のスーパー
33	旧大分市内の大型専門店
34	旧大分市内のドラッグストア
35	旧大分市内のホームセンター
36	旧大分市内のコンビニエンスストア
37	旧大分市内のその他の店
38	旧佐賀関町内の店
39	旧津津原町内の店

別府市	
40	別府橋銀天街
41	別府銀座商店街
42	別府やよい商店街
43	別府駅前通り商店街
44	別府北高栄商店街
45	ピバサーージュ
46	旧HS南館(マルミヤストアほか)
47	べっふ駅市場
48	西法寺通り会
49	海門寺通り商店街
50	流川通り会
51	別府鶴見通り会
52	別府つるりん通り商店街
53	鉄輪商店街
54	別府中央商店街(港中央通り)
55	大学通り上人商店街
56	別府亀川商店街
57	秋葉通り会
58	野口元二商店街
59	トキハ別府店
60	ゆめタウン別府
61	トライアル別府店
62	市内マックスバリュ各店
63	市内マルショク各店
64	市内トキハインダストリー・アチオ各店
65	市内のその他スーパー
66	市内のホームセンター
67	市内の大型専門店
68	市内のドラッグストア
69	市内のコンビニエンスストア
70	市内のその他の店

(説明)

大型専門店とは

県内にくつかお店がある家電量販店・衣料品・紳士服、日用雑貨を扱う比較的大きな店です。(ヤマダ電機、ベスト電器、しまむら、洋服の青山、ダイソー、ダイレックスなど)

中津市	
71	サンリブ中津店
72	まるしよく屋江三竹店
73	旧中津市内の新鮮市場
74	スーパー大栄D&D中津店
75	フレスポ中津北
76	ゆめタウン中津店
77	日の出町商店街
78	新博多商店街
79	本町商店街
80	島田仲町商店街
81	旧中津市内のその他のスーパー
82	旧中津市内の大型専門店
83	旧中津市内のドラッグストア
84	旧中津市内のホームセンター
85	旧中津市内のコンビニエンスストア
86	旧中津市内のその他の店
87	イオン三光ショッピングセンター
88	旧三光村内のその他の店
89	旧本耶馬溪町内の店
90	旧耶馬溪町内の店
91	旧山国町内の店

宇佐市	
92	サンリブ四日市店
93	スーパー大栄メルクス宇佐店
94	トキハインダストリー・宇佐四日市店
95	トキハインダストリー・長洲店
96	トライアル宇佐店
97	四日市商店街
98	旧宇佐市内のスーパー
99	旧宇佐市内の大型専門店
100	旧宇佐市内のドラッグストア
101	旧宇佐市内のホームセンター
102	旧宇佐市内のコンビニエンスストア
103	旧宇佐市内のその他の店
104	旧安心院町内のその他の店
105	旧院内町内のその他の店

豊後高田市	
106	トキハインダストリー・アチオ高田
107	マックスバリュ豊後高田店
108	トライアル豊後高田店
109	玉津商店街(中町、銀座街)
110	中央通商店街
111	新町商店街
112	駅通り商店街
113	福荷通商店街
114	宮町商店街
115	旧高田市内のその他のスーパー
116	旧高田市内の大型専門店
117	旧高田市内のドラッグストア
118	旧高田市内のホームセンター
119	旧高田市内のコンビニエンスストア
120	旧高田市内のその他の店
121	スーパーバリュ・またま
122	旧真玉町内のその他の店
123	旧々々地町内の店

国東市	
124	マルショク国東店
125	スーパー青木国東店
126	田深商店街
127	鶴川商店街
128	米浦商店街
129	高米商店街
130	旧国東町内の大型専門店
131	旧国東町内のドラッグストア
132	旧国東町内のホームセンター
133	旧国東町内のその他の店
134	スーパー青木安岐店
135	新鮮市場安岐店
136	マルショク安岐店
137	旧安岐町内の大型専門店
138	旧安岐町内のドラッグストア
139	旧安岐町内のその他の店
140	D&D大分ムサシ店
141	旧武蔵町内のその他の店
142	旧国見町内の店

姫島村	
143	姫島村内の店

杵築市	
144	サンリブ杵築店
145	スーパー青木杵築店
146	スーパーコマツ杵築店
147	Aコープ杵築店
148	ホームセンターツツヤ
149	ホームワイド杵築店
150	ホームプラザナコ杵築店
151	ファッションセンターしまむら杵築店
152	旧杵築市内の大型専門店
153	旧杵築市内のドラッグストア
154	旧杵築市内のコンビニエンスストア
155	旧杵築市内のその他の店
156	山崎ショッピングセンター・神田東市
157	Aコープ山崎店
158	若宮商店街
159	旧山崎町内のその他の店
160	旧大田村内の店

日出町	
161	トキハインダストリー・エスパ日出
162	マルショク日出店
163	マルショク川崎店
164	さざんか通り商店街
165	町内のその他のスーパー
166	町内の大型専門店
167	町内のドラッグストア
168	町内のホームセンター
169	町内のコンビニエンスストア
170	町内のその他の店

由布市	
171	イオン扶間ショッピングセンター
172	マルミヤストア扶間店
173	旧扶間町内の大型専門店
174	旧扶間町内のドラッグストア
175	旧扶間町内のホームセンター
176	旧扶間町内のコンビニエンスストア
177	旧扶間町内のその他の店
178	マルミヤストア庄内店
179	バリュウ庄内店
180	コメリ庄内店
181	Aコープグリーン店
182	旧庄内町内のコンビニエンスストア
183	旧庄内町内のその他の店
184	ダイエー湯布院店
185	ゆふいん花の本通り商店街
186	由布院駅前中央商店街
187	由布見通り商店街
188	旧湯布院町内のドラッグストア
189	旧湯布院町内のその他の店

津久見市	
207	マルショク津久見店
208	市内のドラッグストア
209	中央町商店街
210	市内のその他の商店街
211	市内のその他のスーパー
212	市内のホームセンター
213	市内のコンビニエンスストア
214	市内移動販売車等
215	市内のその他の店

佐伯市	
216	コスモタウンフリーモール佐伯
217	トキハインダストリー・佐伯店
218	マルショク佐伯店
219	マックスバリュくらし館佐伯店
220	新鮮市場佐伯店
221	海の市場〇まる
222	港・駅周辺地区
223	常盤・中村周辺地区
224	中の島周辺地区
225	城下・城東・内町周辺地区
226	大手・船頭・西谷周辺地区
227	鶴岡・上岡周辺地区
228	旧佐伯市内のその他のスーパー
229	旧佐伯市内の大型専門店
230	旧佐伯市内のドラッグストア
231	旧佐伯市内のホームセンター
232	旧佐伯市内のコンビニエンスストア
233	旧佐伯市内のその他の店
234	旧上浦町内の店
235	アラマート
236	マルミヤストア弥生店
237	その他旧弥生町内の店
238	旧本匠村内の店
239	旧宇目町内のその他の店
240	直川ショッピングセンターアトレ
241	旧直川村内のその他の店
242	Aコープ鶴見店
243	旧鶴見町内のその他の店
244	旧米水津村内の店
245	旧蒲江町内の店

豊後大野市	
246	新鮮市場三重店
247	トキハインダストリー・アチオ三重店
248	トライアル三重店
249	マルミヤストア三重店
250	旧三重町内のその他のスーパー
251	旧三重町内の大型専門店
252	旧三重町内のドラッグストア
253	旧三重町内のホームセンター
254	旧三重町内のコンビニエンスストア
255	旧三重町内のその他の店
256	道の駅きよかわ
257	旧清川村内の店
258	旧緒方町内の店
259	あさじサンサン通り
260	旧朝庭町内のその他の店
261	旧大野町内の店
262	旧千歳村内の店
263	旧犬飼町内の店

竹田市	
264	サンリブ竹田
265	フレイン竹田店
266	マルショク竹田本町店
267	マルミヤストア竹田店
268	ビッグチェーン
269	ホームワイド竹田店
270	ドラッグストアコスモス竹田店
271	ベスト電器竹田店
272	暮らしの衣料みやざき
273	竹田町商店街
274	玉来商店街
275	旧竹田市内のホームセンター
276	旧竹田市内のコンビニエンスストア
277	旧竹田市内のその他の店
278	旧萩町内の店
279	旧久住町内の店
280	旧直入町内の店

日田市	
281	サニー日田店
282	サンリブ日田店
283	ダイエー日田店
284	マルミヤストア日田店
285	黒潮市場
286	トライアル日田店
287	ベスト電器日田店
288	100万ポルト日田店
289	みゆき通り商店街
290	豆田上町商店街
291	駅前通り商店街
292	中央商店街
293	寿通り商店街
294	昭和通り商店街
295	三本松本通り商店街
296	三本松商店街
297	本庄町商店街
298	龜山町商店街
299	中央通り3丁目商店街
300	本町商店街
301	隈町商店街
302	川原町商店街
303	旧日田市内のその他のスーパー
304	旧日田市内の大型専門店
305	旧日田市内のホームセンター
306	旧日田市内のコンビニエンスストア
307	旧日田市内のその他の店
308	旧前津江村内の店
309	旧中津江村内の店
310	旧上津江村内の店
311	旧大山村内の店
312	旧天瀬町内の店

九重町	
313	九重ショッピングパークアミー
314	町内のその他の店

玖珠町	
315	Aコープくす店
316	新鮮市場そのだバリュウ
317	トキハインダストリー・玖珠センター
318	H&Lロゼ スーパー・コンボ吸味店
319	町内のその他のスーパー
320	町内の大型専門店
321	町内のホームセンター
322	町内のドラッグストア
323	町内のコンビニエンスストア
324	町内のその他の店

その他	
325	通信販売
326	テレビ・ラジオショッピング
327	インターネットショッピング
328	訪問販売
329	生協等の共同購入
330	移動販売車

県外	
331	福岡県福岡市内の店
332	福岡県北九州市内の店
333	福岡県久留米市内の店
334	福岡県朝倉市内の店
335	その他福岡県内の店
336	熊本県熊本市内の店
337	熊本県菊池市内の店
338	熊本県小国町内の店
339	その他熊本県内の店
340	宮崎県延岡市の店
341	その他宮崎県内の店
342	その他大分県内の店